学校法人 上智学院
SOPHIA SCHOOL CORPORATION

事業報告書

SOPHIA ANNUAL REPORT 2019

目　次

法人の概要

組織図 …… 3
役員・設置学校等 …… 4
中長期計画「グランド・レイアウト2.1」取り組み状況
および「2019年度事業計画」実施報告 …… 5
全学的トピックス …… 7

高等教育部門

施設等の状況 …… 9
上智大学
　教職員数等 …… 10
　学生数 …… 11
　2019年度実施入試（2020年度入学） …… 13
　卒業・修了者数等 …… 15
　進路／就職 …… 16
　国家試験・資格等 …… 17
　国際交流 …… 18
　学生納付金 …… 21
　奨学金 …… 23
　研究・知的財産等 …… 24
　事業の概要 …… 25
上智大学短期大学部
　教職員数等／学生数 …… 29
　2019年度実施入試（2020年度入学）／卒業・修了者数等／進路 …… 30
　就職 …… 31
　国際交流／学生納付金／奨学金／事業の概要 …… 32
上智社会福祉専門学校
　教職員数等／学生数／ 2019年度実施入試（2020年度入学） …… 33
　卒業者数／国家試験／進路／学生納付金／事業の概要 …… 34

中等教育部門

栄光学園中学高等学校 …… 35
六甲学院中学校・高等学校 …… 37
広島学院中学校・高等学校 …… 39
上智福岡中学高等学校 …… 41

財務の概要

学校法人会計基準について …… 43
2019年度決算の概要 …… 44
2019年度特別予算執行報告 …… 49
財務比率の推移 …… 50
資産運用の状況 …… 52
収益事業の状況 …… 53
その他 …… 54
経営状況の分析等 …… 57

沿革 …… 58

上智学院将来構想
「グランド・レイアウト2.1」始動

学校法人上智学院　理事長
佐久間　勤

ここに学校法人上智学院の2019年度事業報告書を公表するにあたり、ご挨拶申し上げます。

2019年度は令和という新しい時代を迎える節目の年となりました。また一方で、台風、豪雨、地震といった天災に加えて、新型コロナウイルス感染症の流行という困難に見舞われた年度でもありました。被災された皆様、このたびの感染拡大において被害に遭われた皆様方に衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、上智大学看護学科、社会福祉学科、聖母大学看護学部、聖母看護学校、上智社会福祉専門学校、中高4校の卒業生をはじめ全ての医療・介護の現場にあって最前線でご尽力されている皆様に、この場を借りて感謝をお伝えいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止措置の対応として、学校法人上智学院が擁する各学校においても、授業開始時期の延期、卒業式・入学式を初めとする各種式典の取り止め、課外活動の制限等の措置を講じることとなりました。学生・生徒やそのご家族、教職員など学校関係者がウイルスに感染する危険、更には本学院学校関係者から社会へ感染する危険など、想定しうる限りのことを検討し、やむなくこのたびの決断に至った次第です。何卒ご理解を賜ることができましたら幸甚の至りです。

本事業報告書に纏めております通り、2019年度の記念すべき出来事として、教皇フランシスコによる上智大学訪問・講演会の開催という機会に恵まれました。会場に集まった学生・教職員をはじめ、中継を通じて学院の多くの学生・生徒・教職員・卒業生へメッセージをいただきました。

また、2014年に策定した10年間の将来構想「グランド・レイアウト2.0」は前半5年を終え、2019年からは第二期として新たに「グランド・レイアウト2.1（GL2.1）」として始動しました。GL2.1では改めて「“他者のために、他者とともに生きる人”の育成」（Men and Women for Others, with Others）を本学院の各校共通の教育精神として示し、カトリック・イエズス会センターの設置とスタッフの強化、旧史・資料室を再編したソフィア・アーカイブズの設置決定など、教育精神の実現に向けた取り組みを開始しております。

同時に、社会が大きく変革する時代にあって、大学に求められる役割や社会人の学びのスタイルも急速に変化していることなどから、長らく上智大学の生涯学習を担ってきた上智大学公開講座（ソフィア・コミュニティ・カレッジ）は2019年度をもって終了いたしました。

このように、本学院にとって昨年度は多様な変化を経験する年となりましたが、2020年度はポストコロナの時代も見据えて、これまでにない挑戦が続くこととなります。学生・生徒の勉学継続支援を目的とする奨学金の充実を図り、コロナウイルスの影響下での異例の状況の中で各学校において学びを始める学生・生徒たちに対し、「Cura Personalis（一人ひとりへの配慮）」というイエズス会の教育精神をもってしかるべき支援を進めて参る所存ですので、今後とも広くご関係の皆様からご支援を賜りたくお願い申し上げます。

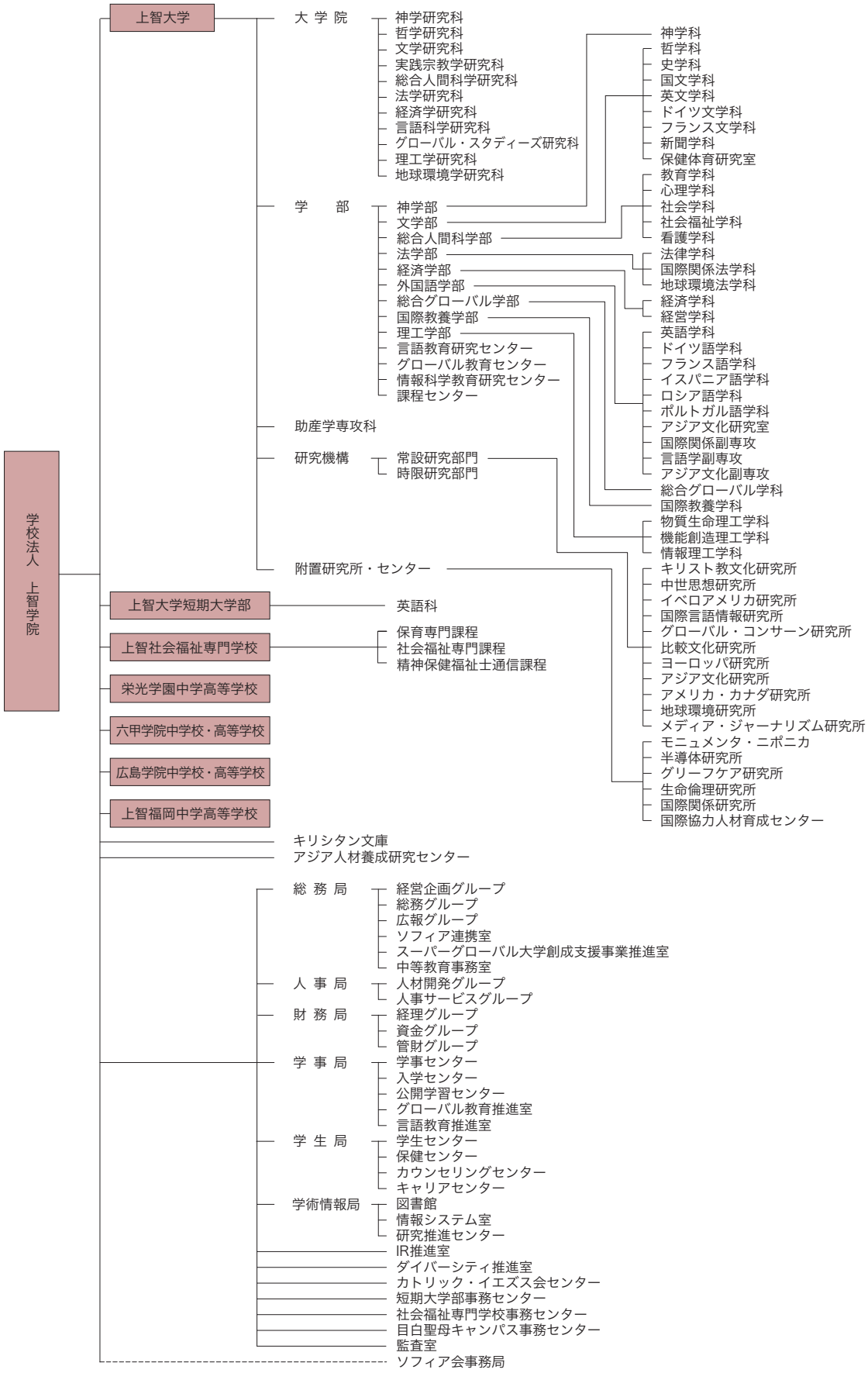
上智学院各学校共通の教育精神

「“他者のために、他者とともに生きる人”の育成」
（Men and Women for Others, with Others）

「“他者のために、他者とともに生きる人”の育成」（Men and Women for Others, with Others）という教育精神に基づき、キリスト教ヒューマニズムに立脚した教育、研究、社会貢献・国際貢献を展開しています。「上智」という名称は、伝統的なカトリックの祈り「聖母マリアの連祷」の中の一句である「上智の座」に由来し、「最上の叡智」を意味します。

10号館前に建っている聖フランシスコ・ザビエル像は、2019年9月に上智大学市谷キャンパスが閉鎖されるまでの60年以上に亘り、市谷キャンパスの学生、教職員を見守ってきました。その後、修復が施され、ザビエル来日470年を記念して、四谷キャンパスに移設されました。日本に大学の設立を宿願としたザビエルは、四谷キャパスで学生、教職員、卒業生を見守り続けます。なお移設・修復には上智大学ソフィア会（同窓会）にご協力いただきました。

組織図


学校法人 上智学院
上智大学
大学院
神学研究科
哲学研究科
文学研究科
実践宗教学研究科
総合人間科学研究科
法学研究科
経済学研究科
言語科学研究科
グローバル・スタディーズ研究科
理工学研究科
地球環境学研究科
学部
神学部
文学部
総合人間科学部
法学部
経済学部
外国語学部
総合グローバル学部
国際教養学部
理工学部
言語教育研究センター
グローバル教育センター
情報科学教育研究センター
課程センター
助産学専攻科
研究機構
常設研究部門
時限研究部門
附置研究所・センター
神学科
哲学科
史学科
国文学科
英文学科
ドイツ文学科
フランス文学科
新聞学科
保健体育研究室
教育学科
心理学科
社会学科
社会福祉学科
看護学科
法律学科
国際関係法学科
地球環境法学科
経済学科
経営学科
英語学科
ドイツ語学科
フランス語学科
イスパニア語学科
ロシア語学科
ポルトガル語学科
アジア文化研究室
国際関係副専攻
言語学副専攻
アジア文化副専攻
総合グローバル学科
国際教養学科
物質生命理工学科
機能創造理工学科
情報理工学科
キリスト教文化研究所
中世思想研究所
イベロアメリカ研究所
国際言語情報研究所
グローバル・コンサーン研究所
比較文化研究所
ヨーロッパ研究所
アジア文化研究所
アメリカ・カナダ研究所
地球環境研究所
メディア・ジャーナリズム研究所
モニュメンタ・ニポニカ
半導体研究所
グリーフケア研究所
生命倫理研究所
国際関係研究所
国際協力人材育成センター
上智大学短期大学部
英語科
上智社会福祉専門学校
保育専門課程
社会福祉専門課程
精神保健福祉士通信課程
栄光学園中学高等学校
六甲学院中学校・高等学校
広島学院中学校・高等学校
上智福岡中学高等学校
キリシタン文庫
アジア人材養成研究センター
総務局
経営企画グループ
総務グループ
広報グループ
ソフィア連携室
スーパーグローバル大学創成支援事業推進室
中等教育事務室
人事局
人材開発グループ
人事サービスグループ
財務局
経理グループ
資金グループ
管財グループ
学事局
学事センター
入学センター
公開学習センター
グローバル教育推進室
言語教育推進室
学生局
学生センター
保健センター
カウンセリングセンター
キャリアセンター
学術情報局
図書館
情報システム室
研究推進センター
IR推進室
ダイバーシティ推進室
カトリック・イエズス会センター
短期大学部事務センター
社会福祉専門学校事務センター
目白聖母キャンパス事務センター
監査室
ソフィア会事務局

役員・設置学校等

役員（定員13人以上15人以内）

（2020年3月31日現在）

役職	氏名	就任日	主な現職
理事長・イエズス会高等教育担当理事	佐久間　勤	2018. 4. 1	上智大学教授
イエズス会中等教育担当理事	李　聖一	2016. 4. 1	
総務担当理事	サリ・アガスティン	2018. 4. 1	上智大学教授
人事担当理事	杉本　徹雄	2009. 4. 1	上智大学教授
財務担当理事	舌津　一良	2013. 1. 1	
グローバル化推進担当理事	プテンカラム ジョンジョセフ	2016. 2.29	上智大学教授
経営企画担当理事	引間　雅史	2017. 2. 1	㈻上智学院職員
理事	曄道　佳明	2017. 4. 1	上智大学長、同大学教授
	山本　浩	2016. 4. 1	上智大学短期大学部学長、同短期大学部教授
	古泉　肇	2019. 4. 1	六甲学院中学校・高等学校校長、同校教諭
	三好　彰	2019. 4. 1	広島学院中学校・高等学校校長、同校教諭
	堀田　健介*	2005. 5.14	㈱堀田綜合事務所会長
	池尾　茂*	2013. 4. 1	上智大学名誉教授、ソフィアメディカルインフォ㈱取締役
	崎川　茂郎*	2014. 4. 1	中部大学客員教授
	山下　まち子*	2016. 4. 1	㈻聖心女子学院理事・評議員

監事（定員：2人以上4人以内）

（2020年3月31日現在）

役職	氏名	就任日	主な現職
監事	本田　親彦*	2007. 6. 1	公認会計士
	荻野　美佐子*	2018. 4. 1	
	金子　泰輔*	2011. 6. 1	弁護士
	萱場　基	2016. 4. 1	

学長・校長

（2020年3月31日現在）

役職	氏名	就任日
上智大学長	曄道　佳明	2017. 4. 1
上智大学短期大学部学長	山本　浩	2013. 9.13
上智社会福祉専門学校長	髙山　貞美	2012. 4. 1
栄光学園中学高等学校校長	望月　伸一郎	2015. 4. 1
六甲学院中学校・高等学校校長	古泉　肇	2015. 4. 1
広島学院中学校・高等学校校長	三好　彰	2013. 4. 1
上智福岡中学高等学校校長	大石　英雄	2012. 4. 2

評議員（定員：27人以上31人以内）

（2020年3月31日現在）

役職	氏名	就任日	主な現職
評議員	レンゾ・デ・ルカ*	2017. 3. 1	㈼カトリックイエズス会代表役員
	佐久間　勤	2011.10. 1	㈻上智学院理事長・イエズス会高等教育担当理事、上智大学教授
	李　聖一	2016. 4. 1	㈻上智学院イエズス会中等教育担当理事
	曄道　佳明	2017. 4. 1	上智大学長、同大学教授
	山本　浩	2013. 9.13	上智大学短期大学部学長、同短期大学部教授
	髙山　貞美	2016. 4. 1	上智社会福祉専門学校長、上智大学教授
	望月　伸一郎	2016. 4. 1	栄光学園中学高等学校校長、同校教諭
	古泉　肇	2016. 4. 1	六甲学院中学校・高等学校校長、同校教諭
	三好　彰	2016. 4. 1	広島学院中学校・高等学校校長、同校教諭
	大石　英雄	2016. 4. 1	上智福岡中学高等学校校長、同校教諭
	杉村　美紀	2019. 4. 1	上智大学グローバル化推進担当副学長、同大学教授
	村田　真一	2019. 4. 1	上智大学外国語学部長、同大学教授
	中野　晃一	2018. 4. 1	上智大学国際教養学部長、同大学教授
	川中　仁	2018. 4. 1	上智大学神学部長、同大学教授
	芳賀　学	2018. 4. 1	上智大学総合人間科学部長、同大学教授
	須田　誠一	2017. 4. 1	㈻上智学院人事局長
	谷口　史也	2018. 4. 1	㈻上智学院学事局長
	赤松　廣政*	2018. 4. 1	㈼カトリックイエズス会財務担当
	戸川　宏一*	2018. 4. 1	上智大学ソフィア会会長、ICMCI国際経営コンサルタント
	クスマノ ジェリー*	2017. 3. 1	上智大学名誉教授
	プテンカラム ジョンジョセフ	2016. 2.29	㈻上智学院グローバル化推進担当理事、上智大学教授
	舌津　一良	2013. 1. 1	㈻上智学院財務担当理事
	池尾　茂*	2013. 4. 1	上智大学名誉教授、ソフィアメディカルインフォ㈱取締役
	崎川　茂郎*	2016. 4. 1	中部大学客員教授
	杉本　徹雄	2008. 4. 1	㈻上智学院人事担当理事
	田中　南欧子*	2018. 4. 1	上智短期大学（現 上智大学短期大学部）卒業生
	サリ・アガスティン	2018. 4. 1	㈻上智学院総務担当理事、上智大学教授
	堀田　健介*	2010. 4. 1	㈱堀田綜合事務所会長
	山下　まち子*	2016. 4. 1	㈻聖心女子学院理事・評議員
	引間　雅史	2017. 2. 1	㈻上智学院経営企画担当理事
	江馬　一弘	2019. 10. 1	上智大学学術研究担当副学長、同大学教授

*は非常勤、就任日は最初に就任した年月日を記載

設置学校

（2020年3月31日現在）

設置学校	学部・学科・研究科等	所在地
上智大学	• 神学部、文学部、総合人間科学部、法学部、経済学部、外国語学部、総合グローバル学部、国際教養学部、理工学部 • 哲学研究科、文学研究科、実践宗教学研究科、総合人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、言語科学研究科、グローバル・スタディーズ研究科、理工学研究科、地球環境学研究科	四谷キャンパス 〒102-8554　東京都千代田区紀尾井町7-1
	• 総合人間科学部看護学科、助産学専攻科	目白聖母キャンパス 〒161-8550　東京都新宿区下落合4-16-11
	• 神学研究科	石神井キャンパス 〒177-0044　東京都練馬区上石神井4-32-11
	（グラウンド）	秦野キャンパス 〒257-0005　神奈川県秦野市上大槻山王台999
	（グリーフケア研究所人材養成講座等を開講）	大阪サテライトキャンパス 〒531-0072　大阪府大阪市北区豊崎3-12-8 サクラファミリア2階
上智大学短期大学部	• 英語科	秦野キャンパス 〒257-0005　神奈川県秦野市上大槻山王台999
上智社会福祉専門学校	• 保育士科、社会福祉士・児童指導員科、介護福祉士科、精神保健福祉士通信課程（短期）	四谷キャンパス 〒102-8554　東京都千代田区紀尾井町7-1
栄光学園中学高等学校		〒247-0071　神奈川県鎌倉市玉縄4-1-1
六甲学院中学校・高等学校		〒657-0015　兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町2-4-1
広島学院中学校・高等学校		〒733-0875　広島県広島市西区古江上1-630
上智福岡中学高等学校		〒810-0032　福岡県福岡市中央区輝国1-10-10

中長期計画「グランド・レイアウト2.1」取り組み状況および「2019年度事業計画」実施報告

2019年度から5年間の中長期計画「グランド・レイアウト2.1（GL2.1）」が始動しました。2023年度までにGL2.1およびアクションプラン（AP）を達成すべく、各検討専門委員会で、2019年度の事業計画の実施状況、アクションプランの取り組み状況を振り返るとともに、次年度への課題・展望をまとめました。

GL2.1本文および2019年度事業計画はウェブサイトをご覧ください。
【GL2.1】https://www.sophia-sc.jp/info/grand_layout/layout2_1.html
【事業計画】https://www.sophia-sc.jp/info/gakuin.html

計　画	APの取り組み状況	2019年度事業計画の実施報告
A.　上智大学の将来計画		
1．教学計画 （アカデミック・プラン等検討専門第1委員会）	2023年を完成年度として計画している事項については、現段階での進捗度としては低いものが多い。一方、2020年度までの達成を目標していた項目については、ほぼ計画どおり達成できている。今後の新型コロナウイルス感染症の状況も見据えながら、事業計画を見直していく。	2019年度に計画した事業の多くを達成することができたが、いくつかが未達となってしまった。ライティングセンター設置と国際通用性のある新たな単位互換の認定方法導入については、2019年度に検討したことを土台として2020年度には具体的な成果を出したい。
2．研究・学術交流計画 （アカデミック・プラン等検討専門第2委員会）	数年間で達成を目指す項目は検討段階や準備段階という結果が多く、毎年の達成を目標とする項目は概ね達成という結果となった。研究支援の制度や施策などは比較的高い評価、他方、研究の成果を測る項目は低い評価の傾向を示している。次年度はさらなる課題解決に向け取り組みたい。	各事業計画に対し、従来の施策を継続強化したものと新規策を講じたものがあるが、概ね想定した効果が得られる結果となった。ただし、中には思うように進展しなかった事業や期待ほど効果が上がらない政策もあり、次年度取り組むべき課題として認識している。
3．学生生活支援計画 （フィジカル・プラン等検討専門第1委員会）	2019年度は学生総務担当副学長を中心に学生局横断のワーキンググループを設置し、学生相談体制の強化・充実に向け具体的な検討を進めた。また、「学生の相互交流、相互支援」、「Inclusion and Empowerment」、「多様性に配慮したキャリア支援」、「奨学金制度の充実」を目指した様々な学生支援を実施した。	GL2.1のアクションプランと事業計画および組織目標との関連を整理した結果、全体的に実効性が上がった。新たな試みとしては国際寮での教育プログラムやキャリアセンターのガイダンス委託化を実施した。
B.　上智大学短期大学部の将来計画		
（上智大学短期大学部検討専門委員会）	将来構想検討の基盤となる入学定員を確保し、学力の3要素による選抜機能が働いている。2020年度は新型コロナウイルス感染症による影響により、所定の計画実行が難しい状況下にあり、オンライン活用など、これまでとは異なる方法で実行していく必要がある。	2020年度入試は、過去19年間で2番目の入学志願者数であった。「学力の3要素」を踏まえた選抜機能が働いており、本学の求める学生像に見合った学習意欲のある学生が獲得できている。卒業時の学生の自己評価も高く、進路決定率も安定している。
C.　社会福祉専門学校の将来計画	**上智社会福祉専門学校は、2020年度の入学者をもって学生募集を停止することとなりました。在学生の卒業・資格取得に向けて、教職員一同で教育・学生生活支援に取り組んで参ります。**	
（上智社会福祉専門学校検討専門委員会）	【2019年度事業計画の実施報告】 当初、志願者の安定的確保を2019年度の重要事項ととらえていたが、2020年度入試を最後に学生募集の停止が決定したことを受け、在校生の修学支援や生活支援といった2021年度末の閉校に向けた取り組みに重点を置くことに方針転換した。	
D.　生涯学習の将来計画	**上智大学の生涯学習を長らく担ってきた「ソフィア・コミュニティ・カレッジ」は、2019年度一杯をもって開講を終了いたしました。新たな生涯学習のあり方は引き続き本委員会で検討して参ります。**	
（生涯学習検討専門委員会）	【2019年度事業計画の実施報告】 当年度が始まってから公開講座の終了と公開学習センターの閉鎖が決定したことから、2019年度は公開講座の通常開講と同時に、当該講座の廃止手続き、新しい社会人プログラムの立ち上げ準備を遺漏なく行うことに注力した1年間であった。	

E.　中高4校の将来計画		
（中等教育検討専門委員会）	**【栄光学園】**おおむね計画どおり進めることができたが、四校で連携して進めなければならない事業には中心となって推進する部署などの必要も実感した。	おおむね計画どおり進めることができたが、姉妹校、行政などとの協議や、校内各教科との協議などが必要な件については、継続的な推進が必要となった。
	【六甲学院】評価平均としては3.5あたりとはなるが、重点項目である不振者対策の面ではまだまだで、今年度導入した外部委託の学習サポートの実施方法の改善やその他の効果的な方策の検討が必要と思われる。	近年の中学から高校進学時における中途退学者の低減を目指し、中学1年、2年時の成績不振者対策、別室登校の生徒のケアに重点を置いた。一方では教員の授業リフレクションにも注力しつつ、総合的なボトムアップと受け入れ態勢を今後も継続したい。
	【広島学院】2019年度の成果の一つに危険箇所対策工事の竣工がある。近年、発生頻度が上がっている自然災害への備えの一つが完了した。引き続き、アクションプランにそって学校経営の改善を進めたい。	懸案事項であった新たな国際交流を始める準備を整えることができた。自らの価値観を再構成し、グローバルな視点で物事を考えることができる資質能力を生徒に育成したい。災害対策工事の必要性を引き続き検討し、学校の安全を確保したい。
	【上智福岡】教学部門は、国際交流のカンボジア・スタディーツアーや中3オーストラリア語学研修の継続と内容の充実を図り、グローバル化への対応が高まったが、財務・管財部門は実施に至れていない。	新学習指導要領、大学共通テストを見据えた授業研究は、3回の授業研究を実施した。（理科、数学科、保健体育科、Studies For others科の研究授業を実施。そのうち3回目は公開授業研究会を実施。）
F.　上智学院の運営基盤に関する計画		
1．イエズス会ならびにカトリック教育の理解と浸透	イエズス会ならびにカトリック教育の理解と浸透をより効果的に教育現場で具現化することが求められる。そのためには、カトリック・イエズス会センターの諸活動の活性化、さらにイエズス会員等の協力を仰ぎながら、係るカリキュラム及びその教育方法の改善を推進していきたい。「ソフィア・アーカイブズ」設置で、上智学院設置校の史資料を積極的かつ自律的に収集・保存・公開する体制が整った。これは、本学院の伝統を継承していくための基盤となるものである。	カトリック・イエズス会センターを設置したことにより、イエズス会ならびにカトリック教育の理解と浸透を実践するための推進基盤体制が整備できた。また、史資料室から「ソフィア・アーカイブズ」への改組により、本学院の史資料の収集、保存、公開に関する業務をより積極的かつ自律的に行う基盤を整備することができた。
2．全体計画 （ガバナンス検討専門委員会）	中等教育部門を設けて4年が経過し、新たな上智学院としての運営も次のステージに入った。上述F－1に纏められている通り、イエズス会教育機関としての使命や役割の再定義は一定の進捗が見られる。この点も含め、法人全体として一体感を持った組織運営に資する制度や仕組みの整備に注力したい。	特にIRにおける業務の深化、情報発信の強化には大きな進展があった。発信に関しては学外への意識はもちろんであるが、各種検証やその成果を学内にまずは広く共有する点も強く意識した。各種世界大学ランキングへの分析ならびに向き合い方に関しても、大きな進展があったと考えられる。
3．組織・人事計画 （人事計画等検討専門委員会）	2040年までを見据えて、①上智の理念に基づく教学組織の再編、②学校法人経営を継続するための人件費構造改革、③職員の帰属意識醸成とパフォーマンス向上についての検討を重点的に行った。新型コロナウイルス感染症による影響を勘案しつつ、事業の「選択」と「集中」の観点を重視した検討を継続する。	将来の収支・推移予測を踏まえた人件費構造のあり方を検討し、教学組織再編（案）を提案し、その必要性を確認した。教学組織の課題と新たな教学プログラムの推進を踏まえ、教学部門からの提言を受けて具体的な再提案を行う。教職協働イノベーション研究に加え、「働き方の見直しプロジェクト」を立ち上げ、帰属意識と職員が提供する付加価値を向上させる取り組みに着手した。
4．財政計画 （財政計画等検討専門委員会）	2019年度はアクションプランに基づく事業計画を概ね実施できたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえて中長期財政計画の見直しを行い、これに基づき新たな事業計画を立案、実施することで、GL2.1に掲げた当初の目的の着実な達成を目指すこととする。	財政面の事業計画は概ね達成できた。資産運用収入、寄付金、収益事業会計からの繰入など、学生納付金以外の多様な収入の確保は、今後の大学運営にとって大切な項目であり、今後も力を入れて取り組んでいきたい。
5．施設・設備計画 （フィジカル・プラン等検討専門第2委員会）	当初のキャンパス整備計画は、真田堀整備計画と外講整備計画を残してほぼ完了する見通しとなったため、2023年度までの整備計画を策定した。特に外講整備計画は、キャンパスのグローバル化進展に伴い当初の計画とは異なる視点での整備が求められ、学内での議論により、ソフトとハードの両輪で進めることとなった。2020年度からワーキンググループの下で整備を進める。	2023年度までの中長期キャンパス整備実施項目と実施予定時期、概算所要経費について計画を策定した。2019年度に予定していた工事は概ね完了したが、真田堀グラウンド改修工事、栄光学園通学路安全対策工事については、関係諸官庁との調整結果により工事未実施となった。
6．ICT計画 （フィジカル・プラン等検討専門第2委員会）	全体的にほぼ予定通りの進捗である。進捗が遅れている事業も、2020年度以降、調査段階から計画段階へ移行する予定である。	全体的にほぼ実施できている。情報セキュリティ関連の一部の事業で遅れが発生しているが、これは他部署との連携が必要であり、その調整に手間取ったためである。次年度は連携方法を見直し、適切に対処することとしたい。

全学的トピックス

教皇フランシスコ来校

第266代教皇フランシスコは「すべてのいのちを守るため～PROTECT ALL LIFE」というテーマを掲げ、2019年11月23日から来日し、長崎、広島を訪問した後、滞在最終日の11月26日に本学四谷キャンパスを訪れました。教皇フランシスコは、本学の設立母体であるカトリック修道会・イエズス会出身の初の教皇です。ローマ教皇の本学訪問は、1981年2月の聖ヨハネ・パウロ2世教皇以来、38年ぶりとなりました。

冒頭、佐久間勤理事長から「上智大学はカトリック大学であり、イエズス会により創立された大学として、今日ここに教皇聖下がいらっしゃることを大変光栄に存じます。本日、私たちとともに時間を過ごしてくださることに、心より感謝申し上げます」と歓迎の挨拶がありました。

引き続いて行われた「『教皇フランシスコからのメッセージ　叡智の座の大学で学ぶ者へ“Pope Francis’ Message to Students at *Universitas Sedis Sapientiae*”』と題した講話の中で、「競争と技術革新に方向づけられた社会において、上智大学は単に知的教育の場であるだけでなく、よりよい社会と希望にあふれた未来を形成していくための場となるべきだ」としたうえで、「弱者を擁護し、公正で誠実な人になってほしい」「貧しい人たちのことを忘れてはならない」「めいめいが与えられた分野で奉仕してほしい」というメッセージが、参加した学生・教職員に対して向けられました。

教皇フランシスコからのメッセージを受けて、畔道佳明学長とカトリック学生の会の会長から記念品として「マリア観音像（本学キリシタン文庫所蔵品）」が教皇に贈呈され、教皇フランシスコから上智大学長へは、マリノーノ・マンドレージによって製作された「聖母マリアの無原罪の御宿り」の純銀製レリーフが授与されました。

上智聖歌隊がグレゴリオ聖歌「教皇のための祈り」を歌い終えると、教皇は舞台から客席に移動して学生たちと握手しながら、盛大な拍手に送られて講話は終了しました。

教皇の講話は、10号館講堂などの学内の中継会場や上智学院の中高4校にも同時中継され、多くの学生・生徒・教職員が教皇フランシスコの講話を耳にする機会に恵まれました。講話全文は上智大学のホームページで公開しています。
https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/campus_view/photo/20191126pope.html

カトリックセンターがイエズス会教育推進センターと機能統合により、カトリック・イエズス会センターとして再編

2019年10月1日に、カトリックセンターは、イエズス会教育推進センターと機能統合し、「学校法人上智学院 カトリック・イエズス会センター」として再編しました。これは上智学院のさらなる発展のための長期計画「グランド・レイアウト2.1（2019年度～2023年度）」のアクションプランの一つである「イエズス会ならびにカトリック教育の理解と浸透」に係り、上智学院における2つのセンターの設置目的を再検討し、その機能の発展的統合をめざしていくものです。新しいセンターは、「キャンパスミニストリー部門」、「研究部門」、「連携部門」、「養成部門」の4つの部門から構成され「イエズス会教育の深化」、「幅広い教育ネットワークの構築」、「次世代の担い手の養成」等を実現するため、さまざまな活動を通して協働していきます。

イエズス会アルトゥロ・ソーサ総長による特別講話開催

2019年7月31日、イエズス会のアルトゥロ・ソーサ総長による特別講話「世界においてのイエズス会高等教育」が開催され、学生・教職員をはじめ約350人が参加しました。

本学の設立母体であるイエズス会は、約500年前に設立されたカトリックの修道会です。イエズス会総長の本学来訪は、2008年に元神学部教授のアドルフォ・ニコラス前総長以来、11年ぶりとなりました。

特別講話は「イエズス会使徒職全体の方向づけ」を意識して、イエズス会大学の役割とその意義、イエズス会が創立当初から大切にしてきた学問分野での活動を示す「知的使徒職」、そしてイエズス会大学が取り組む社会貢献、という3つのテーマで展開されました。

ソーサ総長は、「イエズス会大学の真価は、そこで学んだ学生が、思いやりと責任感を伴った『世界市民』として育ち、『他者のために』を実践し社会に貢献できているか、それにかかっています」と述べました。大学においては、知識の習得を積み重ねるだけではなく、「知恵」を見出すことこそが知的使徒職に課せられた目的であるとの解説がありました。

また、「大学は自らの思索を深めるとともに、多様な人々が集い、相互理解や対話を行う機会に恵まれた場所です。研究や学びを通じ、社会に変革をもたらす道筋を探し、見つけるという自由が与えられている特別な場所でもあります」と語り、大学の持つ役割と意義を指摘しました。そして、高等教育を巡る複雑な状況の中、イエズス会大学の一員であることを教職員・学生が改めて認識する重要性が強調されました。

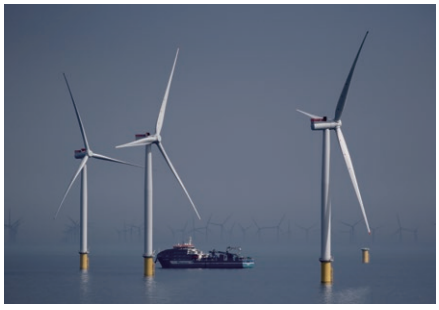
特別講話に続き、アガスティン・サリ総務担当理事の司会で、佐久間勤理事長、曄道佳明学長との鼎談が行われ、「キリスト教信者が少数派である日本社会における学校での協働のあり方」及び「実務的効果を生む学びに期待が集まる今日において、イエズス会教育の精神をどのように伝授していくべきか」という課題について議論がなされました。

責任投資（ESG）の取り組み

上智学院では、『学問研究及び社会貢献を通じて、「人間の尊厳（human dignity）」を脅かす課題 -貧困、環境、教育、倫理- の解決に貢献する』という基本理念を反映した形で資産運用を実践するために、環境（E）、社会（S）、ガバナンス（G）を考慮したESG投資に取り組んでいます。

このESGにおける諸課題を、投資の意思決定プロセスに反映させること等を定めた国連責任投資原則（PRI）に、上智学院は2015年、日本の高等教育機関として初めて署名しています。2019年のPRIの年次評価（総合評価）では、上智学院は2年連続で最高評価の「A+」を獲得しました。

2019年10月には、PRIが呼びかけを実施した「アマゾンの森林破壊と森林火災に関する投資家の声明」に署名し、気候変動問題への対応、生物多様性の保護、生態系の保全においてアマゾン熱帯雨林が果たす重要な役割を認識し、企業に適切な行動を取るよう求める立場を表明しました。


上智学院が出資している英国洋上風力発電

気候変動問題への対応としては、2019年2月にTCFD提言(※)に賛同の意を表明するとともに、気候変動問題の解決に貢献するファンドへの投資を実施しています。2019年4月には世界的な課題である再生可能エネルギーへのシフトの柱の一つとなる洋上風力発電推進に寄与するインフラ投資を開始しました。

2019年5月には、アフリカの人々の水・衛生的環境へのアクセス改善、医療制度の強化、人材育成、雇用創出などのプロジェクトの融資に活用されるアフリカ開発銀行債券への投資を開始しました。上智学院が2019年3月に、アフリカ開発銀行と締結した『教育提携協定』の理念や取り組みを、投資資金を通じても推進していくものです。また、SDGｓ達成に積極的に貢献する投資として、世界が直面する深刻な課題に向けて直接的にインパクトを与える分野に投資をし、社会や環境面のニーズによる投資機会から市場水準のリターン獲得を目指す投資を2019年9月に開始しました。

上智学院では、建学の理念と整合的な取り組みとして加盟している、「国連グローバルコンパクト」や「国連責任投資原則（PRI）」に基づき、社会的リターンと投資リターンの両立を目指して、ESGを考慮した投資を引き続き推進してまいります。

（注）TCFDとは、G20の下部組織である金融安定理事会（FSB）により設置された、「Task Force on Climate-related Financial Disclosures」（気候関連財務情報開示タスクフォース）のこと

施設等の状況

（2020年3月31日現在）

所在地	施設等	面積等		帳簿価額	摘要
四谷キャンパス 東京都千代田区紀尾井町 東京都千代田区麹町	校地		46,918.14㎡	8,629,476千円	大学と社会福祉専門学校が利用
			4,260.00㎡	借地	
	校舎（教室、実験室、研究室、講堂等）	17棟	146,181.37㎡	23,357,165千円	
	図書館（図書館、研究室等）	1棟	26,871.03㎡	2,487,307千円	
	体育館	1棟	4,453.53㎡	140,907千円	
	課外活動施設	1棟	4,114.74㎡	285,717千円	
	エネルギー・ステーション	3棟	3,304.38㎡	784,508千円	
四谷キャンパス 東京都千代田区紀尾井町 東京都千代田区麹町 東京都港区赤坂 東京都新宿区四谷	運動場		23,972.87㎡	借地	大学が利用
石神井キャンパス 東京都練馬区上石神井	校舎敷地		1,600.80㎡	借地、借用建物	大学が利用
	図書館	1棟	1,369.86㎡		
秦野キャンパス 神奈川県秦野市	校地		259,601.91㎡	2,248,666千円	大学と短期大学部が利用
	運動場		2,183.38㎡	借地	
	校舎（教室、実験室）	1棟	3,292.27㎡	192,415千円	短期大学部が利用
	研究棟（図書館、研究室）	1棟	2,463.38㎡	470,265千円	
	体育館	1棟	1,003.51㎡	65,043千円	
	食堂棟（食堂、研究室）	1棟	1,606.73㎡	44,830千円	
	管理棟（事務室）	1棟	1,260.96㎡	129,413千円	
	学生寮	1棟	2,751.55㎡	26,813千円	
	セミナーハウス（教室、宿舎）	1棟	1,583.92㎡	31,663千円	大学が利用
	合宿所	1棟	925.70㎡	95,002千円	
大阪サテライトキャンパス 大阪府大阪市北区豊崎	校舎	1棟	664.50㎡	借用建物	大学が利用
目白聖母キャンパス 東京都新宿区下落合	校地		4,523.73㎡	40,445千円	大学が利用
	校舎（1号館）	1棟	5,789.04㎡	1,317,689千円	
	校舎（2号館）	1棟	2,204.50㎡	223,804千円	
祖師谷国際交流会館 東京都世田谷区上祖師谷	用地		13,441.00㎡	3,455,125千円	大学が利用
	学生寮	5棟	14,016.49㎡	866,758千円	
アルペ国際学生寮 東京都新宿区信濃町	用地		1,242.45㎡	借地	大学が利用
	学生寮	1棟	4,955.73㎡	2,133,512千円	
枝川寮 東京都江東区枝川	用地		1,003.39㎡	415,822千円	大学が利用
	男子学生寮	1棟	2,530.22㎡	403,120千円	
軽井沢セミナーハウス 長野県北佐久郡軽井沢町	用地		6,772.00㎡	701,339千円	大学が利用
	セミナーハウス（教室、宿舎）	1棟	1,981.83㎡	363,728千円	

上智大学

上智大学・上智大学大学院では教育研究上の目的、人材養成の目的、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）及びアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）を学部・学科ならびに研究科・専攻ごとに大学ウェブサイトで公表しています。
https://www.sophia.ac.jp

教職員数等

教職員数

（2019年5月1日現在）

学校区分	教職員区分	本務	兼務	総計
上智大学	教員	540	901	1,441
	職員	360	2	362
総　計		900	903	1,803

※本務教員：専任教員・特別契約教授・特任教員・常勤嘱託教員・実務家教員・出向教員
　兼務教員：非常勤嘱託教員
　本務職員：専任職員・特別契約職員・嘱託（一般）職員・嘱託（特別）職員
　兼務職員：嘱託（一般）職員（医師等）
※管理部門所属職員は上智大学に算入

年齢別教員数

（2019年5月1日現在）

学校区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
上智大学	2	74	156	197	107	4	540

※非常勤講師を除く
※平均年齢50.86歳（非常勤講師を除く）

職階別教員数

（2019年5月1日現在）

学校区分	教授	准教授	講師	助教	助手	教員	総計
上智大学	315	137	37	42	9	0	540

※非常勤講師を除く

教員一人当たり学生数

（2019年5月1日現在）

学　部	学生数	本務教員数	
		教員数	一人当たり学生数
神学部	215	20	10.75
文学部	2,331	72	32.38
総合人間科学部	1,350	65	20.77
法学部	1,438	33	43.58
経済学部	1,415	30	47.17
外国語学部	2,284	63	36.25
総合グローバル学部	986	27	36.52
国際教養学部	799	36	22.19
理工学部	1,637	101	16.21
総　計	12,455	447	27.86

学生数

学部

（2019年5月1日現在）

学　部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次		学生数	収容定員充足率
神学部	40	176	40	41	49	85	(31)	215	122.2%
文学部	510	2,040	527	523	528	753	(207)	2,331	114.3%
総合人間科学部	305	1,220	306	309	322	413	(82)	1,350	110.7%
法学部	330	1,320	331	338	355	414	(83)	1,438	108.9%
経済学部	330	1,320	334	333	336	412	(84)	1,415	107.2%
外国語学部	500	2,000	507	520	513	744	(222)	2,284	114.2%
総合グローバル学部	220	880	224	229	231	302	(63)	986	112.0%
国際教養学部	186	744	193	187	195	224	(43)	799	107.4%
理工学部	380	1,520	388	380	402	467	(65)	1,637	107.7%
合　計	2,801	11,220	2,850	2,860	2,931	3,814	(880)	12,455	111.0%

※4年次生の欄（　）内は在学継続者数で内数である。
※国際教養学部及び理工学部の学生数は、同一年次数＝前年9月入学者数＋当該年度4月入学者数である。

大学院

（2019年5月1日現在）

研究科	博士前期課程／修士課程／専門職学位課程				博士後期課程				総計
	入学定員	収容定員	学生数	収容定員充足率	入学定員	収容定員	学生数	収容定員充足率	
神学研究科	20	40	20	50.0%	4	12	5	41.7%	25
哲学研究科	0	0	1	－	0	0	5	－	6
文学研究科	86	172	87	50.6%	24	72	56	77.8%	143
実践宗教学研究科	10	20	23	115.0%	3	6	8	133.3%	31
総合人間科学研究科	59	118	116	98.3%	16	48	57	118.8%	173
法学研究科　法律学専攻	20	40	8	20.0%	4	12	6	50.0%	14
法曹養成専攻	40	120	78	74.3%	－	－	－	－	78
経済学研究科	30	60	61	101.7%	4	12	4	33.3%	65
言語科学研究科	33	66	69	104.5%	5	15	33	220.0%	102
グローバル・スタディーズ研究科	60	120	136	113.3%	14	42	25	59.5%	161
理工学研究科	250	500	378	75.6%	20	60	48	80.0%	426
地球環境学研究科	60	120	151	125.8%	10	30	27	90.0%	178
合　計	668	1,376	1,128	82.9%	104	309	274	88.7%	1,402

※グローバル社会専攻、理工学専攻、地球環境学研究科の学生数は、同一年次数＝前年9月入学者数＋当該年度4月入学者数
※法科大学院の定員は、文部科学省告示により入学定員の3倍であるため、各年度の入学定員から算出し、収容定員は120（40+40+40=120）とする。
　定員充足率の算出においては2、3年制の各入学定員に各標準修業年限を乗じた数｛(25×3)＋(15×2)＝105｝を基礎とする。
※総合人間科学研究科看護学専攻は修士課程のみ設置。

助産学専攻科

（2019年5月1日現在）

専攻科	入学定員	収容定員	1年次	学生数	収容定員充足率
助産学専攻科	10	10	10	10	100.0%

社会人学生数

（2019年5月1日現在）

研究科	博士前期課程	博士後期課程	総計
神学研究科	6	2	8
哲学研究科	0	1	1
文学研究科	19	21	40
実践宗教学研究科	20	7	27
総合人間科学研究科	34	21	55
法学研究科　法律学専攻	1	1	2
法曹養成専攻※	20	－	20
経済学研究科	13	1	14
言語科学研究科	31	21	52
グローバル・スタディーズ研究科	45	12	57
理工学研究科	11	21	32
地球環境学研究科	40	9	49
合　計	240	117	357

※法曹養成専攻は「専門職学位課程」

外国人学生数

（2019年10月1日現在）

国・地域	身分	学部生	大学院生	交換留学生	ノン・ディグリー生	その他（注）	総計
アジア	中華人民共和国	343	347	34	40	74	838
	大韓民国	188	27	9	1	2	227
	台湾	26	4	10			40
	インドネシア共和国	15	9	6	1	2	33
	ベトナム社会主義共和国	9	15	5			29
	フィリピン共和国	15	7	4			26
	マレーシア	7	6		1		14
	ミャンマー連邦	8	4			1	13
	インド	5	6				11
	タイ王国	3	2	3	1		9
	ネパール王国	1	7				8
	パキスタン・イスラム共和国	3	3				6
	シンガポール共和国	4					4
	スリランカ民主社会主義共和国	2	2			1	5
	モルジブ共和国		2				2
	モンゴル国	1	1				2
	朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）	1	1				2
	東ティモール民主共和国	2					2
	カンボジア王国	1					1
	バングラデシュ人民共和国		1				1
	小　計	634	444	71	44	80	1,273
ヨーロッパ	ドイツ連邦共和国	2	4	45	1	1	53
	フランス共和国	3	6	41	1		51
	英国		3	17	1		21
	ロシア連邦	3	4	9		1	17
	スペイン		1	10	1	1	13
	イタリア共和国		2	8			10
	スウェーデン王国	1	1	8			10
	ノルウェー王国	2	1	3			6
	オランダ王国		2	2	1	1	6
	ベルギー王国	1		4			5
	オーストリア共和国		1	3			4
	スイス連邦	1		3			4
	ブルガリア共和国		2	1			3
	ポーランド共和国	1		1			2
	ポルトガル共和国			2			2
	ルクセンブルク大公国		2				2
	ボスニア・ヘルツェゴビナ共和国		1				1
	アイスランド共和国			1			1
	アイルランド	1					1
	ウクライナ	1					1
	カザフスタン共和国			1			1
	ギリシア共和国			1			1
	クロアチア共和国		1				1
	スロバキア共和国		1				1
	デンマーク王国			1			1
	フィンランド共和国			1			1
	ベラルーシ共和国				1		1
	リトアニア共和国			1			1
	ルーマニア			1			1
	小　計	16	32	164	6	4	222
中東	トルコ共和国	4	2	1		1	8
	シリア・アラブ共和国	1	1	1			3
	サウジアラビア王国		2				2
	ヨルダン・ハシミテ王国		2				2
	イラク共和国			1			1
	イラン・イスラム共和国	1					1
	レバノン共和国		1				1
	パレスチナ					1	1
	小　計	6	8	3	0	2	19
アフリカ	カメルーン共和国		14		3		17
	ナイジェリア連邦共和国	1	6				7
	ウガンダ共和国		3				3
	ガーナ共和国		3				3
	マラウイ共和国		2				2
	南アフリカ共和国		2				2
	アンゴラ共和国		1				1
	エジプト・アラブ共和国	1					1
	エチオピア連邦民主共和国		1				1
	ケニア共和国		1				1
	ジンバブエ共和国	1					1
	タンザニア連合共和国		1				1
	ブルキナファソ	1					1
	リベリア共和国		1				1
	ルワンダ共和国		1				1
	社会主義人民リビア・アラブ国		1				1
	ボツワナ共和国					1	1
	小　計	4	37	0	3	1	45
北米	アメリカ合衆国	38	27	44	23	1	133
	カナダ	1	3	7	1		12
	小　計	39	30	51	24	1	145
中南米	ブラジル連邦共和国	8	3	5			16
	メキシコ合衆国		3	8			11
	コロンビア共和国		2	2			4
	チリ共和国		2				2
	ベネズエラ共和国		2				2
	アルゼンチン共和国			1			1
	ジャマイカ		1				1
	バルバドス		1				1
	ペルー共和国		1				1
	小　計	8	15	16	0	0	39
オセアニア	オーストラリア	2	4	14	2		22
	パラオ		1				1
	マーシャル諸島共和国		2				2
	ニュージーランド		2	1			3
	ミクロネシア連邦	6	2				8
	小　計	8	11	15	2	0	36
総　計		715	577	320	79	88	1,779

※「その他」の身分は、研究生、外国人特別研究生、科目等履修生、委託聴講生の合計。

2019年度実施入試（2020年度入学）

学部

入試区分 / 学部	入学定員	一般入試（学科別）				一般入試（TEAP利用型）				推薦入試（指定校）				推薦入試（公募制）			
		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	40	14	78	12	9	10	41	5	3	6	8	8	8	8	25	18	18
文学部	510	293	2,822	742	216	80	1,303	224	34	48	59	59	59	89	177	96	96
総合人間科学部	305	162	2,411	383	96	50	679	109	32	24	23	23	23	69	207	60	60
法学部	330	192	2,939	555	100	53	982	152	34	32	44	44	44	53	119	60	57
経済学部	330	213	4,804	916	177	47	658	123	27	19	27	27	27	51	111	43	42
外国語学部	500	242	3,107	785	194	70	900	231	51	61	64	64	64	131	168	111	110
総合グローバル学部	220	100	1,564	326	73	40	565	110	30	20	23	23	23	60	150	49	49
国際教養学部	186	–	–	–	–	–	–	–	–	4	3	3	3	37	83	42	41
理工学部	380	150	2,739	658	136	60	564	145	31	134	157	157	157	36	36	12	12
合　計	2,801	1,366	20,464	4,377	1,001	410	5,692	1,099	242	348	408	408	408	534	1,076	491	485

※一般入試合格者には、補欠入学許可者を含む

入試区分 / 学部	カトリック高等学校対象特別入試※			海外就学経験者入試			神学部推薦入試			外国人入試		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	5	2	2	1	1	1	0	0	0	2	0	0
文学部	89	51	51	91	45	37	–	–	–	172	11	9
総合人間科学部	116	52	52	100	32	22	–	–	–	170	13	11
法学部	76	47	47	89	37	26	–	–	–	167	18	13
経済学部	43	28	28	85	21	11	–	–	–	218	19	11
外国語学部	68	50	50	128	33	19	–	–	–	22	10	7
総合グローバル学部	49	26	26	96	17	7	–	–	–	49	8	3
国際教養学部	6	6	6	–	–	–	–	–	–	–	–	–
理工学部	20	13	13	62	21	10	–	–	–	146	9	6
合　計	472	275	275	652	207	133	0	0	0	946	88	60

※カトリック高等学校対象特別入試の志願者数は、併願を含む

入試区分 / 学部	教育提携校特別推薦入試※			海外指定校入試			社会人入試			国際バカロレア入試（第1期）			国際バカロレア入試（第2期）			難民高等教育プログラム		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	1	1	1	0	0	0	–	–	–	0	0	0	–	–	–	0	0	0
文学部	10	10	10	1	1	1	–	–	–	1	1	0	3	3	2	0	0	0
総合人間科学部	10	10	10	0	0	0	2	0	0	10	5	1	3	0	0	0	0	0
法学部	6	6	6	1	1	1	–	–	–	15	14	3	3	3	2	0	0	0
経済学部	7	7	7	2	2	2	–	–	–	15	15	4	4	1	1	–	–	–
外国語学部	8	8	8	0	0	0	–	–	–	2	2	2	3	1	1	0	0	0
総合グローバル学部	3	3	3	0	0	0	–	–	–	9	4	2	12	8	5	0	0	0
国際教養学部	1	1	1	0	0	0	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	0	0
理工学部	4	4	4	1	1	1	–	–	–	5	5	3	3	3	1	–	–	–
合　計	50	50	50	5	5	5	2	0	0	57	46	15	31	19	12	1	0	0

※教育提携校特別推薦入試には、上海日本人学校高等部特別推薦入試を含む

2020年度学部春学期入学全入学試験（国際教養学部書類審査は除く）

入試区分／学部	合　計		
	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	161	47	42
文学部	4,728	1,243	515
総合人間科学部	3,731	687	307
法学部	4,441	937	333
経済学部	5,974	1,202	337
外国語学部	4,470	1,295	506
総合グローバル学部	2,520	574	221
国際教養学部	94	52	51
理工学部	3,737	1,028	374
合　計	29,856	7,065	2,686

◇国際教養学部　1年次入試

	志願者数	合格者数	入学者数
2019年度秋学期入学・第1期	380	156	88
2019年度秋学期入学・第2期	257	77	37
2020年度春学期入学・第1期	314	139	31
2020年度春学期入学・第2期	89	26	16
合　計	1,040	398	172

◇理工学部英語コース

	志願者数	合格者数	入学者数
2019年度秋学期入学・第1期	43	13	6
2019年度秋学期入学・第2期	29	9	5
合　計	72	22	11

◇海外指定校（2019年度秋学期入学）

学　部	志願者数	合格者数	入学者数
理工学部	5	5	5
国際教養学部	3	3	3
合　計	8	8	8

学部　編入学試験

入試区分／学部	編入学試験			上智短期大学生特別編入学試験（A方式）			上智短期大学生特別編入学試験（B方式）			神学部推薦入学編入		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	※11	※3	2	0	0	0	1	0	0	5	5	5
文学部	35	4	4	5	5	5	11	4	4	—	—	—
総合人間科学部	11	1	1	5	5	5	11	4	4	—	—	—
法学部	9	2	2	2	2	2	4	2	2	—	—	—
経済学部	15	1	1	3	3	3	0	0	0	—	—	—
外国語学部	5	2	2	2	2	2	0	0	0	—	—	—
総合グローバル学部	5	1	1	2	2	2	0	0	0	—	—	—
国際教養学部	—	—	—	1	1	1	0	0	0	—	—	—
理工学部	14	2	1	0	0	0	0	0	0	—	—	—
合　計	93	25	20	20	20	20	27	10	10	5	5	5

※2月編入学試験含む

◇国際教養学部　3年次編入学試験

	志願者数	合格者数	入学者数
2019年度秋学期入学	26	13	11
2020年度春学期入学	10	2	2

◇理工学部英語コース　3年次編入学試験

	志願者数	合格者数	入学者数
2019年度秋学期入学	3	0	0

大学院

研究科	博士前期課程				博士後期課程			
	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
神学研究科	20	19	16	16	4	3	2	2
文学研究科	86	134	46	37	24	14	10	10
実践宗教学研究科	10	17	10	10	3	4	2	2
総合人間科学研究科	59	132	53	52	16	9	6	6
法学研究科（法律学専攻）	20	13	2	1	4	0	0	0
経済学研究科	30	408	36	30	4	4	3	3
言語科学研究科	33	59	24	23	5	14	9	9
グローバル・スタディーズ研究科	※60	149	54	37	※14	13	5	4
理工学研究科	※250	249	157	151	※20	14	13	13
地球環境学研究科	※60	123	60	47	※10	7	6	6
合　計	628	1,303	458	404	104	82	56	55

※2019年度秋学期を含む

◇法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）

	定員	志願者数	合格者数	入学者数
2年制コース（8月・9月・1月・合計）	15	59	16	11
3年制コース（8月・9月・1月・合計）	25	88	33	16
学部3年次生特別選抜	若干名	3	2	0
小　計	40	150	51	27

◇2019年度秋学期入学

研究科	博士前期課程			博士後期課程		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
グローバル・スタディーズ研究科	155	43	26	11	2	2
理工学研究科	31	28	21	4	4	4
地球環境学研究科	56	44	31	12	11	9
合　計	242	115	78	27	17	15

助産学専攻科

	定員	志願者数	合格者数	入学者数
助産学専攻科	10	26	10	10

※合格者には、補欠入学許可者を含む

卒業・修了者数等

卒業・修了者数

◇学部

学部	卒業者数	備考
神学部	55	
文学部	561	
総合人間科学部	334	
法学部	319	早期卒業者2名
経済学部	322	早期卒業者1名
外国語学部	544	
総合グローバル学部	234	早期卒業者4名
国際教養学部	193	早期卒業者2名
理工学部	401	
合　計	2,963	

◇専攻科

専攻科	修了者数	備考
助産学専攻科	10	

◇大学院

研究科	博士前期課程、修士課程、専門職学位課程（法科大学院）、修了者数	博士後期課程修了者数	備考
神学研究科	6	0	
哲学研究科	0	0	
文学研究科	34	2	
実践宗教学研究科	9	0	
総合人間科学研究科	43	0	
法学研究科			
法律学専攻	3	0	博士前期課程　早期修了1名
法曹養成専攻（法科大学院）	17	―	
経済学研究科	28	0	
言語科学研究科	29	2	
グローバル・スタディーズ研究科	61	3	博士前期課程　早期修了6名
理工学研究科	188	12	博士前期課程　早期修了1名 博士後期課程　早期修了3名
地球環境学研究科	77	2	
合　計	495	21	

◇大学院　博士号授与者数

研究科	課程博士	論文博士
神学研究科	0	0
哲学研究科	2	0
文学研究科	3	1
総合人間科学研究科	1	1
法学研究科	0	1
経済学研究科	0	0
言語科学研究科	3	0
グローバル・スタディーズ研究科	3	2
理工学研究科	12	2
地球環境学研究科	2	0
合　計	26	7

退学者数

◇学部

学　部	退学者数
神学部	4
文学部	17
総合人間科学部	6
法学部	11
経済学部	14
外国語学部	21
総合グローバル学部	4
国際教養学部	21
理工学部	11
合　計	109

◇専攻科

専攻科	退学者数
助産学専攻科	0
合　計	0

※退学者数は、2020年5月1日現在決裁済みのものに限る

◇大学院（博士後期課程は満期退学も含む）

研究科	博士前期課程・修士課程・専門職学位課程（法科大学院）	博士後期課程
神学研究科	1	1
哲学研究科	1	1
文学研究科	5	6
実践宗教学研究科	1	0
総合人間科学研究科	7	5
法学研究科		
法律学専攻	0	2
法曹養成専攻（法科大学院）	7	—
経済学研究科	0	1
言語科学研究科	2	5
グローバル・スタディーズ研究科	3	3
理工学研究科	4	0
地球環境学研究科	1	2
合　計	32	26

中退率（学部）・・・3.07%

※2016年4月1日学部入学者のうち、2020年3月までに退学・除籍した学生の割合。但し、編入学・再入学を除く。

進路

2019年度　学部卒業者・大学院修了者の進路

（人）

設置・学部＼進路区分		就職	進学	その他	未届者	合計
学部		2,351	335	241	36	2,963
	神学部	36	12	6	1	55
	文学部	471	42	45	3	561
	総合人間科学部	269	39	23	3	334
	法学部	265	27	26	1	319
	経済学部	280	9	30	3	322
	外国語学部	481	11	50	2	544
	総合グローバル学部	196	19	18	1	234
	国際教養学部	129	8	34	22	193
	理工学部	224	168	9	0	401
大学院（法科大学院を除く）		319	47	113	20	499
合　計		2,670	382	354	56	3,462

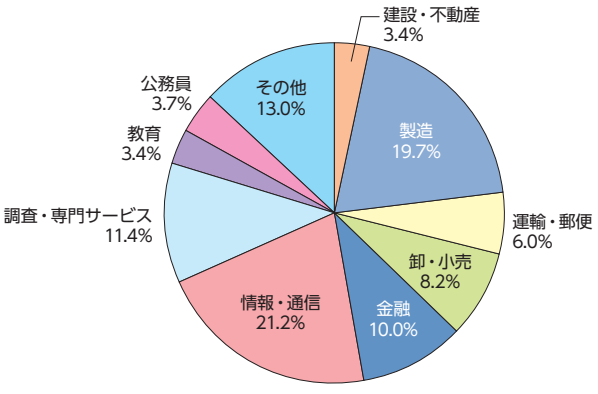
※「その他」は、アルバイト、海外渡航、資格試験準備、就職活動継続（公務員試験勉強中）等を含む。

就職

業種別内定状況

◇全体（学部・大学院）

業種	男	女	計	%
建設・不動産	37	55	92	3.4%
製造	251	274	525	19.7%
運輸・郵便	34	125	159	6.0%
卸・小売	79	141	220	8.2%
金融	113	154	267	10.0%
情報・通信	236	329	565	21.2%
調査・専門サービス	111	194	305	11.4%
教育	26	64	90	3.4%
公務員	34	66	100	3.7%
その他	77	270	347	13.0%
合　計	998	1,672	2,670	100.0%



内定上位就職先一覧

◇全体（学部・大学院）

（内定者5名以上の就職先）

順位	企業名	男	女	合計
1	楽天株式会社	8	29	37
2	全日本空輸株式会社	1	28	29
3	株式会社日立製作所	13	8	21
4	東京海上日動火災保険株式会社	7	13	20
5	アクセンチュア株式会社	4	12	16
	日本航空株式会社	2	14	16
	日本電気株式会社	8	8	16
8	株式会社NTTデータ	8	7	15
9	アビームコンサルティング株式会社	9	5	14
	第一生命保険株式会社	7	7	14
	日本アイ・ビー・エム株式会社	5	9	14
	みずほフィナンシャルグループ	5	9	14
	株式会社三菱UFJ銀行	5	9	14
14	KDDI株式会社	6	7	13
	日本生命保険相互会社	4	9	13
	富士通株式会社	7	6	13
17	日本放送協会	5	6	11
	PwCコンサルティング合同会社	4	7	11
19	株式会社NTTドコモ	6	4	10
	キヤノン株式会社	5	5	10
	東京都（公務員）	3	7	10
	凸版印刷株式会社	4	6	10
	虎の門病院（国家公務員共済組合連合会）		10	10
	株式会社野村総合研究所	7	3	10
25	伊藤忠商事株式会社	3	6	9
	株式会社キーエンス	8	1	9
	パナソニック株式会社	3	6	9
	三井住友海上火災保険株式会社	4	5	9
	株式会社リクルート	2	7	9
30	SMBC日興証券株式会社	3	5	8
	日産自動車株式会社	5	3	8
	野村證券株式会社	4	4	8
	東日本電信電話株式会社	4	4	8
	本田技研工業株式会社	6	2	8
35	NTTコミュニケーションズ株式会社	3	4	7
	株式会社JTB	2	5	7
	株式会社JALスカイ		7	7
	住友商事株式会社	1	6	7
	株式会社電通デジタル	1	6	7
	国立大学法人東京医科歯科大学医学部附属病院		7	7
	株式会社ニトリ	3	4	7
	パーソルプロセス＆テクノロジー株式会社	3	4	7
	株式会社博報堂	2	5	7
	東日本旅客鉄道株式会社	1	6	7
	株式会社三井住友銀行	5	2	7
	明治安田生命保険相互会社	1	6	7

順位	企業名	男	女	合計
35	レバレジーズ株式会社	4	3	7
48	アンダーソン・毛利・友常法律事務所		6	6
	ANA成田エアポートサービス株式会社		6	6
	NECソリューションイノベータ株式会社	4	2	6
	川崎汽船株式会社	5	1	6
	独立行政法人国立がん研究センター中央病院		6	6
	住友電気工業株式会社	4	2	6
	ソニー株式会社	5	1	6
	ソフトバンク株式会社	5	1	6
	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	5	1	6
	大和証券株式会社	2	4	6
	TIS株式会社	4	2	6
	デロイトトーマツコンサルティング合同会社	3	3	6
	東京ガス株式会社	3	3	6
	西村あさひ法律事務所		6	6
	日本通運株式会社	2	4	6
	日本ユニシス株式会社	3	3	6
	株式会社ファーストリテイリング	4	2	6
	三井不動産リアルティ株式会社	2	4	6
	三菱電機株式会社	2	4	6
	株式会社りそなグループ	3	3	6
68	アマゾンジャパン株式会社	2	3	5
	Indeed Japan株式会社		5	5
	独立行政法人国立国際医療研究センター病院		5	5
	株式会社サイバーエージェント	2	3	5
	学校法人上智学院	3	2	5
	スズキ株式会社	4	1	5
	株式会社セールスフォース・ドットコム	2	3	5
	株式会社大和総研ホールディングス	1	4	5
	大和ハウス工業株式会社	2	3	5
	トヨタ自動車株式会社	5		5
	日鉄住金物産株式会社	2	3	5
	株式会社日本総合研究所	5		5
	日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ株式会社	1	4	5
	株式会社ネオキャリア	1	4	5
	パーソルキャリア株式会社	1	4	5
	三井住友信託銀行株式会社	2	3	5
	三菱自動車工業株式会社	2	3	5
	三菱UFJ信託銀行株式会社	5		5
	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	2	3	5
	株式会社明電舎	3	2	5
	ヤマハ発動機株式会社	1	4	5
	読売新聞東京本社	4	1	5
	株式会社リコー	2	3	5
	レイスグループ	2	3	5

国家試験・資格等

国家公務員等試験合格状況

（2020年3月31日現在）

年度	2019年度		
試験区分	上智大学合格数		試験全体合格数（人）
	全合格者数	うち既卒者数	
国家総合職（大卒）	6	1	1,293
国家総合職（院卒）	6	*	664
国家一般職	41	7	7,605
外務省専門職員	4	*	48
財務専門官	5	2	526
国税専門官	11	2	3,514
労働基準監督官	2	1	573
裁判所事務官総合職	0	*	17
裁判所事務官一般職	17	*	1,255
家庭裁判所調査官補（院卒）	1	*	47
防衛省職員専門職	5	1	84
自衛隊幹部候補	3	1	*
航空管制官	3	2	105
司法試験	11	8	1,502
公認会計士	13	11	1,337
看護師	68	1	58,514
保健師	19	1	7,537
助産師	10	0	2,093

＊は非公開につき不明　　資料提供：人事院他

教育職員免許状取得者数

（2020年3月31日現在）

	中学校1種	高校1種	中学校専修	高校専修	養護1種	合計
国語	14	14	0	0	－	28
社会	38	－	4	－	－	42
数学	6	8	0	0	－	14
理科	2	2	3	3	－	10
宗教	11	11	1	1	－	24
地理歴史	－	22	－	1	－	23
公民	－	38	－	4	－	42
英語	34	36	3	3	－	76
ドイツ語	0	0	0	0	－	0
フランス語	0	0	0	0	－	0
イスパニア語	－	1	0	0	－	1
ロシア語	－	1	0	0	－	1
ポルトガル語	－	1	0	0	－	1
情報	－	0	－	0	－	0
工業	－	0	－	0	－	0
福祉	－	0	－	0	－	0
養護	－	－	－	－	7	7
合計	105	134	11	12	7	269

※数字は延べ人数
※－は課程認定なし
※一括申請受付分

国際交流

交換留学協定校数・学術交流協定校数、派遣／受入交換留学生数

（2020年3月31日現在）

	国・地域	交換留学・学術交流協定校数	2019年度派遣交換留学生数（上智→海外）	2019年度受入交換留学生数（海外→上智）
アジア	大韓民国	9	7	16
	中華人民共和国	23（5）	10	31
	台湾	3	3	12
	ベトナム社会主義共和国	3（1）		3
	カンボディア王国	2（2）		
	タイ王国	9（4）	4	8
	シンガポール共和国	3（1）	2	1
	フィリピン共和国	3	3	11
	インドネシア共和国	5	2	10
	マレーシア	4（1）	2	
	モンゴル国	1（1）		
	インド	12（11）	1	
	スリランカ民主社会主義共和国	1（1）		
	ミャンマー連邦共和国	1（1）		
	ラオス人民民主共和国	1（1）		
中東	トルコ共和国	1		3
	ヨルダン・ハシミテ王国	1（1）		
	レバノン共和国	1		
	イスラエル国	1（1）		
ヨーロッパ	英国	16（3）	17	33
	アイルランド	1	5	
	オーストリア共和国	1	3	4
	スウェーデン王国	3	2	8
	ノルウェー王国	1	5	7
	フィンランド共和国	3		5
	デンマーク	1		5
	ベルギー王国	3	1	4
	ルクセンブルク大公国	1	4	
	ドイツ連邦共和国	28	67	63
	フランス共和国	26（2）	37	55
	イタリア共和国	7（1）	6	12
	スペイン	15	20	16
	スイス連邦	4	5	7
	オランダ王国	3	4	8
	ポルトガル共和国	4	4	2
	ロシア連邦	9	11	9
	コソボ共和国	1（1）		
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	1（1）		
	ポーランド共和国	2		
	ハンガリー	2		1
	チェコ共和国	1	1	1
ヨーロッパ	クロアチア共和国	1	2	
	ウズベキスタン共和国	1	1	
	ベラルーシ共和国	2	1	
	アイスランド	1	1	1
	リトアニア共和国	2	2	1
	リヒテンシュタイン公国	1		
	北マケドニア共和国	1（1）		
	カザフスタン共和国	1		1
	スロベニア共和国	1		
	ルーマニア	1		
	キプロス共和国	1		
北米	アメリカ合衆国	81（3）	98	150
	カナダ	8	11	10
中南米	メキシコ合衆国	10（1）	7	24
	コロンビア共和国	2	2	5
	ブラジル連邦共和国	5	4	6
	アルゼンチン共和国	2	1	2
	チリ共和国	2	1	1
	コスタリカ共和国	1（1）		
	ペルー共和国	2	1	
	ウルグアイ東方共和国	1		
	グアテマラ共和国	1		
	ジャマイカ	1（1）		
オセアニア	オーストラリア	15	24	29
	ニュージーランド	1	1	1
	フィジー	1	1	
	ミクロネシア	1（1）		
アフリカ	南アフリカ共和国	2	2	
	ベナン共和国	1		
	カメルーン共和国	1		
	コートジボワール共和国	1		
	ガーナ共和国	1（1）		
	ブルキナファソ	1（1）		
	タンザニア連合共和国	1（1）		
	エチオピア連邦民主共和国	1（1）		
	マラウイ共和国	1（1）		
合　計		374（52）	386	566

※協定校数（　）内は内数で学術交流協定校（学生交換は行っていない）
※交換留学生数は、ACUCAコンソーシアム加盟大学への派遣・受入留学生および在外履修制度による派遣・受入学生を含む

海外短期語学講座・海外短期研修　参加者数

海外短期語学講座	夏期（8月～9月）	176
	春期（2月～3月）	125
海外短期研修	夏期（8月～9月）	57
	春期（2月～3月）	36
合　計		394

グローバル教育センター科目による海外派遣（インターンシップ科目含む）　参加者数

プログラム名	参加者数
グローバルインターンシップ科目（短期）	15
東アジアの諸問題とイエズス会教育	20
合　計	35

実践型プログラム（短期）　参加者数

グローバルリーダーシップ・プログラム	夏期	6
AJCU-APサービスラーニング・プログラム※	夏期	3
ジュネーブ国際機関集中研修	夏期	24
インド・サービスラーニング・プログラム	春期	11
インドの社会経済·人間開発に学ぶ：南インドのケララ州を実例に	夏期	7
国際公務員をめざして（実務型国連研修）	夏期	―
ミクロネシア·エクスポジャーツアー	夏期	10
アフリカに学ぶ	夏期	14
	春期	14
メコン経済回廊スタディツアー：肌で感じるASEAN共同体	夏期	16
	春期	16
北部タイ・サービスラーニング・プログラム	夏期	13
バンコク国際機関実地研修	春期	10
エストニア・スタディツアー	夏期	6
ペルースタディツアー「往還する南米日系人」	春期	12
国連の役割と機能（国連集中研修）	春期	30
ミャンマー・スタディツアー	春期	4
合　計		196

外国人留学生対象短期プログラム Sophia Short-term Program　参加者数

プログラム名	参加者数
Summer Session in Japanese Language	72
Summer Session in East Asian Studies	138
Summer School for Chinese Students (Stay in Tokyo)	67
Summer School in Global Environmental Studies	70
January Session in Japanese Studies	87
Winter School for Chinese Students (Stay in Tokyo)	121
Winter Session in Global Environmental Studies	71
Northeastern University Program	16
Javeriana University　Program	16
華南師範大学	27
合　計	685

※本学正規生の参加者数は含めず。3日間以上本学にて授業を行ったもののみ記載。

高等教育部門―上智大学

交換留学協定校・学術交流協定校

北米

Canada
- アルバータ大学
- ウエスタン・オンタリオ大学キングスカレッジ
- ビクトリア大学
- ブリティッシュ・コロンビア大学
- マギル大学
- モントリオール大学
- ラヴァル大学
- レジャイナ大学

U.S.A.
- アメリカ・カトリック大学
- アリゾナ州立大学
- アリゾナ大学
- イェール大学
- ヴァージニア大学
- ウィスコンシン大学ホワイトウォーター校
- ウィスコンシン大学マディソン校
- ウィッテンバーグ大学
- ウィノナ州立大学
- ウェスト・ジョージア大学
- ウェスト・フロリダ大学
- オクシデンタル大学
- カニシウス・カレッジ ※2
- カリフォルニア州立大学フラトン校
- カリフォルニア大学サンタクルーズ校
- カリフォルニア大学バークレー校 ※1
- カレッジ・オブ・セント・ローズ
- カンザス大学
- クレイトン大学 ※2
- クレムソン大学
- コネチカット大学
- コロラド大学ボルダー校
- ゴンザガ大学 ※2
- ザビエル大学 ※2
- サフォック大学
- サンタ・クララ大学 ※2
- サンディエゴ州立大学
- サンノゼ州立大学
- サンフランシスコ大学 ※2
- シアトル大学 ※2
- シートン・ホール大学
- ジョージ・メイスン大学
- ジョージ・ワシントン大学 ※1
- ジョージア大学
- ジョージタウン大学 ※2
- ジョン・キャロル大学 ※2
- スクラントン大学 ※2
- セント・ジョセフ大学 ※2
- セント・ジョンズ大学（ニューヨーク）
- セント・トーマス大学
- セント・ノバート・カレッジ
- セント・ピーターズ大学 ※2
- セント・メリーズ・カレッジ・オブ・カリフォルニア
- セント・メリーズ大学
- テキサス大学オースティン校
- デサレス大学
- テネシー工科大学
- デュケイン大学
- ニュースクール大学
- ノース・カロライナ州立大学
- ノース・カロライナ大学シャーロット校
- ノース・カロライナ大学チャペルヒル校
- ノース・フロリダ大学
- ノースウェスト・ミズーリ州立大学
- ノートルダム・ドゥ・ラック大学
- ハヴァフォード・カレッジ
- ハワイ大学マノア校
- ピッツバーグ大学
- フェアフィールド大学 ※2
- フォーダム大学 ※1 ※2
- ベイス大学
- ペンシルバニア大学
- ポートランド大学
- ホーリークロス・カレッジ ※2
- ボストン・カレッジ ※2
- マイアミ大学
- マサチューセッツ大学アマースト校
- マサチューセッツ大学ボストン校
- マルケット大学 ※2
- ミシシッピ大学
- ミズーリ大学コロンビア校
- ミネソタ大学
- モンタナ大学
- ヨーク・カレッジ・オブ・ペンシルヴァニア
- ル・モイン大学 ※2
- ルイジアナ大学ラファイエット校
- ローズ・ハルマン工科大学
- ロヨラ・メアリーマウント大学 ※2
- ロヨラ大学シカゴ ※2
- ロヨラ大学ニューオリンズ ※2
- ワシントン＆ジェファーソンカレッジ

小計……89校

アジア

Cambodia
- カンボジア王立芸術大学 ※1
- 王立プノンペン大学 ※1

China
- ハルビン工業大学
- マカオ大学
- 厦門大学
- 内モンゴル工業大学 ※1
- 外交学院
- 華中科技大学 ※1
- 清華大学
- 大連理工大学
- 中央財経大学
- 中国人民大学
- 電子科技大学 ※1
- 南開大学
- 武漢大学
- 復旦大学
- 北京外国語大学
- 北京大学
- 北京第二外国語大学 ※1
- 香港科技大学
- 香港教育大学
- 香港大学
- 香港城市大学
- 香港中文大学
- 燕山大学 ※1

India
- アサンプション・カレッジ ※1
- クライスト大学
- クリスツ・ジャヤンティ・カレッジ ※1
- ジャダプール大学 ※1
- セント・アロイシウス・カレッジ ※1 ※2
- セント・ザビエルズ・カレッジ(アーメダバード) ※1 ※2
- セント・ザビエルズ・カレッジ（コルカタ）※1 ※2
- セント・ザビエルズ・カレッジ（ムンバイ）※1 ※2
- セント・ジョセフズ・カレッジ(バンガロール) ※1 ※2
- セント・テレサズ・カレッジ ※1
- セント・ベルヒマンス・カレッジ ※1
- ロヨラ・カレッジ・オブ・ソーシャル・サイエンス ※1 ※2

Indonesia
- インドネシア大学
- ガジャ・マダ大学
- サナタダルマ大学 ※2
- ペトラ・クリスチャン大学
- ボゴール農科大学

Laos
- ラオス国立大学 ※1

Malaysia
- マラヤ大学
- マレーシア工科大学
- マレーシア国民大学
- マレーシア北大学 ※1

Mongolia
- モンゴル科学技術大学 ※1

Myanmar
- ヤンゴン工科大学 ※1

Philippines
- アテネオ・デ・マニラ大学 ※2
- デラサール大学
- フィリピン大学

S.Korea
- ソウル大学
- ハニャン大学
- 延世大学
- 釜山大学人文学部
- 韓国カトリック大学
- 韓国外国語大学
- 淑明女子大学
- 西江大学 ※2
- 大邱カトリック大学校

Singapore
- イェールNUS大学
- シンガポール経営大学
- 南洋理工大学 ※1

Sri Lanka
- コロンボ大学 ※1

Taiwan
- 国立政治大学
- 国立台湾大学
- 輔仁カトリック大学 ※2

Thailand
- カセサート大学
- コンケン大学 ※1
- ザビエル学習コミュニティー ※1 ※2
- タマサート大学
- チェンマイ大学
- チュラロンコン大学
- マヒドン大学
- モンクット王工科大学トンブリー校 ※1
- 泰日工業大学 ※1

Vietnam
- カントー大学 ※1
- ベトナム国立大学ハノイ校・社会人文学院
- 貿易大学

小計……80校

中南米

Argentina
- エル・サルバドール大学
- コルドバ・カトリック大学 ※2

Brazil
- カンピーナス大学
- サンパウロ・カトリック大学
- サンパウロ大学
- ブラジリア大学
- リオ・グランデ・ド・スル・カトリック大学

Chile
- アルベルト・ウルタード大学 ※2
- 教皇庁立チリ・カトリック大学

Colombia
- ハベリアナ大学 ※2
- ロスアンデス大学

Costa Rica
- 平和大学 ※1

Guatemala
- ラファエル・ランディヴァール大学 ※2

Jamaica
- 西インド諸島大学 ※1

Mexico
- イベロアメリカナ・レオン大学 ※2
- イベロアメリカ大学 ※2
- インスティチュート・モラ ※1
- グアダラハラ大学
- グアナファト大学
- メキシコ大学院大学
- メキシコ国立自治大学
- メキシコ自治工科大学
- メキシコ西部工科大学 ※2
- モンテレー工科大学

Peru
- パシフィコ大学
- 教皇庁立ペルー・カトリック大学

Uruguay
- ウルグアイ・カトリック大学 ※2

小計……27校

※1 学術交流協定のみ
※2 イエズス会大学

ヨーロッパ

Austria
グラーツ大学
Belarus
ベラルーシ国立大学
ミンスク国立言語大学
Belgium
アントワープ大学
ナミュール大学 ※2
ルーヴァン・カトリック大学
Bosnia-Herzegovina
サラエボ大学 ※1
Croatia
ザグレブ経済経営大学
Cyprus
キプロス大学
Czech
アングロ・アメリカン大学
Denmark
オルフス大学経営学院
Finland
アールト大学経済学院
トゥルク大学
ハンケン経済大学
France
EAC芸術・文化・宝飾品ビジネススクール
アンジェ高等商業科学大学
アンジェ西カトリック大学
アンジェ大学
エクス・マルセイユ大学
エセックビジネススクール
グルノーブル政治学院
ストラスブール大学
トゥールーズ・カトリック大学
パリ・ドフィーヌ大学
パリカトリック学院
パリ政治学院
パリ第10大学
パリ第2大学
フランシュ・コンテ大学
フランスビジネススクール
フランス極東学院 ※1
ブルゴーニュビジネススクール
ボルドー・モンテーニュ大学
リールカトリック大学
リール第三大学
リヨンカトリック大学
リヨン第三大学
ルーアン商業大学
ロレーヌ大学 ※1
国立東洋言語文化大学
Germany
アイヒシュテット・カトリック大学
アルベルト・ルートヴィヒ大学フライブルグ
ヴィアドリナ欧州大学
ヴィッテン・ヘルデッケ大学
ヴュルツブルク大学
エアフルト大学
ケルン大学
ザールラント大学
ザンクトゲオルゲン哲学神学大学 ※2
チュービンゲン大学
デュイスブルク＝エッセン大学
デュッセルドルフ大学
トリアー大学
ニュルンベルク工科大学
パーダーボルン大学
ハイデルベルク大学
バイロイト大学
ハンブルク大学
バンベルク大学
ブレーメン州立経済工科大学
ベルリン工科大学
ベルリン自由大学
ボン大学
マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンヴェルク
ミュンヘン大学
ミュンヘン哲学大学 ※2
ルートヴィヒスハーフェン経済大学
ロストック大学
Hungary
エトヴェシュ・ロラーンド大学
ペーチ大学
Iceland
アイスランド大学
Ireland
ダブリン・シティ大学
Italy
「サピエンツァ」ローマ大学
カ・フォスカリ ヴェネツィア大学
カリアリ大学
カルロ・カッタネオ大学
サクロ・クオーレ・カトリック大学
ペルージャ外国人大学 ※1
国立ナポリ東洋大学
Kazakhstan
カザフ国立大学
Kosovo
プリシュティナ大学 ※1
Liechtenstein
リヒテンシュタイン大学
Lithuania
ヴィータウタス・マグヌス大学
ヴィリニュス大学
Luxemburg
ルクセンブルク大学
Netherlands
アムステルダム大学社会行動科学部
ライデン大学
ロッテルダムビジネススクール
North Macedonia
聖キリル・メトディウス大学 ※1
Norway
オスロ大学
Poland
ヤギェウォ大学
ワルシャワ工科大学
Portugal
アヴェイロ大学
コインブラ大学
ポルト大学
ミーニョ大学
Romania
ブカレスト大学
Russia
ヴォロネジ国立大学
ゲルツェン名称ロシア国立教育大学
サンクト・ペテルブルグ国立大学
サンクト・ペテルブルグ国立文化大学
ペトロザヴォーツク国立大学
モスクワ国立言語大学
リャザン国立大学
ロモノーソフ名称モスクワ国立大学
極東連邦大学
Slovenia
リュブリャナ大学
Spain
グラナダ大学
コルドバ大学
サラマンカ大学
セビーリャ大学
デウスト大学 ※2
ハエン大学
バルセローナ自治大学
バレンシア・カトリック大学
バレンシア大学
ブルゴス大学
マドリッド自治大学
ラ・ラグーナ大学
ラス・パルマス・デ・グラン・カナリア大学
ロヨラ・アンダルシア大学 ※2
教皇庁立コミーリャス大学 ※2
Sweden
ウプサラ大学
ウメオ大学
ヨーテボリ大学
Switzerland
ザンクト・ガレン大学
ジュネーブ国際・開発研究大学院
ジュネーブ大学
チューリッヒ応用科学大学
U.K.
イースト・アングリア大学
エディンバラ大学
シェフィールド大学
スターリング大学
セントメアリーズ大学
ニューカッスル大学
バース大学 ※1
ハートフォードシャー大学
バーミンガム大学
ブリストル大学
ヨーク・セント・ジョン大学
リーズ大学
リバプールホープ大学 ※1
レディング大学
ロンドン大学バークベック・カレッジ ※1
ロンドン大学東洋アフリカ研究学院
Uzbekistan
タシケント国立東洋学大学
小計……146校

オセアニア

Australia
アデレード大学
ウーロンゴン大学
ウェスタンシドニー大学
オーストラリア・カトリック大学
クイーンズランド大学
グリフィス大学
シドニー工科大学
シドニー大学
ディーキン大学
ノートルダムオーストラリア大学
マッコーリー大学
メルボルン大学
ラ・トローブ大学
ロイヤルメルボルン工科大学
西オーストラリア大学
Fiji
南太平洋大学
Micronesia
ミクロネシア大学 ※1
New Zealand
オークランド大学
小計……18校

中東

Israel
テルアビブ大学 ※1
Jordan
ヨルダン大学 ※1
Lebanon
サンジョセフ大学 ※2
Turkey
イスタンブル・ビルギ大学
小計……4校

アフリカ

Benin
アボメカラヴィ大学
Burkina Faso
ウワガⅡ大学 ※1
Cameroon
中央アフリカ・カトリック大学
Cote d'Ivoire
平和研究・活動センター ※2
Ethiopia
アディスアベバ大学 ※1
Ghana
ザ・カトリック・インスティチュート・オブ・ビジネス・アンド・テクノロジー ※1
Malawi
マラウイ大学 ※1
South Africa
ステレンボッシュ大学
プレトリア大学人文学部
Tanzania
ソコイネ農業大学 ※1
小計……10校

学生納付金

学部新入生

（単位：円）

	神学部・文学部（新聞学科除く）・総合人間科学部・（心理学科・看護学科除く）・法学部・経済学部・外国語学部・総合グローバル学部	新聞学科	心理学科	看護学科	理工学部
合　計	1,265,450	1,305,450	1,341,450	1,806,450	1,803,450

※国際教養学部、理工学部物質生命理工学科グリーンサイエンスコース・機能創造理工学科グリーンエンジニアリングコースを除く

学部在学生

（単位：円）

	神学部・文学部・総合人間科学部（心理学科・看護学科を除く）・法学部 経済学部・外国語学部・総合グローバル学部		心理学科		看護学科		理工学部	
	2018・2017年度入学者	2016年度入学者	2018･2017年度入学者	2016年度入学者	2018･2017年度入学者	2016年度入学者	2018･2017年度入学者	2016年度入学者
合　計	1,043,000	967,000	1,119,000	993,000	1,584,000	1,589,000	1,531,000	1,455,000

※国際教養学部、理工学部物質生命理工学科グリーンサイエンスコース・機能創造理工学科グリーンエンジニアリングコースを除く

国際教養学部

（単位：円）

	2019年度入学者	2018・2017年度入学者	2016年度入学者
入学金	200,000	－	－
在籍料	30,000	30,000	30,000
授業料（1単位あたりの単価）	31,900	31,900	30,800
教育充実費	124,800	105,000	100,000
同窓会費	－	－	5,000
学生教育研究災害傷害保険料	2,650	－	－

理工学部物質生命理工学科グリーンサイエンスコース・機能創造理工学科グリーンエンジニアリングコース

（単位：円）

	2019年度入学者	2018・2017年度入学者	2016年度入学者
合　計	1,012,950	765,500	730,000

大学院新入生

（単位：円）

	博士前期課程				修士課程	博士後期課程		
	文科系研究科（心理学専攻を除く）	心理学専攻（基礎心理学コース）	心理学専攻（臨床心理学コース）	理工学研究科	看護学専攻	文科系研究科（心理学専攻を除く）	心理学専攻	理工学研究科
合　計	921,400	951,400	1,001,400	1,597,900	1,439,400	803,100	833,100	1,023,600

※法曹養成専攻、地球環境学研究科、理工学専攻グリーンサイエンス・エンジニアリング領域、グローバル社会専攻を除く

大学院在学生

（単位：円）

		文科系研究科（心理学専攻・看護学専攻を除く）		心理学専攻		看護学専攻（修士課程）	理工学研究科	
		2018年度入学者	2017年度入学者	2018年度入学者	2017年度入学者	2018年度入学者	2018年度入学者	2017年度入学者
合　計	博士前期課程	760,000	－	790,000	－	1,278,000	1,436,500	－
	博士後期課程	601,000	641,000	631,000	671,000	－	821,500	861,500

※法曹養成専攻、地球環境学研究科、理工学専攻グリーンサイエンス・エンジニアリング領域、グローバル社会専攻を除く
※心理学専攻は基礎心理学コースの金額である

大学院長期履修制度

（単位：円）

	総合人間科学研究科社会福祉学専攻　博士前期課程			総合人間科学研究科看護学専攻　修士課程		
	2019年度入学者	2018年度入学者	2017年度入学者	2019年度入学者	2018年度入学者	2017年度入学者
合　計	702,100	500,000	540,000	1,047,430	845,330	885,330

法学研究科法曹養成専攻

（単位：円）

	標準（3年制）コース			短縮（2年制）コース	
	2019年度入学者	2018年度入学者	2017年度入学者	2019年度入学者	2018年度入学者
合　計	1,466,020	1,169,000	1,209,000	1,443,680	1,209,000

地球環境学研究科

1. 春入学（国際環境コースを除く）

（単位：円）

	博士前期課程		博士後期課程		
	2019年度入学者	2018年度入学者	2019年度入学者	2018年度入学者	2017年度入学者
合　計	1,032,400	871,000	869,100	667,000	707,000

2. 秋入学及び国際環境コース

（単位：円）

	博士前期課程		博士後期課程		
	2019年度入学者	2018年度入学者	2019年度入学者	2018年度入学者	2017年度入学者
合　計	616,900	455,500	535,600	333,500	373,500

理工学研究科理工学専攻グリーンサイエンス・エンジニアリング領域

（単位：円）

	博士前期課程		博士後期課程		
	2019年度入学者	2018年度入学者	2019年度入学者	2018年度入学者	2017年度入学者
合　計	899,650	738,250	612,850	410,750	450,750

グローバル・スタディーズ研究科グローバル社会専攻

（単位：円）

	博士前期課程		博士後期課程		
	2019年度入学者	2018年度入学者	2019年度入学者	2018年度入学者	2017年度入学者
合　計	561,400	400,000	502,600	300,500	340,500

助産学専攻科

（単位：円）

	2019年度入学者
合　計	1,446,800

国際教養学部・言語教育研究センター Non-Degree

（単位：円）

	2019年度入学者	摘 要
履修費	33,800	1単位につき
教育充実費	105,000	各学期

理工学部物質生命理工学科グリーンサイエンスコース・機能創造理工学科グリーンエンジニアリングコース Non-Degree

（単位：円）

	2019年度入学者	摘要
履修費	620,500	各学期
教育充実費	170,000	各学期

グローバル・スタディーズ研究科 グローバル社会専攻　Non-Degree

（単位：円）

	2019年度入学者	摘要
履修費	270,000	各学期
教育充実費	90,000	各学期

※在学継続の学生の学費については別途定める

奨学金

新入生奨学金	対　象	本学を第一志望とする学部新入生及び大学院新入生。経済的理由により入学が困難、かつ本学に入学する以前の成績が優秀な者。入試出願と同時期に要申請。
	給付額	初年度の授業料相当額、授業料半額相当額、授業料3分の1相当額のいずれか。
ジョン・ニッセル杯奨学金	対　象	本学の学部入学を許可された者のうち、入学以前の学校在籍時に本学が主催するジョン・ニッセル杯において6位までに入賞した者。
	給付額	入学初年度の授業料相当額、半額相当額、3分の1相当額のいずれか。
修学奨励奨学金	対　象	学業成績が良好であるにもかかわらず、経済的理由で学業の継続が困難と認められる学部生及び大学院生（家計支持者の死亡等による家計急変者については募集の時期に関わらず対象）。
	給付額	授業料相当額、授業料半額相当額、授業料3分の1相当額のいずれか。
大規模災害による学生納付金減免及び生活支援金給付	対　象	災害救助法に適用された地域に本人または保証人住所を持つ学部生及び大学院生。
	給付額	入学金。授業料については全壊：授業料相当額、半壊：授業料半額相当額のいずれか。また生活支援金として、自宅外通学者5万円、自宅通学者3万円給付。
利子補給奨学金	対　象	上智大学が提携する金融機関のローンを契約し学費を納入した者。
	給付額	教育ローン利息分（上限あり）
デュアルディグリープログラム奨学金	対　象	デュアルディグリープログラムに参加する学業成績が極めて優秀と認められる大学院生。
	給付額	留学中の本学授業料及び教育充実費相当額
大学院内部進学奨励金	対　象	本学博士前期課程から後期課程に内部進学する高度な研究能力を有する優秀な大学院生。
	給付額	300,000円（修業年限、毎年継続審査あり）
若手研究者育成奨学金	対　象	研究業績が優秀な博士後期課程学生。
	給付額	300,000円
法科大学院在学生特別奨学金	対　象	学業成績等が優秀で、将来国内外の様々な社会的要請に貢献できる優秀な法曹に至る見込みのある法科大学院在学生。
	給付額	授業料相当額または授業料半額相当額
外国人留学生生活支援奨学金	対　象	学業成績良好かつ経済的支援が必要と思われる私費外国人留学生。
	給付額	600,000円
篤志家奨学金	篤志家の寄付による奨学金で、それぞれの篤志家の意向に適合すると認められる優秀な学生を支援するもの。 〈出願制〉 ・森善文・母子家庭父子家庭支援（母子・父子家庭の学部生・大学院生）・松本あす加・ドイツ語学科（ドイツ語圏への留学が決定し、経済的理由により学業の継続が困難なドイツ語学科生）・理工学部同窓会（理工学部開講の「夏期・春期休暇海外短期研修プログラム」参加学生）・教育学科（教育学科生）・竹島久子イギリス研究（イギリス留学決定者またはイギリスに強い関心を持ち、イギリス文学、政治、経済、外交、歴史等イギリスを研究領域とする日本人の学部3年次生、4年次生及び大学院生）・テイヤール・ド・シャルダン（優秀な課題論文を提出した学部4年次生及び大学院生）・優心（心理学科に所属する関東地方を除く地域から進学した自宅外通学生）・経済学部・経鷲会（海外留学経験者、ボランティア、ゼミ、部・サークル活動で成果を上げた経済学部生）・学生寮（学業、課外活動、その他社会貢献活動で活躍している学部生・大学院生）・VOLVO　GLOBAL CHALLENGE SCHOLARSHIP（グローバル社会における諸問題に関心があり、将来グローバル企業等で活躍する高い志を持つ学部1年次生～ 3年次生及び大学院博士前期課程1年次生）・理工学振興会（理工学研究科生）・創立100周年上智・聖母看護（看護学科を第一志望に受験した一般入試成績上位者）・フランク　アンド　ジェーン・スコリノス（学部生、学業成績が良好で経済的理由で学業の継続が困難な者）　・安達（東南アジア・アフリカ諸国からの私費外国人留学生）・小高（学部生、学業成績が良好で経済的理由で学業の継続が困難な私費外国人留学生）・センチュリー（アジア諸国出身の私費外国人留学生）・アジア留学生（東・東南アジアからの学部1年次生および大学院1年次生を除く私費外国人留学生）・ダイキン留学生（論文を提出しその評価が優れている私費外国人留学生）・住友商事（ベトナム国籍を有する私費外国人留学生）・第一興商（東南アジア及び東アジアからの私費外国人留学生） 〈推薦制〉 ・哈爾濱学院顕彰（ロシア・ソ連研究を志し、それを証する成果を上げたロシア語学科生及び大学院生）・大泉（文・総合人間科学部生）・国文（国文学科・国文学専攻生）・セントルイス（フランス文学科生及びフランス文学専攻生）・ラッセル・ブライアンズ（新聞学科3年次生・4年次生）・CNA保険（日本国籍を有し、学業成績が優秀で、文化、政治、法律及び経済のいずれかの分野で国際研究を行う神・理工を除く各学部3年次生・4年次生）・西村（イスパニア語学科生）・沼田拓実（化学分野を専攻する理工学部生）・独文・独語（ドイツ文学科生及びドイツ語学科生）・神学部（神学部生）　・熊谷（神学研究科生）・創立100周年上智・聖母看護（看護学科生）・愛和会緩和ケア看護（がん・緩和ケア看護の分野を学ぶ総合人間科学研究科看護学専攻学生）・レモス（国際教養学部生）・ソフィアLAWファンドA制度（法学部及び法科大学院生）・ソフィアLAWファンドB制度（公開学習センター開講「リーガルライティング講座」を受講する法学部及び法科大学院生）・経鷲会（経済学部生）・後援会（修学奨励奨学金等受給者のうち経済的に困難で学業成績が良好な学部生）・英語学科先哲（学部生）・伊藤鎮（海外の学会で研究成果を発表する理工学研究科理工学専攻機械工学領域学生）・原子物理学国際交流（原子物理学を研究する大学院生のうち、奨学金による補助が必要な留学生、あるいは国際会議等での発表にあたり奨学金による補助が必要な学生）・フランシスコ・スアレス（大学及び入学試験の成績が優秀で、将来国内外の様々な社会的要請に貢献できる優秀な法曹に至る見込みのある法科大学院新入生）・ヴァカーリ（国際教養学科の2年次生～ 4年次生の私費外国人留学生）・ロベール・J・バロン（グローバル社会専攻および国際教養学部の私費外国人留学生） 〈その他〉 ・四枢機卿奨学金（ミャンマー司教団等から推薦されたカトリック信者）	
海外指定校奨学金	本学を第一希望とし、本学海外指定校からの推薦を受け入学が許可された私費外国人留学生を対象に奨学金を給付するもの。 ・海外指定校奨学金（インドネシア）・海外指定校奨学金（ミクロネシア）	

研究・知的財産等

教育・研究事業の採択状況

(a) 文部科学省　スーパーグローバル大学等創成支援事業（タイプB）［2014年度～ 2023年度］
「多層的ハブ機能を有するグローバルキャンパスの創成と支援ガバナンスの確立」
(b) 文部科学省　私立大学研究ブランディング事業
「持続可能な地域社会の発展を目指した「河川域」をモデルとした学融合型国際共同研究」
「『人間の安全保障』実現に取り組む国際的研究拠点大学としてのブランド形成」
(c) 文化庁　文化遺産国際協力拠点交流事業
「アセアン10ヵ国における文化遺産の継承と博物館の新しい役割のための拠点交流事業」
(d) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構　現代中東地域研究に関する研究協力の協定
［第三期　2016年度～ 2021年度］
(e) 文部科学省　大学の世界展開力強化事業（中南米等との大学間交流形成支援）［2015年度～ 2019年度］
「人の移動と共生における調和と人間の尊厳を追求する課題解決型の教育交流プログラム」
(f) 文部科学省　大学の世界展開力強化事業（COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援）［2018年度～ 2022年度］
「人間の安全保障と多文化共生に係る課題発見型国際協働オンライン学習プログラムの開発」

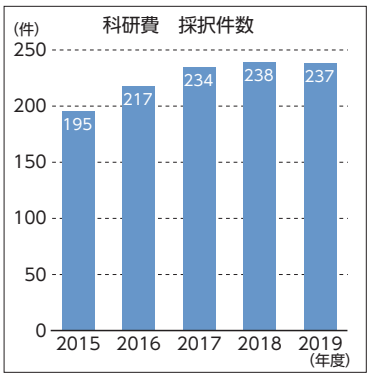
科学研究費助成事業（科研費）（文部科学省・日本学術振興会）

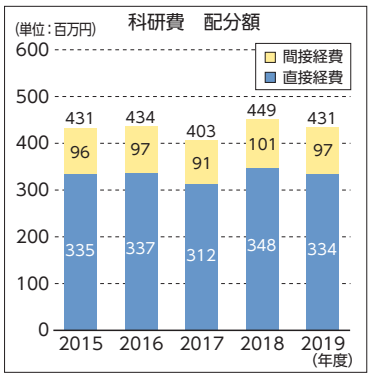
（※括弧内は2018年度との比較。金額は百万円未満四捨五入）

件数	237件（1件減）
金額	431百万円（18百万円減）
直接経費	334百万円（14百万円減）
間接経費	97百万円（4百万円減）

（単位：百万円）

年度		2015	2016	2017	2018	2019
採択件数		195	217	234	238	237
金額	直接経費	335	337	312	348	334
	間接経費	96	97	91	101	97
	合計額	431	434	403	449	431

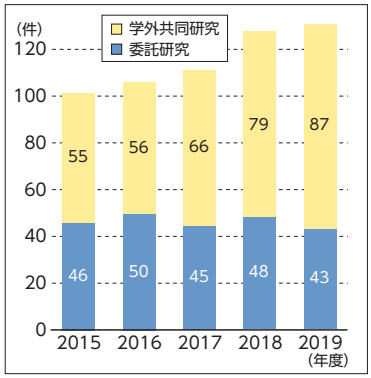




委託研究・学外共同研究（※括弧内は2018年度との比較）

委託研究	43件（5件減）
学外共同研究	87件（8件増）

年度	2015	2016	2017	2018	2019
委託研究	46	50	45	48	43
学外共同研究	55	56	66	79	87



知的財産（※括弧内は2018年度との比較）

特許出願・登録状況	特許出願件数	30件	国内：13件（9件減）、海外：17件（11件増）
	特許登録件数	10件	国内：7件（3件減）、海外：3件（増減なし）
発明に係る褒賞授与	2020年2月、研究活動において発明を創出し、本学の知的財産の発展に寄与した特許発明者25人に、褒賞金が支払われた。		

事業の概要

社会人対象の新プログラム「上智大学プロフェッショナル・スタディーズ」開講

実業界と上智大学が一体となり、産学協働による新たな学びの場である「上智大学プロフェッショナル・スタディーズ」を2020年度から開講することになりました。本プログラムは、多業種から多様な経歴を持つ、次世代を担うリーダー・リーダー候補者たちが業種や職種を越えて集い、「教養講座」「スペシャリスト養成講座」「スペシャルトーク」という3つのシリーズにおいて多角的な議論を展開することを特長としています。プログラム設計にあたっては、アドバイザリーパートナーとなる企業会員を募り、企画立案の段階から参画をいただいています。各講座は本学の現役教員、名誉教授がコーディネートを行いつつ、テーマに合わせてオムニバス形式でその分野における第一線の講師陣を起用しています。

2019年度からの学期区分と授業時間割の変更について（セメスター・クォーター制、100分授業）

学生のモビリティ（国際流動性）向上をめざして、2019年度から学期区分としてセメスター・クォーター併用制を採用し、多様な留学パターンへの対応や海外インターンシップ等への参加をしやすくするクォーター（Sophia Quarter Abroad）を設けました。クォーター制とは従来のセメスター制（春学期・秋学期の2学期制）の学期期間を半分に分割した4学期制のことで、一定数のクォーター科目を各学科のカリキュラムにあわせて特定年次・学期（主に3年の春学期／ 1Q・2Q）に集中して開講しました。その期間を「Sophia Quarter Abroad」と称し、休暇期間も含めて、留学およびインターンシップやサービスラーニングなどの海外での実践的な学びを推奨する期間としました。

また、100分授業による時間割を導入し、単位修得に必要な授業時間の基準を満たしながら、短期留学やボランティア活動等に活用できる夏期・春期休暇の期間を従来通り確保しました。新たな授業のあり方についても今後検討していきます。

Sophia Program for Sustainable Futures（SPSF）の新設と2020年度秋学期募集開始

国際教養学部、理工学部英語コースに続く、学部レベルの新たな英語コースとして、2020年度秋学期より順次、新聞学科、教育学科、社会学科、経済学科、経営学科、総合グローバル学科の6学科の中に、「持続可能な未来を考える６学科連携学位プログラム＝Sophia Program for Sustainable Futures（SPSF）」を開設していきます。

このプログラムの授業は全て英語で行われ、入学者は受験時（出願時）に学科を選択、その学科の専門科目に加えて、SPSF他学科の専門科目やSustainable Futuresをテーマにした共通科目を学び、自学科の学位（学士）の取得を目指します。

開設予定年度：
①2020年度秋学期～　教育学科、社会学科、経済学科、総合グローバル学科
②2021年度秋学期～　新聞学科
③2022年度秋学期～　経営学科
募集人数：各学科とも若干名、秋入学のみ

2019年度には2020年度開設の4学科で第一期学生募集を実施、のべ174名の出願者を集めました。2020年4月の第二期募集を経て、2020年9月には第一期生をキャンパスに迎えます。

14号館の運用開始

四谷キャンパス14号館の土地と建物は、新たな教育プログラム等に対応する教育研究施設として、キャンパス北側に隣接しているカトリックメリノール宣教会から2019年1月に購入しました。土地面積は783㎡、建物は1996年に建設された鉄筋コンクリート造4階建てで、延べ床面積1,307.53㎡、1階に事務室、チャペル等があり、２～４階は宿泊室、食堂として使用されていました。

購入後は、外観は修道院としての名残をとどめながら、内部は少人数教室や研究室を確保するための改修工事を行い、チャペル、集会室等はゼミや講義等に、宿泊室は教員の研究室に利用しています。

四谷キャンパス内での14号館への学生及び教職員のアプローチは、11号館ピロティ―側に階段及びバリアフリーへの対応としての段差解消機を設けています。

外観　南側

北側通路スロープ

国際基督教大学との共催シンポジウム「高等教育における学修評価：アメリカと日本における批判的思考力と創造力の教育実践」の開催

2020年1月25日、本学と国際基督教大学（ICU）共催で国際シンポジウム「高等教育における学修評価」を開催しました。当日は大学・高校関係者、大学生、高校生など約200人が参加しました。

高等教育における学修評価、学修の達成状況の可視化は、世界の教育界や我が国の将来計画においても重要課題として注目を集めています。本学とICUは2018年5月に締結した連携協定に基づき、経済開発協力機構（OECD）が世界12カ国の高等教育機関と実施するプロジェクト「高等教育における学生の創造的で批判的な思考のスキル」に参加しており、今回のシンポジウムでは、これまでの成果や今後の課題について、プロジェクトに携わる教員による報告と討論を行いました。

冒頭にOECDプロジェクトの背景や、実社会でのイノベーションに必要な批判的思考力と創造力を伸ばすために有効な教育学的手法の研究状況の概要等が報告された後、アメリカの学修評価のタスクフォースで指導的な役割を担うマーク・ニコラス博士による基調講演が行われ、実社会と教育界におけるスキルの内容やその評価の違い、評価の共通化や現在の手法の改善の必要性などが詳しく説明されました。

後半には、両大学の教員から多文化共生社会、環境問題などを扱う授業で試行されている各大学での取組紹介があり、続いて行われた登壇者全員によるパネルディスカッションでは、批判的思考力や創造性を養う意義や教育方法、これからの学生の評価方法、評価する教員側の意識改革や協働体制などについて様々な意見や提案がなされました。

河川工学調査を通じた地域貢献の取り組み

昨年の台風19号は昭和22年カスリーン台風ほどの猛威を振るい、71河川、140箇所の破堤と死者88名といった甚大な災害をもたらしました。

水害は水問題だけではなく、経済の問題であり、社会問題でもあり、持続可能な発展の問題であると総括できます。このような考えと上智大学の“他者のため”の理念を実践するため、上智大学曄道佳明学長のリーダーシップのもとで上智大学水害調査団が立ち上がりました。調査団は地球環境学研究科、理工学部、新聞学科、看護学科および国際教養学科の教員により結成し、千曲川を中心に水害調査を行いました。

日本アルプスに守られている長野県では大規模な氾濫が発生し、大きな被害が出ました。特に、信濃川水系の千曲川の左岸、58.0km地点に該当する長野市穂保地先で堤防決壊が起きました。この決壊により、3千軒以上の家屋が床上浸水になり、大量の水は河川から約2km離れたJR東日本の長野新幹線車両センターと呼ばれる車両基地にも襲い掛かり、面積約15万m^2の車両センターに留置されていた多数の車両が水に浸かってしまいました。なぜその場所で堤防が決壊したか、避難活動はどのように行われたか、被災者のメンタルヘルス状況はどのような状況か、メディアの多様性が避難行動にどのように影響したか、また新幹線車両センターでどのような水害防止対策が講じられたかについて、工学的現地調査、被災地住民への聞き取り調査、長野市役所、千曲市役所および地元のNPO団体へのヒアリングを実施し、統合的な視点から問題解明と対策提言に取り組んでいます。また、サービスラーニングとして、上智大学の院生が現地調査に参加しました。4月若しくは5月中、長野市で現地ワークショップを開催し、調査結果を地域住民と行政に報告する予定です。

新幹線車両センター地形調査

住民への聞き取り調査

洪水痕跡調査

アルペ国際学生寮の運用開始

2019年4月、アルペ国際学生寮の運用が開始されました。JR信濃町駅徒歩1分、四谷キャンパスまで10分の好立地です。定員は182名（男子91名、女子91名）で、7名がシェアハウス型のユニットを形成し、そこにベッドルーム（個室）及び、共用の洗面台、シャワー、トイレ、キッチン、ダイニングが備わっています。その他、軽スポーツスタジオ、シアタールーム、祈りの部屋、屋上テラス、学習室など寮全体の共用施設も充実しています。

また、グローバル人材育成の場という寮のミッションを果たすべく、寮生向けの「利他的リーダーシップ育成プログラム」が始まりました。寮生は、複雑化、多様化している社会の中で自分のビジョンを持つ重要性を認識し、その創り方を学ぶと同時に、実際に自身のビジョン達成や、企業や自治体との連携プロジェクト等にも取り組みました。

コモンリビング

祖師谷国際交流会館及びアルペ国際学生寮において、リビンググループリーダー（LGL）向け研修を実施しました。LGLは寮生代表として、新寮生の入寮サポートをはじめとして、寮内でのさまざまな学習会や交流イベントの企画、ルール策定・運用というような活動を通じ、寮文化の醸成に貢献しています。研修は、①LGLとしての心構え、②スキルの習得、③組織体制構築、④秋学期に実施するイベントの計画・準備という内容で、活動で求められるロジカルシンキングやプロジェクトマネジメントなどのスキルアップを狙いとした講義とワークも研修に盛り込まれており、LGLの仕事や役割を理解することに留まらず、リーダーに必要な実践的スキルを学びました。

リーダー向け研修

利他的リーダーシップ育成プログラム

OECD本部とインターンシップに係る協定を締結

2019年4月16日、OECD（経済協力開発機構）の本部と、インターンシップに係る協定を締結しました。OECD東京センター（東京都千代田区）において行われた調印式で、畷道佳明学長と来日中のグリア事務総長が協定書を取り交わしました。

2018年9月の杉村美紀グローバル化推進担当副学長によるOECD本部への訪問や、11月に本学で開催されたキャリアセミナーでの河野正道OECD事務次長、ミッシェル・パジェ人事部長、および、ナダフ・シェンタル人材管理アドバイザーのご講演を経て、この度の協定締結に至りました。

これにより本学学部生および大学院生は、OECD本部が協定校を対象に募集するインターンシッププログラムの対象となる他、OECD各オフィスが募集するインターンシップの選考過程において優先的に扱われます。勤務地はパリのOECD本部を中心に、募集枠によって1か月から12か月の受入れ期間が設定されています。参加者には高い意欲、語学力、専門領域の知識が求められますが、インターンシップを通して高度な政策立案や調査分析の現場で経験を積むことができます。

国連訓練調査研究所（UNITAR）と教育連携協定を締結

2019年8月30日、国連訓練調査研究所（UNITAR）と、教育連携に係る包括的な協定を締結しました。同研究所とは以前より教員を中心にさまざまな交流を行っておりましたが、今回、国際機関とのネットワーク強化と、国際分野でのキャリアを目指す学生に対する教育プログラムの充実を図るための施策の一環として、協定締結に至りました。

UNITARは、1965年にジュネーブに設立された研修を専門とする国連機関です。50年以上にわたり、世界で外交・経済発展・環境・平和・復興といった多分野において、外交官や国際機関の職員などを対象に、研修を行っています。2003年7月には、広島事務所を開設し、その立地を活かして、主に紛争後の復興や世界遺産、安全保障に関する研修を実施しているほか、一般を対象とした公開セッションや青少年大使プログラムなどを展開しています。

今回の協定に基づき、高等教育、国際協力・開発分野における共同プロジェクトやシンポジウムの実施のほか、UNITAR広島事務所にて本学学生を対象としたインターンシップの受け入れ等を展開します。

協定締結を記念して、四谷キャンパスにて8月30日に広島への原爆投下で被爆した樹木の苗木の植樹式が行われ、UNITARのニキル・セス総代表や杉村美紀副学長、ゲストとして来学された被爆者である平田道正さんたちが参加しました。

タイ・バンコクに教育支援事業会社を設立

学校法人上智学院は、タイの首都バンコクに設置する海外拠点について、2019年4月9日付でタイの会社法に基づいた非公開株式会社「Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd.」として会社登記を行い、事業会社の設立を行いました。教育研修事業として、ASEAN諸国をフィールドとする大学生や高校生対象のスタディツアープログラム、企業や自治体を対象とした研修の実施や調査の受託、ASEAN諸国から日本への留学支援活動などを展開します。2019年度は「メコン経済回廊スタディツアー」「北部タイサービスラーニングプログラム」「タイ・ラオス国連機関実地研修」を開講し、上智大学生を中心に多くの参加者を得て、充実した内容の教育プログラムが実施されました。本事業会社を通じて、収益を上げることのできる海外拠点として活性化しつつ、国際貢献への高い志を持つ人材育成という本学院の使命を実現していきます。

ラグビーワールドカップ2019™日本大会を応援 一般参加型イベント「上智ラグビーフェスティバル」開催

9月28日に、「ソフィア オリンピック・パラリンピック プロジェクト」と同学生プロジェクト「Go Beyond」の企画により「上智ラグビーフェスティバル」を開催しました。当日は、「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」を盛り上げるだけでなく、出場国の文化や、車いすラグビーをはじめとした障がい者スポーツに対しても広く一般の方々へ関心を持ってもらい、共生社会の実現の一歩につなげようと、様々なイベントを実施しました。

メインストリートでは競技体験や課外活動団体によるパフォーマンス、また被災地応援ブースも設置し、同大会の会場にもなっている釜石復興スタジアムの紹介や、釜石でのボランティア体験報告なども行いました。

夕刻からは、6-101教室の大スクリーンで「ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会 パブリックビューイング 日本 対 アイルランド」を実施。ラグビーワールドカップ2019組織委員会の顧問も務める、オテル・ドゥ・ミクニの三國清三シェフ特別講演会や、日本女子ラグビー“ARUKUS KUMAGAYA”所属選手による見どころ解説トークショーなども行われ、会場は大いに盛り上がりました。来場者700人近くが抱き合い感情を交歓する姿がとても印象的であり、また、多様なバックグラウンドを持つ選手たちが“ONE TEAM”となって戦うラグビーから、たくさんのヒントをいただけました。

本イベントは、15の学内団体、13の外部団体（企業・団体・行政）の協力を得て多種多様な内容を実施。今後も産学官連携を強化し、それぞれの資源を活用して、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や、インクルーシブ教育を推進してまいります。

詳細：https://dept.sophia.ac.jp/pj/beyond2020sopp/

国連Weeks2019（June / October）の実施

「国連の活動を通じて、世界と私たちの未来について一緒に考える」をコンセプトに、2014年度から毎年6月と10月の年2回、「国連Weeks」を開催しています。国際シンポジウムや講演会、写真展、映画上映などさまざまな企画を実施しています。

6月は10の企画を実施しました。講演会「MISIAが見たアフリカの教育と開発支援」では、第7回アフリカ開発会議（TICAD7）名誉大使で歌手のMISIAさんが登壇し、アフリカとの出会いやアフリカの子どもたちへの教育支援などについて語りました。また、トークイベント「世界の難民問題－日本からできること」では、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）親善大使を務めるアーティストのMIYAVI氏が、日本も率先して難民問題の解決に取り組むべきと訴えました。

10月は8つの企画を行いました。「シンポジウム SDGsへの挑戦 ～サステイナブルな消費と生産～ エシカル消費から未来を変える」では、「持続可能な消費と生産」に焦点を当て、生産・流通・消費の段階で各個人が環境に配慮して責任ある行動を取るべきと訴えました。また、トーク・セッション「国連デー・プレ・イベント「Special Talk Session」SDGsへの若者のコミットメント」では、BNK48のキャプテンであるチャープラン・アーリークン氏が登壇し、若者はもっとSDGsに関わる必要があると述べました。

参加者も年々増加しており、総来場者数は3千人を超え、過去最高となりました。近隣の高校への情宣活動にも努めており、年々高校生の来場者も増えています。

上智大学短期大学部

上智大学短期大学部では卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針を短期大学部ウェブサイトで公表しています。
https://www.jrc.sophia.ac.jp

教職員数等

教職員数

（2019年5月1日現在）

学校区分	教職員区分	本務	兼務	総計
上智大学短期大学部	教員	17	41	58
	職員	10	3	13
総　計		27	44	71

※本務教員：専任教員・特別契約教授・特任教員・常勤嘱託教員・実務家教員・出向教員
　兼務教員：非常勤嘱託教員
　本務職員：専任職員・契約職員・嘱託（一般）職員・嘱託（特別）職員
　兼務職員：嘱託（一般）職員（医師等）
※管理部門所属職員は上智大学に算入

年齢別教員数

（2019年5月1日現在）

学校区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
上智大学短期大学部	0	0	3	9	4	1	17

※非常勤講師を除く
※平均年齢55.76歳（非常勤講師除く）

職階別教員数

（2019年5月1日現在）

学校区分	教授	准教授	講師	助教	助手	教員	総計
上智大学短期大学部	7	8	1	1	0	0	17

※非常勤講師を除く

教員一人当たり学生数

（2019年5月1日現在）

学校区分	学生数	本務教員数	
		教員数	一人当たり学生数
上智大学短期大学部	571	17	33.59

学生数

（2019年5月1日現在）

学校区分	入学定員	収容定員	学生数	収容定員充足率
上智大学短期大学部	250	500	571	114.20%

2019年度実施入試（2020年度入学）

入試種別		募集人員	志願者	受験者	合格者	補欠	補欠追加合格者	入学者
第1期AO入試		20	53	53	32	—	—	32
第2期AO入試		10	14	14	8	—	—	8
指定校推薦入試		68	84	84	84	—	—	84
公募制A推薦入試		10	5	5	3	—	—	3
公募制B推薦入試		10	6	6	3	—	—	3
TEAP・英検等利用型A特別入試		5	3	3	2	—	—	2
TEAP・英検等利用型Ｂ特別入試		5	4	4	1	—	—	1
国際バカロレア（IB）科目履修A特別入試		2	0	—	—	—	—	0
卒業生・在学生子女姉妹特別入試		5	2	2	2	—	—	2
帰国生特別入試		3	1	0	—	—	—	0
社会人特別入試		3	1	1	1	—	—	1
国際バカロレア（IB）科目履修B特別入試		2	0	—	—	—	—	0
一般入試（A日程）		55	123	115	69	13	13	53
一般入試（B日程）		25	119	109	54	15	15	41
一般入試（C日程）		15	58	58	30	0	0	16
第3期AO	a	5	2	2	1	—	—	1
	b		0	—	—	—	—	0
	c		5	5	0	—	—	0
	d		6	4	1	—	—	1
TEAP・英検等利用型C特別入試	Ⅰ	5	6	6	6	—	—	6
	Ⅱ		3	3	1	—	—	1
	Ⅲ		4	3	1	—	—	1
	Ⅳ		6	4	2	—	—	1
	Ⅴ		7	5	2	—	—	1
	Ⅵ		17	15	4	—	—	3
国際バカロレア（IB）科目履修C特別入試		2	0	—	—	—	—	0
合　　計		250	529	501	307	28	28	261

入学者数推移

学　科	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度
英語科	261	282	268	277	262	241	226

卒業・修了者数等

学　科	卒業者数	退学者数	中退率
英語科	256	29	5.07%

※卒業者数は、2019年9月卒業者、2020年3月卒業者を足し上げた数字である
※退学者数は、2019年度に退学した1年次生、2年次生を足し上げた数字である
※中退率は、2019年度の退学者数を2019年度5月1日時点の在籍者数で割ったものである

進路

2019年度　卒業者の進路

（人）

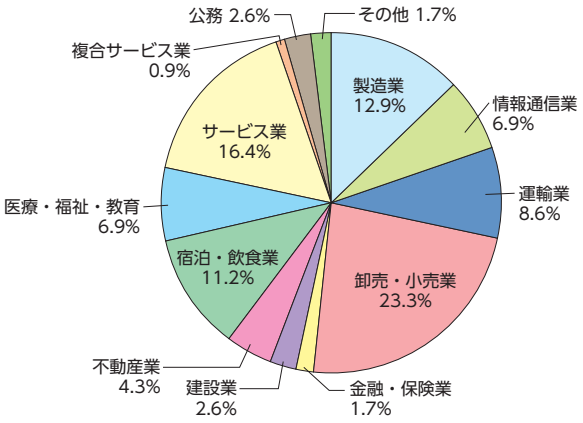
学　科	就職	進学	その他	未届者	合計
英語科	116	105	33	2	256

※「その他」は、編入学試験勉強、就職活動中、アルバイト等を含む
※2019年9月卒業者を含む
※進学は、大学編入学、1年次から大学進学、留学、専門学校進学

就職

業種別内定状況

業種	人数	%
製造業	15	12.9%
情報通信業	8	6.9%
運輸業	10	8.6%
卸売・小売業	27	23.3%
金融・保険業	2	1.7%
建設業	3	2.6%
不動産業	5	4.3%
宿泊・飲食業	13	11.2%
医療・福祉・教育	8	6.9%
サービス業	19	16.4%
複合サービス業	1	0.9%
公務	3	2.6%
その他	2	1.7%
総　計	116	100.0%



内定企業一覧

就職先	人数
パナソニック株式会社ライフソリューションズ社	4
株式会社エイジェック	3
セイコーエプソン株式会社	2
ヒロセ電機株式会社	2
全日本空輸株式会社	2
株式会社アルテカ	2
富士通ISサービス株式会社	2
羽田空港グローバルサービス株式会社	2
株式会社マーキュリー	2
いすゞ自動車株式会社	1
いすゞ車体株式会社	1
株式会社コベルコ　マテリアル銅管　秦野工場	1
ミハル通信株式会社	1
武蔵エンジニアリング株式会社	1
株式会社シーボン	1
株式会社マリークヮントコスメチックス	1
日本航空株式会社	1
株式会社はとバス	1
日本通運株式会社 横浜国際輸送支店	1
日本通運株式会社 横浜支店	1
株式会社サカイ引越センター	1
佐川急便株式会社	1
福山通運株式会社	1
ヤマト運輸株式会社	1
国分フードクリエイト株式会社	1
森六ケミカルズ株式会社	1
株式会社ヨコハマタイヤジャパン	1
株式会社スズキ自販湘南	1
日産プリンス千葉販売株式会社	1
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	1
株式会社そごう・西武	1
株式会社ビック・ライズ	1
株式会社ルミネ	1
株式会社クリエイトエス・ディー	1
エース株式会社	1

就職先	人数
クラランス株式会社	1
株式会社イング	1
株式会社エイ・ネット	1
ジェネラル株式会社	1
株式会社ストライプインターナショナル	1
株式会社ナイキジャパン	1
株式会社ネクステージ	1
株式会社ハニーズ	1
株式会社ベイクルーズ	1
株式会社ミサワ	1
株式会社ユナイテッドアローズ	1
株式会社CA4LA	1
株式会社Y・TAKホールディングスグループ	1
株式会社ジェイアール東海パッセンジャーズ	1
株式会社富士通パーソナルズリテールサービス	1
MXモバイリング株式会社	1
アイ・ティー・エックス株式会社	1
株式会社サンシーア	1
株式会社サンウェル	1
株式会社システナ	1
株式会社デザイン	1
日本電算株式会社	1
株式会社フォーカスシステムズ	1
株式会社富士データシステム	1
株式会社静岡中央銀行	1
第一生命保険株式会社	1
株式会社アキュラホーム	1
株式会社共立	1
住友林業ホームエンジニアリング株式会社	1
株式会社エイブル	1
オープンルーム株式会社	1
ポスト・リンテル株式会社	1
株式会社ニュー・オータニ	1
株式会社小田急リゾーツ	1
株式会社東急リゾートサービス	1

就職先	人数
株式会社南西楽園リゾート	1
ホテルマネージメントインターナショナル株式会社	1
ルートインジャパン株式会社	1
R&Mリゾート株式会社	1
合名会社金宇旅館	1
株式会社強羅花扇	1
株式会社藤屋	1
有限会社富士荘	1
株式会社WDI JAPAN	1
株式会社一家ダイニングプロジェクト	1
学校法人金鵄有明学園	1
株式会社クリップコーポレーション	1
NOVAホールディングス株式会社	1
パスウェイ株式会社	1
株式会社リンク・インタラック	1
株式会社ハーフ・センチュリー・モア	1
株式会社ベストライフ	1
PL東京健康管理センター	1
株式会社JALスカイ札幌	1
株式会社エイチ・アイ・エス	1
株式会社JTBビジネスネットワーク	1
株式会社にしけい	1
KCJ GROUP株式会社	1
株式会社タワージャパン	1
株式会社インターレイズ	1
株式会社フェリーク	1
株式会社不二ビューティ	1
株式会社ミュゼプラチナム	1
県央愛川農業協同組合	1
東京消防庁	1
海老名市役所	1
大磯町役場	1
自営業	2
合計	116

国際交流

海外短期語学講座　参加者数

派遣先大学	国名	開催時期	参加人数
グロスターシャー大学	イギリス	2019年8月12日（月）～9月3日（火）	28
ボンド大学	オーストラリア	2020年2月9日（日）～3月7日（土）	16

ミクロネシア留学生受入状況

受入期間	受入人数	滞在先
2019年11月6日（水）～11月21日（木）	2	上智大学祖師谷国際交流会館

海外スタディーツアー　参加者数

派遣先大学	国名	開催時期	参加人数
ミクロネシア短期大学	ミクロネシア連邦	2019年8月24日（土）～9月6日（金）	3
ペルー・カトリック大学	ペルー共和国	2020年2月23日（日）～3月9日（月）	3
韓国カトリック大学	大韓民国	2019年8月4日（日）～8月18日（日）	3

海外協定締結状況

相手先	締結日	期間
ミクロネシア短期大学	2014年11月5日	2014年11月5日～2019年11月4日
ペルー・カトリック大学	2016年2月16日	2016年2月16日～2020年3月31日
グロスターシャー大学	2017年7月1日	2017年7月1日～2022年6月30日
ボンド大学	2018年6月25日	2018年6月25日～2023年6月24日
韓国カトリック大学	2018年4月27日	2018年4月27日～2021年4月26日

学生納付金

（単位：円）

	新入生	在学生
合　計	1,212,425	945,075

奨学金

名　称	内　容	給付額	対象
創立40周年記念特待生奨学金	一般入試A日程で成績上位3名	初年度の授業料全額相当額、授業料半額相当額、授業料の3分の1相当額のいずれか。	新入生
新入生奨学金	本学を第一志望とする新入生。経済的理由により入学が困難、かつ本学に入学する以前の高校の成績が優秀な者。入試出願時、要申請。	初年度の授業料全額相当額、授業料半額相当額、授業料の3分の1相当額のいずれか。	新入生
修学奨励奨学金	学業成績が良好である又は学習意欲が高いにもかかわらず、経済的理由によって学業の継続が困難と認められる学生	授業料全額相当額、授業料半額相当額、授業料の3分の1相当額のいずれか。	1.2年
同窓会奨学金	新入生奨学金と修学奨励奨学金の出願者の中から、経済的な状況を審査し決定する。新入生奨学金、修学奨励奨学金出願者で採用とならなかった学生の中から各学年1名	各30万円	1.2年
	新入生奨学金と修学奨励奨学金の出願者の中から、経済的な状況を審査し決定する。新入生奨学金、修学奨励奨学金出願者で採用とならなかった学生の中から6名	各5万円	1.2年
ソフィアキャンパスサポート父子母子家庭支援奨学金	修学奨励奨学金の出願者の中から、父子家庭及び母子家庭の学生1名に給付	20万円	1.2年
利子補給奨学金	金融機関の提携ローンを契約し、学費納入者を対象とする。	提携ローンの残額の利息に基づいて決定	1.2年
大規模災害等による特別措置	本人又は父母（家計支持者）が居住する家屋が、災害救助法適用地域（学長が同規模災害と認めた地域も含む）に指定され、罹災証明書が発行された者で、災害発生後3年以内に本学に入学又は在学している者を対象とする。	・被害状況により給付額が決定され、全壊の場合は授業料全額相当額、大規模半壊又は半壊の場合は授業料半額相当額を給付。 ・授業料減免が認められた者に対して、生活支援金（自宅外通学者　月額5万円、自宅通学者　月額3万円）を給付。	1.2年

事業の概要

2019年度の事業の取り組み状況について

短期大学部では、過去18年間で最大の入試志願者数（590名）を記録した2019年度入試に次ぎ2020年度入試においても529名の志願者があり、261名の学生が入学しました（入学定員250名）。こうした入学定員の安定的確保に繋がったのは、学生募集におけるトータルマネジメントにより、資料請求からオープンキャンパス、授業見学会への来校、出願までのプロセスに積極的な働きかけを行ったことなどによるものと考えています。

2020年度入試の特徴としては、AO、推薦、特別、一般入試に満遍なく志願者が集まり、各入試の「求める学生像」に基づいた選抜機能が働いて、高い素養を持つ多様な入学者を獲得できたことです。

教育の内部質保証の推進においてはTOEICに特化したe-learningシステムを導入し、英語科目と連動させることで、学生の英語力向上を図りました。

多様化する学生の支援については、2019年度も引き続き手厚いサポートを続けた結果、就職率は95.08％と高水準を維持しています。編入学に関しては、95.5％が進学先を決めており、こちらも健闘しています。引き続き学生に寄り添った進路支援を続けていきます。

サービスラーニングによる地域貢献の充実については、ボランティア活動の一部を授業内実習に位置づけ単位化し、学生のモチベーションと指導力向上につなげ、さらなる活性化を図っています。

上智社会福祉専門学校

教職員数等

教職員数

（2019年5月1日現在）

学校区分	教職員区分	本務	兼務	総計
上智社会福祉専門学校	教員	10	73	83
	職員	4	0	4
総　計		14	73	87

※本務教員：専任教員・特別契約教授・特任教員・常勤嘱託教員・実務家教員・出向教員
　兼務教員：非常勤嘱託教員
　本務職員：専任職員・契約職員・嘱託（一般）職員・嘱託（特別）職員
　兼務職員：嘱託（一般）職員（医師等）
※管理部門所属職員は上智大学に算入

年齢別教員数

（2019年5月1日現在）

学校区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
上智社会福祉専門学校	0	0	2	7	1	0	10

※非常勤講師を除く
※平均年齢52.38歳（非常勤講師除く）

職階別教員数

（2019年5月1日現在）

学校区分	教授	准教授	講師	助教	助手	教員	総計
上智社会福祉専門学校	0	0	0	0	0	10	10

※非常勤講師を除く

教員一人当たり学生数

（2019年5月1日現在）

学校区分	学生数	本務教員数	
		教員数	一人当たり学生数
上智社会福祉専門学校	176	10	17.60

学生数

（2019年5月1日現在）

課　程	学　科	入学定員	収容定員	学生数	収容定員充足率
保育専門課程	保育士科	0	40	15	37.5%
社会福祉専門課程	社会福祉士・児童指導員科	40	80	41	51.2%
	介護福祉士科	40	80	51	63.7%
精神保健福祉士通信課程（短期）		80	80	69	86.2%
合　計		160	280	176	62.8%

※留年者含む

2019年度実施入試（2020年度入学）

課　程	学　科	入学定員	志願者数	合格者数	2020年度入学者数	2019年度入学者数	2018年度入学者数	2017年度入学者数	2016年度入学者数
保育専門課程	保育士科	—	—	—	—	—	—	14	12
社会福祉専門課程	社会福祉士・児童指導員科	40	28	23	23	22	16	28	34
	介護福祉士科	40	16	14	13	25	32	16	22
精神保健福祉士通信課程（短期）		80	108	78	77	69	80	79	79
合　計		160	152	115	113	116	128	137	147

卒業者数

課　程	学　科	卒業者数
保育専門課程	保育士科	13
社会福祉専門課程	社会福祉士・児童指導員科	18
	介護福祉士科	23
精神保健福祉士通信課程（短期）		68
合　計		122

国家試験

国家試験合格状況

	合格者数	受験申込数	合格率
社会福祉士	15	17	88.2%
介護福祉士	21	22	95.5%
精神保健福祉士	64	65	98.5%

進路

2019年度　卒業者の進路

（人）

課　程	学　科	就職	進学	その他	未届者	合計
保育専門課程	保育士科	8	2	3	0	13
社会福祉専門課程	社会福祉士・児童指導員科	9	1	5	3	18
	介護福祉士科	6	1	13	3	23

※「その他」は、編入学試験勉強、資格試験勉強、就職活動中（公務員試験勉強中）、アルバイト等を含む。
※精神保健福祉士通信課程は、福祉職の現任者を対象とするため調査対象としない。

学生納付金

（単位：円）

	保育専門課程			社会福祉専門課程				精神保健福祉士通信課程（短期）
	保　育　士　科			社会福祉士・児童指導員科		介護福祉士科		
	2019年度入学者	2018年度入学者	2017年度入学者	2019年度入学者	2018年度以前入学者	2019年度入学者	2018年度以前入学者	2019年度入学者
合　計	－	－	512,500	663,990	498,500	873,110	707,500	389,900

事業の概要

千代田区委託子育て支援事業について

2019年度千代田区委託子育て支援事業は7月、10月、12月、1月の4回実施しました。千代田区内の親子に向けた活動です。

7月の活動は雨天のため参加者0でしたが10月の活動では父親と子どもの参加者が多く参加者から「土曜日に企画して下さると出かける場所があり大変助かる」との声がありました。学生は思った以上の参加者であったため、あたふたしており反省会において準備の大切さ、計画の大切さが次回の課題となりました。12月の活動では事前準備を丁寧に行い、計画も細かく立て役割分担をして当日に臨みました。当日は冷たい雨の天気でしたが、参加して下さる親子の姿があり計画を実践して楽しく過ごしていました。1月の活動は時間がない中でも丁寧な計画の立案と準備をして実践することができました。

千代田区委託子育て支援の事業により学生は多くのことを学びました。一つは丁寧な計画の立案と、事前準備の大切さです。これは実践したからこそ実感したことであり、保育の現場に出ても必要な課題です。二つ目は協働する大切さです。計画、事前準備、実践は学生同士が話し合いまとめていかなければなりません。時には議論しながら意見を出し合い、時にはアイデアを持ち寄りながら計画を立案し実践していました。この協働は座学の授業だけでは学べず経験により学びを深めていくことです。

千代田区委託区の子育て支援授業の学びは保育の現場の学びにつながる活動です。

10月26日　クルトゥルハイムのお庭にて万華鏡の製作

12月7日　13号館の教室にてクリスマスツリーの製作

保育士科の廃科について

上智社会福祉専門学校保育士科は、1966年に上智社会福祉専修学校保母養成機関として設立され、以来、キリスト教ヒューマニズムに基づく人間教育と共に、50余年にわたり保育人材の養成を行ってまいりました。

しかしながら、近年の社会時勢を鑑み、検討を重ねてまいりました結果、本科は既にその使命を終えたものとの結論に至り、2019年度末をもって廃科が決まりました。

栄光学園中学高等学校

主な施設等の状況

（2020年3月31日現在）

所在地	施設等		面積等	帳簿価額	摘要
栄光学園中学高等学校 神奈川県鎌倉市玉縄	校地		113,492.00㎡	745,998千円	中学校・高等学校が利用
	校舎	1棟	8,643.52㎡	3,684,401千円	
	第1体育館	1棟	2,112.61㎡	7,990千円	
	講堂	1棟	1,940.91㎡	208,523千円	
	アロイジオ館	1棟	370.63㎡	14,891千円	
	聖堂棟（図書室･聖堂･小講堂）	1棟	2,838.98㎡	415,938千円	
	第2体育館	1棟	2,370.92㎡	237,690千円	
	事務所・倉庫棟	1棟	1,355.18㎡	33,627千円	
栄光ヒュッテ 神奈川県愛甲郡煤ヶ谷字丹沢山	用地		2,600.23㎡	借地	
	山小屋	1棟	133.03㎡	4円	

※複合校舎は、聖堂棟に名称を変更した

教職員数

（2019年5月1日現在）

学校区分	教員	職員	総計
栄光学園中学高等学校	79	13	92

生徒数

（2019年5月1日現在）

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計	収容定員充足率
栄光学園中学校	180	540	182	189	180	551	102.0%
栄光学園高等学校	180	540	179	178	180	537	99.4%

入試状況（2020年入学者）

（2020年3月31日現在）

学校区分	受験者	合格者	入学者
栄光学園中学校	780	263	184

卒業者数（2020年3月）

学校区分	卒業者数
栄光学園高等学校	178

2020年3月卒業生　進路状況

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
栄光学園高等学校	76	23	0	1	0	78

2019年度事業報告（総括）

2019年9月9日未明に関東地方に最接近した台風15号の激しい降雨により、大船駅から栄光学園までの通学路の途中で、鎌倉市所有地の斜面が土砂崩れをおこし、学校も2日間臨時休校となりました。その後、歩行者だけは通行できるようになったので学校が再開され、車両も下りのみの一方通行となっていますが、完全復旧は2020年の後半以降の見込みとされています。激しい台風ではありましたが、2年前に新築された校舎を含め、学校の建物には被害はありませんでした。

11月25日には、来日された教皇フランシスコのミサにあずかるため、生徒と教員が東京ドームへ出向きました。本校のミサ参加希望者は、全校生徒のおよそ3分の1となる350名あまり。本校に割り当てられた参加者数（ミサ生徒276名、聖歌隊生徒27名、教員22名）の上限を超えていたので抽選となってしまいましたが、とても貴重な機会をいただくことができました。本校では普段から学校で行われる宗教活動や宗教行事への参加は全員強制ではなく自由参加としているため、初めてミサに出席したという生徒も少なくありませんでした。しかし、今回の参加を通じてあらためてカトリック教会や教皇フランシスコが発している数々のメッセージに触れ、理解を深めることができました。

トピックス

①本間希樹さん講演

6月11日には、本校卒業生（38期）の本間希樹さん（国立天文台教授）に来校していただき、全校生徒に講演をしていただきました。講演にさきだつ2019年4月、人類史上初めて宇宙の彼方のブラックホールの撮影に成功したことが全世界で一斉に報道されました。この撮影を行った国際共同研究プロジェクト「イベント・ホライズン・テレコープ（EHT）」の日本研究者のチームリーダーが本間さんです。講演では、数式も交えながら特殊相対性理論・一般相対性理論についてのレクチャーもありましたが、国の違いを乗り越えながら撮影に至るまでの苦心や、撮影会見の裏話やどのような反響があったかなどのお話もうかがえました。

②生徒活動への表彰

2019年7月にフランスで行われた国際化学オリンピックに日本代表として参加していた本校高校2年の生徒が金メダルを、同じく7月にベルギーで行われた国際生物学オリンピックに日本代表として参加していた高校2年生が銅メダルを受賞しました。また、8月にはダブルダッチの世界一を決める大会『DOUBLE DUTCH CONTEST WORLD 2019』が八王子市で開催され、本校体操部のチームがみごと世界一を獲得しました。その他にも本校の奉仕活動団体である「愛の運動委員会」が第23回ボランティア・スピリット・アワード（生命保険会社数社の主催、文部科学省後援）においてコミュニティ賞を受賞し、ひごろから様々な奉仕活動を継続的に行っていることが、あらためて表彰されました。

③さくらサイエンス・ハイスクールプログラム

2019年12月には、さくらサイエンス・ハイスクールプログラムで訪日していた留学生85名を本校に迎えて、高校2年生が半日交流会を行いました。日本の科学技術振興機構（JST）が主催するこのプログラムは、世界40カ国以上の国と地域から毎年数多くの留学生が参加し、日本の科学技術や歴史文化に触れ、日本の高校生や大学生と交流します。栄光学園では、本校生徒と留学生をミックスして40のグループに分け、SDGsをテーマに英語で討論や発表を行いました。本校はイエズス会学校との交流はセブやボストンで行っていますが、イエズス会学校以外の様々な国の同世代の人たちとの交流はとても充実した体験だったようです。

毎年、夏休みに米国ボストンカレッジの「Ever to Excel」に参加しています。

毎年、秋の全校行事として「歩く大会」を行っています。

六甲学院中学校・高等学校

主な施設等の状況

（2020年3月31日現在）

所在地	施設等		面積等	帳簿価額	摘要
六甲学院中学校・高等学校 兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町	校地		73,353.00㎡	700,941千円	中学校・高等学校が利用
	校舎（本館）	1棟	11,393.92㎡	1,870,743千円	
	校舎（別館）	2棟	1,779.65㎡	10,040千円	
	体育館・講堂棟	1棟	5,943.10㎡	431,531千円	
	プール・剣道場	1棟	2,094.79㎡	24,202千円	
	第3グラウンド体育棟	1棟	84.37㎡	39,535千円	
	部室・弓道場	1棟	442.83㎡	11,257千円	
兵庫県神戸市灘区篠原字仲山	用地		934.00㎡	8千円	
兵庫県神戸市灘区篠原字谷山	用地		9,609.00㎡	2,153千円	
兵庫県神戸市灘区篠原北町	校地		654.00㎡	借地	
	研修所	1棟	482.62㎡	6,408千円	
富山県中新川郡立山町（弥陀ヶ原）	用地		485.00㎡	借地	
	合宿所	1棟	244.62㎡	25,513千円	

教職員数

（2019年5月1日現在）

学校区分	教員	職員	総計
六甲学院中学校・高等学校	66	13	79

生徒数

（2019年5月1日現在）

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計	収容定員充足率
六甲学院中学校	184	552	188	187	184	559	101.3%
六甲学院高等学校	184	552	176	160	167	503	91.1%

入試状況（2020年入学者）

（2020年3月31日現在）

学校区分	受験者	合格者	入学者
六甲学院中学校	592	290	189

卒業者数（2020年3月）

学校区分	卒業者数
六甲学院高等学校	167

2020年3月卒業生　進路状況

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
六甲学院高等学校	64	23	2	0	防衛大学校1	79

2019年度事業報告（総括）

入試広報の一環として、2019年7月21日（日）に本校としては初めての試みとなるオープンスクールを実施しました。学校説明会を主軸に、受験に関する相談受付、在校生による校内見学ツアー、教職員による15コマもの体験授業、クラブの体験・練習を企画実施いたしました。来校者には飲み物などを準備していましたが追加手配が必要になるなど、当初予想をはるかに上回る千人以上もの方々のご参加がありました。

ICT教育面においては、昨年度の高校2年生の各クラスに設置した電子黒板機能付プロジェクターが予想以上に利用度が高く、今年度は高校3年生の各クラスに設置し、当該学年の生徒たちに進級後も引き続きその機能を生かした授業を実施することができました。また、パソコン教室を最新の機器で一新、従来機器では困難であったネットを利用した授業やプログラミング等が快適に行えるようになりました。

施設設備面においては、昨年の豪雨で敷地内に発生した土砂崩れの復旧が約半年を要して完了しました。急傾斜地であることと期間中にも豪雨に見舞われたこともあり、工事は難航しましたが工期の大幅な遅延もなく終了することができました。

トピックス

①読売新聞オンラインに本校体育祭の特集記事が掲載される

2019年6月8日（土）に開催した第78回六甲学院体育祭「鋒（きっさき）」が読売新聞オンラインに特集記事として掲載されました。記事は、本校が男子校らしい勇壮な体育祭で有名であること、中でも中高合わせて約1000人が上半身裸、裸足で行う「総行進」が名物行事であるというくだりで始まっており、体育祭そのものが毎年生徒だけで企画・運営する自主自立の精神とそこから生まれるリーダーシップに言及されました。

〈読売新聞オンライン〉壮観の「体育祭」支えるリーダーシップの伝統…六甲学院
https://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/support/information/CO036625/20190708-OYT8T50063/

②東進グローバル・イングリッシュ・キャンプ

8月5日～9日、学校を会場として高校1・2年の希望者を対象に『東進グローバル・イングリッシュ・キャンプ』が行われました。

このキャンプは、ハーバードやイェールといった米英一流大学の学生（interns）をリーダーとして迎え、グループに分かれてSDGs「持続可能な開発目標」など様々なテーマについてディスカッションやプレゼンテーションを行いながら、最後にMy Life Mission「私の生涯の使命」を発表し合うプログラムです。10時に教室に入ったら17時まで「All English, No Japanese」で、普通の短期留学よりもたくさん英語を使ったのではないかと思わせる内容でした。

また、明確な人生の目標を持ちながら大学で学んでいる学生リーダーたちから刺激を受け、自分の将来を深く考える機会にもなったようです。

参加者に英語で書いてもらった感想の抜粋をいくつかご紹介します。文法的な間違いは少々ありますが、そのまま載せています。彼らがこの5日間で体験したように、外国語は、間違いを恐れずどんどん使うことによって上達していくものですから。

At this camp I changed my opinion of English. I thought speaking English is only a tool which pass the exam, but it is a tool of communication. So I think we had better enjoy studying English. (Yuki Oi, S2)

I felt as if I were in abroad in that week. I didn't improve my vocabulary and writing skills, but I became to like speaking English. I could not speak well, but I was glad that everyone understood my idea. (Kazuki Horita, S2)

I was not interested in studying English before I took part in the camp, but I'm interested in studying English now. I felt my English level was low throughout this program. So I have to study English more, and I decided to go to Berlitz for learning English speaking skills. (Haruki Aga, S1)

This camp was an opportunity for me to express my opinions in every situation. After this camp, I want to live a life with a wide field of vision by experiencing many challenges and good failures. (Kosei Kawamoto, S1)

I learned from interns that all people should have this mentality to unite as one while they originally come from so many different tribes and have many different languages and styles of religions. (Toshiaki Mihara, S1)

I learn the fun of English which I can't experience in daily class. I'm glad to listen the speech of life mission by Interns. Interns are considering their future very deeply. It was valuable for me to consider my own future. (Takuma Akiyoshi, S1)

I was worried about whether or not they'll understand what I was saying, but I'm happy they understand what I'm saying. I gained self-confidence. (Masayoshi Koda, S1)

I thought it sorry that I couldn't tell foreigner my feelings. For example, if I won games, but I had no words to express my joy. I thought I should learn more words and use them completely. (Mizuki Kawahira, S1)

広島学院中学校・高等学校

主な施設等の状況

（2020年3月31日現在）

所在地	施設等	面積等		帳簿価額	摘要
広島学院中学校・高等学校 広島県広島市西区古江上	校地		46,810.13㎡	362,304千円	中学校・高等学校が利用
	本館校舎	1棟	6,075.37㎡	381,962千円	
	西館校舎	1棟	3,317.29㎡	252,867千円	
	理科棟	1棟	910.67㎡	145,104千円	
	講堂（体育館）	1棟	1,570.65㎡	1,611千円	
	ザビエル体育館	1棟	2,286.93㎡	210,106千円	
	ペドロ・アルペ講堂	1棟	3,024.46㎡	918,737千円	
	アシジの聖フランシスコ聖堂	1棟	232.51㎡	119,143千円	
	工作室	1棟	94.90㎡	1,413千円	
	クラブハウス	2棟	279.83㎡	41,350千円	
	倉庫（下グランド）	2棟	162.48㎡	4,094千円	
広島県廿日市市飯山字天徳	用地		12,159.00㎡	4,676千円	
	キャンプハウス	11棟	477.42㎡	9,829千円	

教職員数

（2019年5月1日現在）

学校区分	教員	職員	総計
広島学院中学校・高等学校	65	13	78

生徒数

（2019年5月1日現在）

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計	収容定員充足率
広島学院中学校	184	552	191	194	190	575	104%
広島学院高等学校	184	552	174	181	181	536	97%

入試状況（2020年入学者）

（2020年3月31日現在）

学校区分	受験者	合格者	入学者
広島学院中学校	635	279	187

卒業者数（2020年3月）

学校区分	卒業者数
広島学院高等学校	181

2020年3月卒業生　進路状況

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
広島学院高等学校	69	24	2	0	0	88

2019年度事業報告（総括）

教育部門では、本校のイエズス会教育推進の大きな役割を担うILP（Ignatian Leadership Program）の充実や、新しく始まる大学入学共通テストへの対応準備、リーダー養成海外プログラムへの生徒派遣の検討などを行いました。財務・管財部門では、コンピュータのリプレイス、校舎の老朽化箇所修繕、校地内外の防災工事などに取組みました。

ILPは聖イグナチオ・デ・ロヨラの「仕えるリーダー」としてのあり方にならい、Men for others, with othersの倫理観を体験的な学習を通じて学ぶことを目的とした授業です。「キリスト教の基本理解」「社会の様々な人々との関わり」「世界と平和」「自分・生き方探し」「人間としての生き方（思想・哲学・社会倫理）」など、それぞれの学年に応じてテーマが決められており、各学年のILP担当の教員が中心となり授業計画を立て、基本的には各クラス担任が、授業を受け持ちます。テーマによっては、外部から講師を招いたり、自ら校外に足を運んだりすることもあります。週に1回、ILP担当教員が集まって、更なるILPの充実について活発に議論を進めており、ILPは本校のイエズス会教育推進の大きな役割を担っています。

トピックス

①英語科「オンライン英会話」実施学年の充実

2017年度より、インターネットのビデオチャットシステムを活用した「オンライン英会話」を授業に取り入れています。類似のサービスを提供する数社について検討し、3社のサービスを実際に利用しながら、その教材の価値や学習効果について検討・評価を行いました。

実施対象学年は中学校3年と高校1年としており、生徒はビデオチャットツールを活用して海外在住のネイティブとリアルタイムの会話を行います。全ての生徒が同時にマンツーマンで会話を行うことができるため、授業時間中の一人あたりの発話量を倍増することができており、結果として生徒の「話す力」「聞く力」は着実に伸びてきています。2020年度から始まる大学入試共通テストにおいては英語の「話す力」の試験の導入が見送られましたが、実際に使える英会話力育成のため、オンライン英会話を継続していきます。

②国際交流プログラムの充実

1997年から始まったナガ校との交流を中心としたフィリピン研修に加えて、新たな国際交流プログラムについて検討してきました。8月に3名の教員がカンボジアを訪れて、生徒の派遣を具体化し、2020年の冬休みには有志の生徒12名程度をカンボジアに派遣できるよう計画を立てました。カンボジアではイエズス会学校との交流に加え、内戦の遺構、貧困の現場等を訪問することで日本国内に留まっていては得られない視点から未来への貢献について生徒に考えさせる機会とします。

③スクールガイドや学校Webページの改訂

スクールガイドを改訂し2019年4月から使用しています。現行のスクールガイドは従来のデザインを踏襲したものですが、スクールガイドと学校Webページのデザインを統一感のあるものに改訂し、広報活動の効果を高める計画を進めています。今のところ各業者からの提案を集めている段階ですが、2020年度中には具体化できるよう計画を進めています。

④校地内危険箇所防災対策の完了及び校内の整備

校舎の経年劣化対策として本年度は、校舎西館と理科棟の屋根防水補修工事を行いました。

法人合併にともない実施した校地内危険箇所の調査により判明した、校地裏山の転石散在や地表面風化等の危険箇所の対策工事が10月末に完了しました。総工費1億8千万円の大規模工事となりましたが、生徒の安心安全を確保することができました。

また、Windows7のサポート終了に伴い、校内の教育用PC・業務用PC合わせて124台と関連サーバのリプレイスを行いました。校内のほとんどすべてのPCが入れ替わるという大きな事業でしたが、業者と連携しながら計画的に作業を進めた結果、大きな混乱なく終えることができました。リプレイスと並行してグループウェアを導入しました。グループウェアにはさまざまな機能がありますが、手始めに特別教室等の予約から活用を始めています。これまでの紙ベースの帳票よりも確実に調整が可能となり、業務の効率化が進みました。

2019年度フィリピン研修参加者

上智福岡中学高等学校

主な施設等の状況

（2020年3月31日現在）

所在地	施設等	面積等		帳簿価額	摘要
上智福岡中学高等学校 福岡県福岡市中央区輝国	校地		53,761.68㎡	5,006,712千円	中学校・高等学校が利用
	中学棟	1棟	2,182.24㎡	164,006千円	
	体育館	1棟	2,711.00㎡	113,748千円	
	用務員居宅	1棟	80.32㎡	1円	
	高校棟	1棟	2,329.00㎡	183,471千円	
	特別教室棟	1棟	3,290.32㎡	138,279千円	
	プレハブ倉庫	1棟	210.50㎡	2円	
	クラブハウス	1棟	277.16㎡	26,933千円	
	中央棟	1棟	2,492.51㎡	490,906千円	
	昇降口（中学）	1棟	79.75㎡	5,653千円	
	昇降口（高校）	1棟	73.15㎡	5,176千円	
	守衛室	1棟	4.32㎡	5,524千円	
	聖堂棟	1棟	359.35㎡	30,833千円	

教職員数

（2019年5月1日現在）

学校区分	教員	職員	総計
上智福岡中学高等学校	67	9	76

生徒数

（2019年5月1日現在）

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計	収容定員充足率
上智福岡中学校	160	480	176（98）	175（89）	139（70）	490（257）	102%
上智福岡高等学校	160	480	144（53）	152（58）	144（61）	440（172）	92%

※（　）内は女子生徒数

入試状況（2020年入学者）

（2020年3月31日現在）

学校区分	受験者	合格者	入学者
上智福岡中学校	826（389）	529（214）	195（72）

※（　）内は女子生徒数

卒業者数（2020年3月）

学校区分	卒業者数
上智福岡高等学校	144

2020年3月卒業生　進路状況

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
上智福岡高等学校	17	84	24	0	0	43

2019年度事業報告（総括）

本年度の「教育の充実」に向けた主な事業として実施した下記2点について説明します。

まず、新学習指導要領、大学共通テストを見据え3回の授業研究日を設け、理科科、数学科、保健体育科、Studies For Others科の研究授業を実施しました。そのうち3回目は公開授業研究会といたしました。

つづいてICTを活用した授業の研究としてG Suite for Educationを高2 Studies For Others科にて試験的に導入しました。模擬国際会議の討論にてその場で検索したデータを示し相手に反駁する、瞬時に全員が情報を共有できるなどその利点を共有することができました。

その他、カンボジア・スタディーツアー、中3オーストラリア語学研修の継続と内容の充実を図り、ルーブリックアンケートの結果からこれらの体験を通して積極的にコミュニケーションをとる力、誰とでも協働する力、地球規模の問題への関心、弱者に対する配慮が高まったことが示されました。

トピックス

①上智大学との教育提携プログラム

教育提携プログラムの主な内容は1. 高大提携講座 2. 教育刷新 3. 教育提携校特別推薦入学です。1. 高大提携講座については下記の出張授業をしていただきました。

学部学科	講師	日時	対象	内容
神学部	小山英之教授	4月20日	高3	「平和と他者に奉仕するリーダーとしてのMy Mission」
物質生命理工学科	千葉篤彦教授	6月5日	中3	「体内時計」
総合人間科学部看護学科	光武智美助教	6月6日	中1	「助産師が伝える命の授業」
機能創造理工学科	平野哲文教授	6月11日	高1	「超高温物理最前線」
地球環境法学科	伊藤栄寿教授	6月13日	中3	「法の解釈を考えてみる」
文学部国文学科	長尾直茂教授	9月10日	中2	「漢字のカタチ」
総合人間科学部教育学科	相澤真一准教授	11月5日	高1	「あなたは誰？　アイデンティティから考える総合人間科学入門」
国際教養学部	ホジャステヤコブ准教授	11月11日	高2	“Introduction to Operations Management”
経済学部	石井昌宏教授	2月17日	中3	「経営学を学ぶ前に」
総合グローバル学部	宮城大蔵教授	2月18日	高2	「国際政治（主権国家体系）の成立とその後」
外国語学部ポルトガル語学科	子安昭子教授	2月20日	中1	「グローバル・コンピテンシー」
情報理工学科	川端亮准教授	2月25日	中2	「世の中を支える情報システム」

さらに、出張授業の内容をまとめた冊子『叡智の世界』第3号を発行いたしました。

2. の教育刷新として6月の授業研究日、12月の公開授業研究会に澤田稔教授より理科科、総合学習の授業の指導助言を受けました。また、英語科研修を2月に行い、吉田研作教授の指導助言を受けました。更に3. の教育提携校特別推薦入学にて23名が大学へ進学しました。

②海外イエズス会姉妹校との交流

6月24日より6月29日まで、東ティモール聖イグナチオ学院より教員1名と高3女子生徒が、本校教員と生徒宅にホームステイしながら日本研修を行いました。10月22日より10月26日にはネパールのSt. Xavier's School Godavariより男女5名の中2生と教員1名がホームステイと学校体験をしました。10月24日には姉妹校を含むフィリピンのカトリック校教員団34名が視察に来られました。10月30日にはAteneo de Davao生20名が来校し半日交流を行いました。11月5日より11月9日にはマレーシアのカトリック校校長Fr. Alvin Ng s.j.が視察に来られました。11月7日には台湾St. Aloysius Technical High School生25名が校長、教員２名の引率で来校、11月25日にはAteneo de Cagayan生20名が来校し半日交流をしました。

ネパールのSt. Xavier's School Godavari生とホストファミリー

③公開探究授業研究会

SGHアソシエイト校5年間の集大成として、研究開発を続けてきた本校の総合的学習・探究の時間Studies For Othersの高2模擬国際会議を、指導助言者に澤田稔教授を迎えて2月22日に実施しました。「児童労働問題の解決」を議題に、生徒は14か国・国際NGOに分かれ、それぞれの立場から児童労働問題についての調査と決議案を半年かけて準備をしました。総会当日は参加国・団体すべての承認が得られる決議にむけてギリギリの交渉を制限時間いっぱいに行い、全会一致の合意に達することができました。8県より23名の教員が参加し、公開授業視察に続き授業検討会が行われました。授業の教育効果について参加者全員から、生徒の主体性、積極性、活発さ、入念な下調べで自分事としていること、交渉力、物怖じしない発信力が高く評価されました。

模擬国際会議での交渉シーン

財務の概要

上智学院の財務諸表をご案内する前に学校法人会計の特殊性と、株式会社で適用されている企業会計との違いについてご説明いたします。

学校法人会計基準について

1. 学校法人会計基準とは

学校法人は、目的とする教育研究活動を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、自ら調達した資金の他に国または地方公共団体から経常費の補助を受けています。当該補助金の交付を受けている学校法人は、私立学校振興助成法の定めにより、一定の会計ルールに則った会計処理と計算書を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。この一定の会計ルールが「学校法人会計基準」となります。

2. 企業会計との違い

企業は利益の追求を目的としていることから、企業会計は資本の投下・回収という営利活動の成果と財政状態を利害関係者に開示することを目的としています。

一方、学校法人は教育研究活動という極めて公共性の高い事業を遂行することを目的としており、この教育研究活動を円滑に遂行するために、財政の安定と永続性を保つことが求められています。そのため学校法人会計は、企業会計のような「損益」の開示ではなく、今後の活動を継続的且つ安定的に遂行するため、収支の均衡の状況と財政の状態を正確に捉えることを目的としています。

3. 計算書について

上記の目的のため、「学校法人会計基準」に基づき、「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」の作成が義務付けられています。

(1) 資金収支計算書

当該会計年度に行った諸活動に対応する全ての資金の動きを記録することによって、当該年度の収入と支出の内容を明らかにすると共に、支払資金（現預金）の顛末を示すものです。

(2) 事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動ごとの収支の内容と均衡状態を明確にし、経営状況を表すものです。

学校法人の活動を ①教育活動　②教育活動以外の経常的な活動　③それ以外の活動（特別収支）に分けて、それぞれの収支差額を計算しています。

その合計を、「基本金組入前当年度収支差額」として明記し、そこから基本金組入額を控除したものが当年度収支差額となります。

収支の均衡の状態は、「当年度収支差額」で判断します。一般的に学校法人会計では収支が均衡していることを理想としています。

＜基本金とは＞

学校法人が諸活動の計画に基づき、教育研究の維持・充実に必要な資産を継続的に保持するための金額であり、以下のとおり、第1号基本金から第4号基本金まであります。

・第１号基本金…設立や規模の拡大若しくは教育の充実向上のために取得した固定資産の額
・第２号基本金…将来取得する固定資産に充てる金銭その他の資産の額
・第３号基本金…基金として継続的に保持し、運用する金銭その他の資産の額
　※基金の元本から生じる果実は教育研究活動に使用されます。
・第４号基本金…恒常的に保持すべき資金
　※円滑な運営に必要な運転資金を常時保持するため、一定額の資金を基本金とします。

(3) 貸借対照表

期末（年度末）における資産・負債・純資産（基本金及び収支差額）を表記し、財政状態を明らかにして健全性・安定性を示すものです。

2019年度決算の概要

(1) 事業活動収支計算書

（単位：百万円）

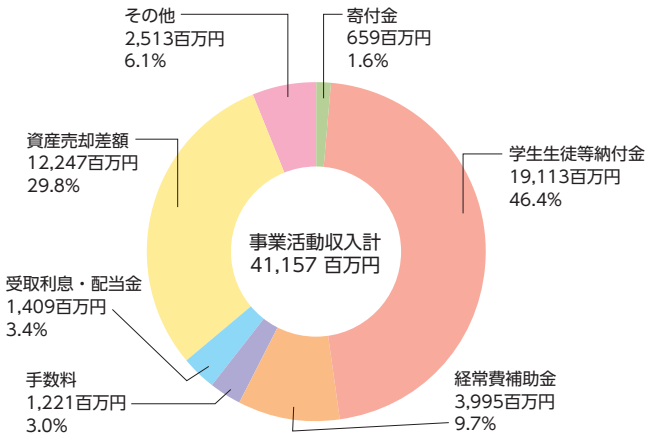
	科　目	予算	決算	差異
教育活動収支	学生生徒等納付金	19,193	19,113	△ 80
	手数料	1,176	1,221	45
	寄付金	519	659	140
	経常費等補助金	3,920	3,995	75
	付随事業収入	978	874	△ 104
	雑収入	1,035	959	△ 76
	教育活動収入計	26,821	26,821	0
	人件費	15,091	14,956	△ 135
	教育研究経費	10,184	9,686	△ 498
	管理経費	2,019	1,763	△ 256
	教育活動支出計	27,294	26,405	△ 889
	教育活動収支差額	△ 473	416	889
教育活動外収支	受取利息・配当金	565	1,409	844
	その他の教育活動外収入	450	450	0
	教育活動外収入計	1,015	1,859	844
	借入金等利息他	139	148	9
	その他の教育活動外支出	0	4	4
	教育活動外支出計	139	152	13
	教育活動外収支差額	876	1,707	831
経常収支差額		403	2,123	1,720

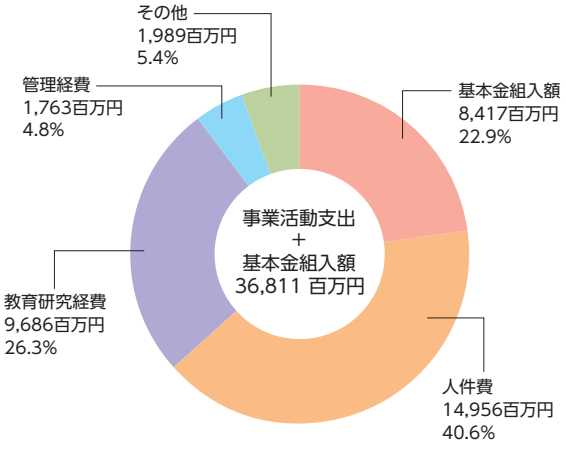
	科　目	予算	決算	差異
特別収支	資産売却差額	12,194	12,247	53
	その他の特別収入	128	230	102
	特別収入計	12,322	12,477	155
	資産処分差額	784	1,250	466
	その他の特別支出	0	587	587
	特別支出計	784	1,837	1,053
	特別収支差額	11,538	10,640	△ 898
予備費		(234) 0		0
基本金組入前当年度収支差額		11,942	12,763	821
基本金組入額合計		△ 9,002	△ 8,417	585
当年度収支差額		2,940	4,346	1,406
前年度繰越収支差額		△ 14,464	△ 14,464	0
基本金取崩額		0	2	2
翌年度繰越収支差額		△ 11,525	△ 10,116	1,409

（参考）

事業活動収入計	40,159	41,157	998
事業活動支出計	28,217	28,394	177

※表示単位未満を合計に合わせているため、各科目において四捨五入でない場合があります。
※予備費の上段（ ）内は使用額、下段は残高です。使用額は使用した科目の予算額に加算されています。





概要

2019年度の事業活動収支決算は、基本金組入後の当年度収支差額が4,346百万円となり、予算比で1,406百万円多い結果となりました。これにより、翌年度繰越収支差額は30%減少して、△10,116百万円となりました。

今回このような決算に至った理由は、大きな項目で見ると、教育活動収入は予算と同額を達成し、教育活動支出は予算比889百万円減少、教育活動外収入は予算比844百万円増加し、特別支出は予算比1,053百万円増加したものの、結果として基本金組入前当年度収支差額が予算比821百万円増加、更に基本金組入額合計が予算比585百万円減少したことによります。

個別に見ると、経常収入では手数料（入学検定料）、寄付金、経常費等補助金、受取利息・配当金が予算を上回り、経常支出では人件費、賃借料、業務委託費等が予算より少なく収まったことが挙げられます。

今年度決算の特徴は上記の他、特別収入・特別支出に例年にない大規模の収支が発生した点にあります。ひとつは、市谷キャンパスの売却に伴う資産売却差額（土地）が約12,100百万円になったことと、同じく売却に伴う資産処分差額（建物・構築物）が340百万円となり、また、3号館・4号館・8号館・9号館の付帯設備の全面取替更新による処分差額で209百万円、及び教育研究用機器備品・管理用機器備品・図書の処分差額が416百万円になったことが挙げられます。さらに、2013年度から始まった上記3号館～9号館の工事に関わる支出の内、解体・撤去費等明らかに経費となるものを振替えた額が、その他の特別支出に571百万円含まれています。この結果、特別支出合計は1,837百万円という大きな金額になりました。

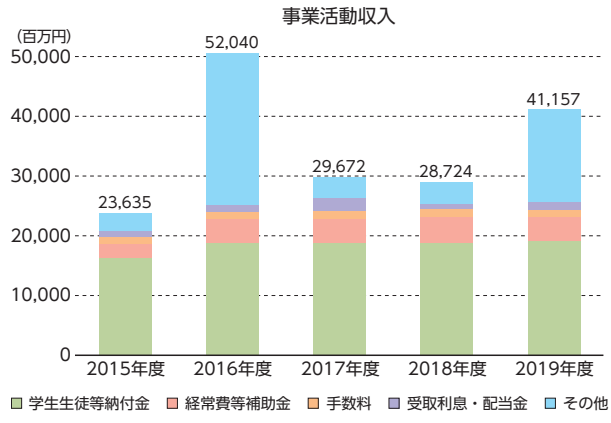
財務の概要

過去5年間の推移

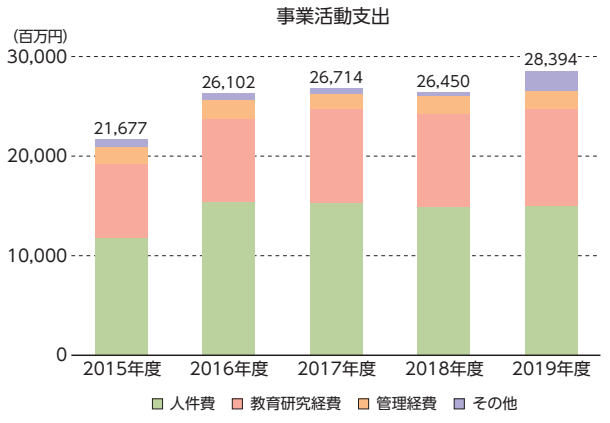
（単位：百万円）

科　目		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
教育活動収支	学生生徒等納付金	16,178	18,855	18,765	18,972	19,113
	手数料	1,155	1,277	1,360	1,285	1,221
	寄付金	297	24,271	437	700	659
	経常費等補助金	2,324	3,738	3,913	4,046	3,995
	付随事業収入	672	730	797	750	874
	雑収入	798	1,179	1,332	1,215	959
	教育活動収入計	21,424	50,050	26,604	26,968	26,821
	人件費	11,841	15,407	15,287	14,905	14,956
	教育研究経費	7,460	8,349	9,399	9,389	9,686
	管理経費	1,522	1,783	1,525	1,792	1,763
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	20,823	25,540	26,211	26,086	26,405
	教育活動収支差額	601	24,511	393	882	416
教育活動外収支	受取利息・配当金	1,073	1,180	2,091	956	1,409
	その他の教育活動外収入	0	0	400	450	450
	教育活動外収入計	1,073	1,180	2,491	1,406	1,859
	借入金等利息	161	172	158	148	148
	その他の教育活動外支出	82	0	0	0	4
	教育活動外支出計	243	172	158	148	152
	教育活動外収支差額	830	1,008	2,333	1,258	1,707
経常収支差額		1,431	25,519	2,726	2,140	2,123
特別収支	資産売却差額	949	90	19	95	12,247
	その他の特別収入	190	720	558	255	230
	特別収入計	1,138	810	577	350	12,477
	資産処分差額	610	390	345	216	1,250
	その他の特別支出	1	0	0	0	587
	特別支出計	611	390	345	216	1,837
	特別収支差額	528	420	232	134	10,640
基本金組入前当年度収支差額		1,958	25,939	2,958	2,274	12,763
基本金組入額合計		△ 1,594	△ 29,142	△ 401	△ 3,462	△ 8,417
当年度収支差額		364	△ 3,203	2,557	△ 1,188	4,346
前年度繰越収支差額		△ 15,622	△ 15,258	△ 18,415	△ 15,546	△ 14,464
基本金取崩額		0	46	312	2,270	2
翌年度繰越収支差額		△ 15,258	△ 18,415	△ 15,546	△ 14,464	△ 10,116
（参考）						
事業活動収入計		23,635	52,040	29,672	28,724	41,157
事業活動支出計		21,677	26,102	26,714	26,450	28,394

注：2016年度は法人合併に伴い、収入・支出ともに大幅に増加しています。



※2016年度には、合併に伴う寄付金受入額23,691百万円が含まれています。
※2019年度には、市谷キャンパスの資産売却差額12,100百万円が含まれています。



※2016年度の支出には、合併に伴う人件費3,190百万円が含まれています。

(2) 資金収支計算書

（単位：百万円）

収入の部				支出の部			
科　目	予算	決算	差異	科　目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	19,193	19,113	△ 80	人件費支出	15,035	14,835	△ 200
手数料収入	1,175	1,221	46	教育研究経費支出	7,525	7,067	△ 458
寄付金収入	567	770	203	管理経費支出	1,762	1,523	△ 239
補助金収入	3,934	4,019	85	借入金等利息支出	148	148	0
受取利息・配当金収入	566	1,409	843	借入金等返済支出	2,525	4,670	2,145
資産売却収入	15,208	17,488	2,280	施設関係支出	3,851	9,747	5,896
付随事業・収益事業収入	1,428	1,325	△ 103	設備関係支出	836	976	140
雑収入	1,035	959	△ 76	資産運用支出	18,753	18,643	△ 110
借入金等収入	1,500	1,600	100	その他の支出	1,250	1,024	△ 226
前受金収入	4,519	4,477	△ 42	予備費	(234)		
その他の収入	6,985	13,534	6,549		0		0
資金収入調整勘定	△ 7,578	△ 7,556	22	資金支出調整勘定	△ 1,005	△ 716	289
前年度繰越支払資金	8,841	8,841	0	翌年度繰越支払資金	6,693	9,284	2,591
収入の部合計	57,373	67,200	9,828	支出の部合計	57,373	67,200	9,828

※表示単位未満を合計に合わせているため、各科目において四捨五入でない場合があります。
※予備費の上段（ ）内は使用額、下段は残高です。使用額は使用した科目の予算額に加算されています。

概要

資金収支の規模は、67,200百万円で予算比9,828百万円の増加となりました。主な要因は資金収入では、資産売却収入（有価証券売却収入）の増、その他の収入では13号館を収益事業会計から学校法人会計に移管したことにより、収益事業回収収入が6,936百万円の増となっています。

一方、資金支出では14号館の土地・建物購入のための借入金返済支出の増、13号館及び秦野マリア寮取得に係る施設関係支出（土地）の増3,956百万円、建設仮勘定支出（3・4・8・9号館改修工事等）が2,441百万円で、主な要因となっています。

翌年度繰越支払資金は上記の結果、前年度比443百万円増加、予算比では2,591百万円の増となりました。

過去５年間の推移

収入の部

（単位：百万円）

科　目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
学生生徒等納付金収入	16,178	18,855	18,766	18,972	19,113
手数料収入	1,155	1,277	1,360	1,285	1,221
寄付金収入	345	3,188	657	768	770
補助金収入	2,391	3,948	4,191	4,093	4,019
受取利息・配当金収入	1,073	1,180	2,091	956	1,409
資産売却収入	8,226	4,176	6,491	4,645	17,488
付随事業・収益事業収入	672	730	1,197	1,200	1,325
雑収入	798	1,179	1,333	1,281	959
借入金等収入	2,600	0	0	5,175	1,600
前受金収入	4,938	4,938	4,935	7,012	4,477
その他の収入	13,793	14,517	9,636	6,655	13,534
資金収入調整勘定	△ 5,751	△ 5,956	△ 5,804	△ 5,594	△ 7,556
前年度繰越支払資金	5,045	4,998	8,493	7,244	8,841
収入の部合計	51,462	53,030	53,346	53,692	67,200

支出の部

（単位：百万円）

科　目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
人件費支出	11,913	15,511	15,349	14,956	14,835
教育研究経費支出	5,812	5,858	6,710	6,693	7,067
管理経費支出	1,354	1,494	1,317	1,531	1,523
借入金等利息支出	161	172	158	146	148
借入金等返済支出	650	797	916	1,145	4,670
施設関係支出	4,952	6,898	3,301	8,799	9,747
設備関係支出	800	1,374	872	811	976
資産運用支出	19,362	12,339	17,876	10,323	18,643
その他の支出	1,948	978	889	1,485	1,024
資金支出調整勘定	△ 487	△ 884	△ 1,286	△ 1,038	△ 716
翌年度繰越支払資金	4,998	8,493	7,244	8,841	9,284
支出の部合計	51,462	53,030	53,346	53,692	67,200

注：過年度分を含めて新会計基準に置き換えて算出している。

(3) 貸借対照表

（単位：百万円）

【資産の部】				【負債の部】			
科　　目	2019年度	2018年度	増　減	科　　目	2019年度	2018年度	増　減
固定資産	153,968	147,270	6,698	固定負債	19,236	18,625	611
有形固定資産	95,910	89,907	6,003	長期借入金	12,173	11,763	410
土地	26,365	22,777	3,588	退職給与引当金	6,720	6,598	122
建物	44,883	44,243	640	長期未払金	343	264	79
構築物	1,779	1,675	104	流動負債	7,130	13,469	△ 6,339
教育研究用機器備品	3,245	3,278	△ 33	短期借入金	1,152	4,632	△ 3,480
管理用機器備品	178	179	△ 1	未払金	434	805	△ 371
図書	11,983	12,127	△ 144	前受金	4,477	7,013	△ 2,536
車両	10	14	△ 4	預り金	996	944	52
建設仮勘定	7,467	5,614	1,853	仮受金	71	75	△ 4
特定資産	52,853	51,840	1,013	負債の部合計	26,366	32,094	△ 5,728
第2号基本金引当特定資産	2,458	2,649	△ 191	【純資産の部】			
第3号基本金引当特定資産	13,712	13,183	529	基本金	147,885	139,471	8,414
退職給与引当特定資産	6,625	6,450	175	第1号基本金	129,841	121,765	8,076
減価償却引当特定資産	28,415	28,113	302	第2号基本金	2,458	2,649	△ 191
その他の引当特定資産	1,643	1,445	198	第3号基本金	13,712	13,183	529
その他の固定資産	5,205	5,523	△ 318	第4号基本金	1,874	1,874	0
流動資産	10,167	9,831	336	繰越収支差額	△ 10,116	△ 14,464	4,348
現金預金	9,284	8,842	442	翌年度繰越収支差額	△ 10,116	△ 14,464	4,348
その他の流動資産	883	989	△ 106	純資産の部合計	137,769	125,007	12,762
資産の部合計	164,135	157,101	7,034	負債及び純資産の部合計	164,135	157,101	7,034

※表示単位未満を合計に合わせているため、各科目において四捨五入でない場合があります。

概要

2019年度は、有形固定資産で大きな変動がありました。四谷キャンパスでは、収益事業会計で使用している13号館を学校会計に移管したことで、土地3,892百万円、建物2,688百万円の増となりました。また、3・4・8・9号館等改修工事の進捗にともない、除却した建物付帯設備2,053百万円があります。更に、市谷キャンパスの売却に伴う土地368百万円、建物1,112百万円、構築物55百万円の減が発生しています。建設仮勘定では継続して工事している 3・4・8・9号館等の改修工事で2,441百万円増、過年度に支出した建設仮勘定の先行解体工事費等の振替で571百万円の減となりました。構築物は、広島学院で落石等危険箇所対策工事で178百万円の増となりました。

特定資産では、第3号基本金の増に伴う引当特定資産が529百万円増、減価償却引当特定資産は302百万円増となりました。なお、減価償却額の累計額の合計は47,744百万円で、59.5%の引当となっています。

この結果、資産の部の合計は、前年度末より7,034百万円増の164,135百万円となりました。その他の固定資産には収益事業元入金4,345百万円が含まれています。

一方、負債の部では、四谷キャンパス14号館購入のための長期借入金1,500百万円の増と1年以内の返済期限の短期借入金への振替減1,152百万円がありました。14号館購入のための短期借入金3,500百万円は、今年度全額返済しています。前受金の減は、2018年度受領の市谷キャンパス土地売却代金内金2,490百万円が含まれています。

純資産の部では、基本金が8,414百万円増の147,885百万円、繰越収支差額は4,348百万円改善された△10,116百万円となっています。

過去５年間の推移

資産の部

（単位：百万円）

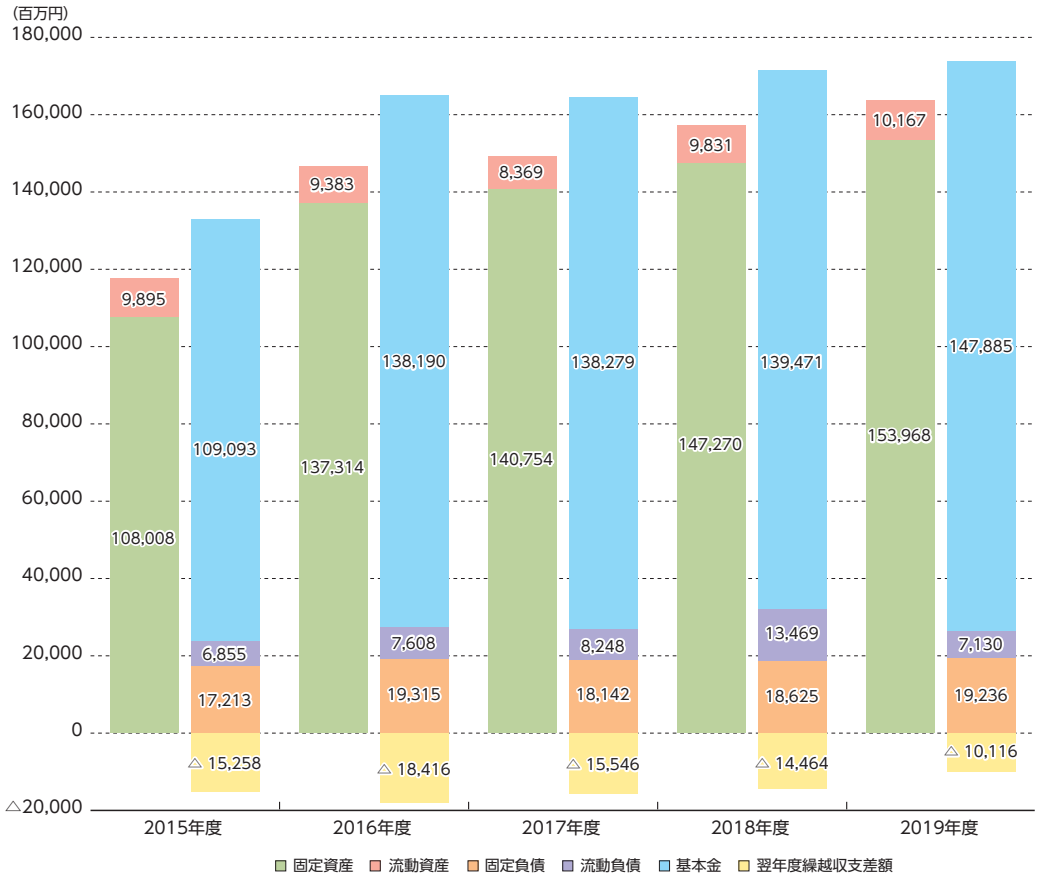
科　目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
固定資産	108,008	137,314	140,754	147,270	153,968
流動資産	9,895	9,383	8,369	9,831	10,167
資産の部合計	117,903	146,697	149,123	157,101	164,135

負債及び純資産の部

（単位：百万円）

科　目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
固定負債	17,213	19,315	18,142	18,625	19,236
流動負債	6,855	7,608	8,248	13,469	7,130
負債の部合計	24,068	26,923	26,390	32,094	26,366
基本金	109,093	138,190	138,279	139,471	147,885
第1号基本金	82,959	113,613	116,572	121,765	129,841
第2号基本金	13,029	10,290	7,246	2,649	2,458
第3号基本金	11,807	12,729	12,903	13,183	13,712
第4号基本金	1,298	1,558	1,558	1,874	1,874
翌年度繰越収支差額	△ 15,258	△ 18,416	△ 15,546	△ 14,464	△ 10,116
純資産の部合計	93,835	119,774	122,733	125,007	137,769
負債及び純資産の部合計	117,903	146,697	149,123	157,101	164,135

貸借対照表



2019年度特別予算執行報告

（単位：百万円）

区　分	企画概要	予算執行額
教育関係	ソフィア オリンピック・パラリンピックプロジェクト	8
	学籍異動願・稟議書等保存資料の電子化	3
	その他	7
学生生徒生活関係	災害復興支援ボランティア活動支援	6
	SOFEX（西江大学学術交流プログラム）	1
奨学金関係	被災学生の経済支援特別措置	6
公開講座関係	Sophia Professional Studies事業	24
研究所関係	京都大学との連携研究	2
	『モニュメンタニポニカの80年』の刊行	2
	その他	3
研究推進・支援関係	研究分析ツール InCites Benchmarking の導入	4
図書・図書資料取得	電子図書（洋書）購入	5
図書管理維持関係	図書館のラーニングコモンズPCの更新	3
ICT整備関係	事務系次期基盤更新	336
	4・9号館ネットワークの構築	58
	その他	200
グローバル化推進	「大学の世界展開力強化事業（中南米等との大学間交流形成支援）」の大学負担経費	13
	日本・スウェーデンMIRAIプロジェクト	7
	その他	7
一般運営費	グランド・レイアウト2.0の進捗状況に関する調査	4
	学院のリスクマネジメント体制の構築	3
	その他	2
施設等修繕	11号館31室AV設備更新	74
	11号館・紀尾井坂ビルエレベーター更新工事	47
	その他	230
施設等維持管理関係	PCB廃棄物特別措置法に基づく保管PCB廃棄物処分	42
キャンパス整備計画	3、4、8、9号館改修	2,856
	14号館	281
	その他	157
学生生徒募集関係	SPSF関係	8
	トータルマネジメントによる広報戦略	6
	言語科学研究科HPの作成	1
入試・入学手続関係	入学手続きWeb化	4
	入試問題著作権申請代行業務	4
	入試出題における推薦状アップロード機能追加	2
一般広報関係	大学史資料室の資料整備（デジタル化とデータベース化）	5
	マルチマップテーブルのコンテンツ追加（ソフィアタワー 1階）	2
ブランディング強化関係	PR動画の制作および公共配信	5
合　計		4,429

注：表示単位未満を四捨五入している関係上、合計において差異が生じる場合がある。

財務比率の推移

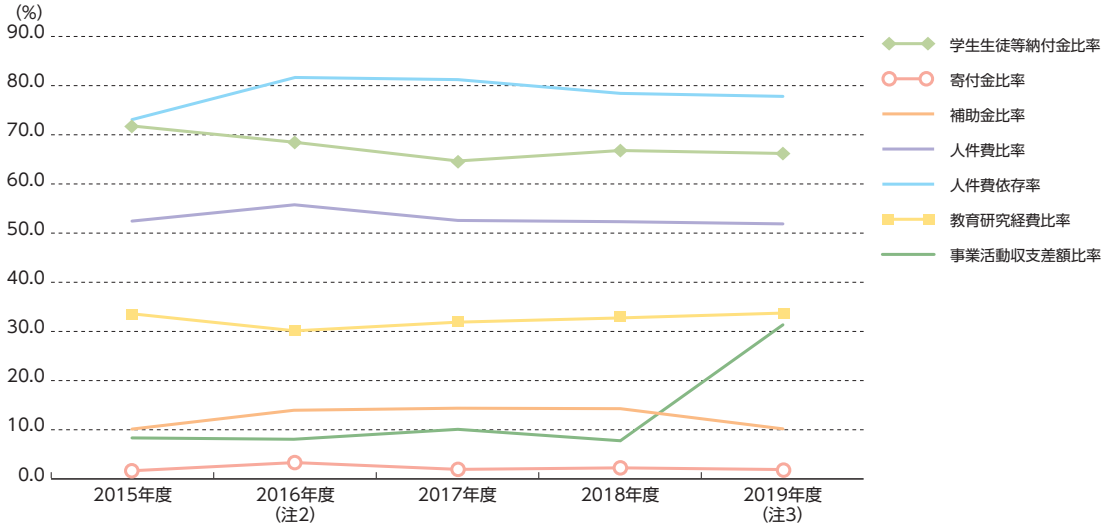
(1) 事業活動収支計算関連比率の推移

（単位：%）

財務比率	算式（×100）	評価（注1）	2015年度	2016年度（注2）	2017年度	2018年度	2019年度（注3）	他法人平均（注4）
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 / 経常収入	―	71.9	68.5	64.5	66.9	66.6	59.3
寄付金比率	寄付金 / 事業活動収入	△	1.8	3.8	2.4	2.9	2.1	1.5
経常寄付金比率	教育活動収入の寄付金 / 経常収入	△	1.3	2.1	1.5	2.5	2.3	1.3
補助金比率	補助金 / 事業活動収入	△	10.1	13.9	14.1	14.2	9.8	7.8
経常補助金比率	教育活動収入の補助金 / 経常収入	△	10.3	13.6	13.4	14.3	13.9	7.6
人件費比率	人件費 / 経常収入	▼	52.6	55.9	52.5	52.5	52.1	50.1
人件費依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	▼	73.2	81.7	81.5	78.6	78.3	84.5
教育研究経費比率	教育研究経費 / 経常収入	△	33.2	30.3	32.3	33.1	33.8	39.1
管理経費比率	管理経費 / 経常収入	▼	6.8	6.5	5.2	6.3	6.1	6.2
借入金等利息比率	借入金等利息 / 経常収入	▼	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.1
基本金組入率	基本金組入額 / 事業活動収入	△	6.7	12.6	1.4	12.1	20.5	7.5
基本金組入後収支比率	事業活動支出 / 事業活動収入-基本金組入額	▼	98.3	105.4	91.3	104.7	86.7	104.7
経常収支差額比率	経常収支差額 / 経常収入	△	6.4	6.6	9.4	7.5	7.4	4.4
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入	△	8.3	7.9	10.0	7.9	31.0	3.1

注1：評価　△：高い値が良い　▼：低い値が良い　―：どちらともいえない
注2：法人合併に伴って計上した、寄附金及び基本金組入額は除く。
注3：2019年度には、市谷キャンパスの資産売却差額12,101百万円が含まれています。
注4：他法人平均：(社)日本私立大学連盟まとめ　学生収容定員数　10,000人～19,999人／本学を含む16法人の2018年度決算平均値

主たる比率の推移

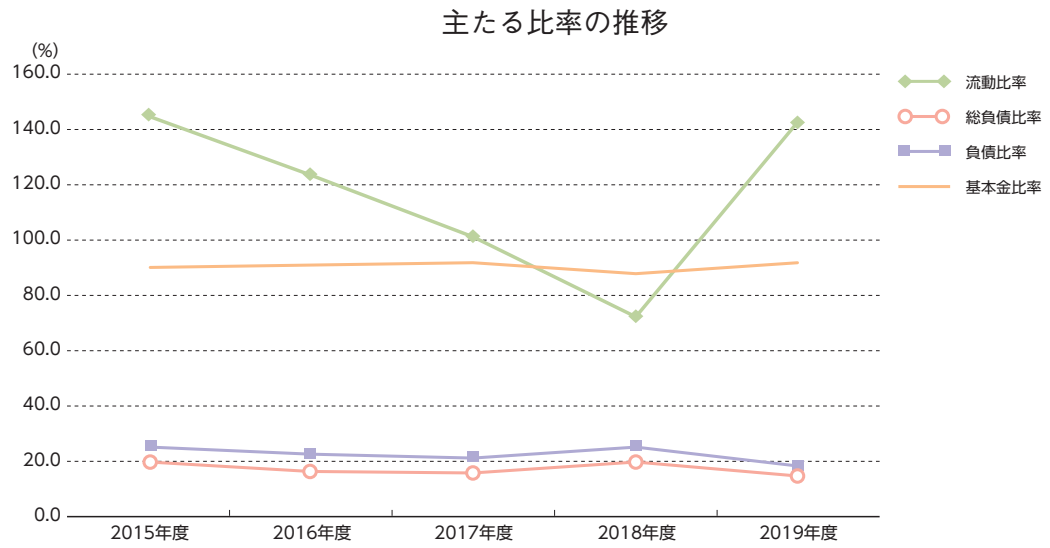


(2) 貸借対照表関連比率の推移

（単位：%）

財務比率	算式（×100）	評価（注1）	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	他法人平均（注2）
固定資産構成比率	固定資産 / 総資産	▼	91.6	93.6	94.4	93.7	93.8	89.9
流動資産構成比率	流動資産 / 総資産	△	8.4	6.4	5.6	6.3	6.2	10.1
固定負債構成比率	固定負債 / 負債+純資産	▼	14.6	13.2	12.2	11.9	11.7	9.3
流動負債構成比率	流動負債 / 負債+純資産	▼	5.8	5.2	5.5	8.6	4.3	5.7
純資産構成比率	純資産 / 負債+純資産	△	79.6	81.6	82.3	79.6	83.9	85.1
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額 / 負債+純資産	△	△ 12.9	△ 12.6	△ 10.4	△ 9.2	△ 6.2	△ 15.6
固定比率	固定資産 / 純資産	▼	115.1	114.6	114.7	117.8	111.8	105.7
固定長期適合率	固定資産 / 純資産+固定負債	▼	97.3	93.6	99.9	102.5	98.1	95.3
流動比率	流動資産 / 流動負債	△	144.3	123.3	101.5	73.0	142.6	177.6
総負債比率	総負債 / 総資産	▼	20.4	18.4	17.7	20.4	16.1	14.9
負債比率	総負債 / 純資産	▼	25.6	22.5	21.5	25.7	19.1	17.6
運用資産余裕比率	運用資産-外部負債 / 経常支出	△	188.4	171.6	172.9	165.6	181.8	
前受金保有率	現金預金 / 前受金	△	101.2	172.0	146.7	126.1	207.4	
積立率	運用資産 / 要積立額	△	78.2	78.7	81.5	85.9	88.3	
基本金比率	基本金 / 基本金要組入額	△	90.1	91.1	91.8	88.2	91.6	

注1：評価　△：高い値が良い　▼：低い値が良い　ー：どちらともいえない
注2：他法人平均：(社)日本私立大学連盟まとめ
　　学生収容定員数　10,000人～19,999人／本学を含む16法人の2018年度決算平均値



資産運用の状況

2019年度は、2020年以降に予想される世界的な景気減速を織り込む過程で変動性の激しい神経質な株式市場となる可能性が高いことを想定し、前年度に引き続きにリスク抑制的なスタンスで、収益性と安全性に十分配慮した分散投資の徹底を図り、安定的な収入を上げることを目指して資産運用に取り組みました。

結果、2019年度の資産運用収益は13億11百万円となり、その内訳は、受取利息・配当金が14億9百万円、有価証券売却差額156百万円と有価証券処分差額マイナス254百万円となりました。

2020年度については、新型肺炎が国際経済および企業業績に与える影響が極めて甚大であり、そこからの回復の道筋も不透明であることから、引き続きリスク抑制的な方針で臨む方針です。

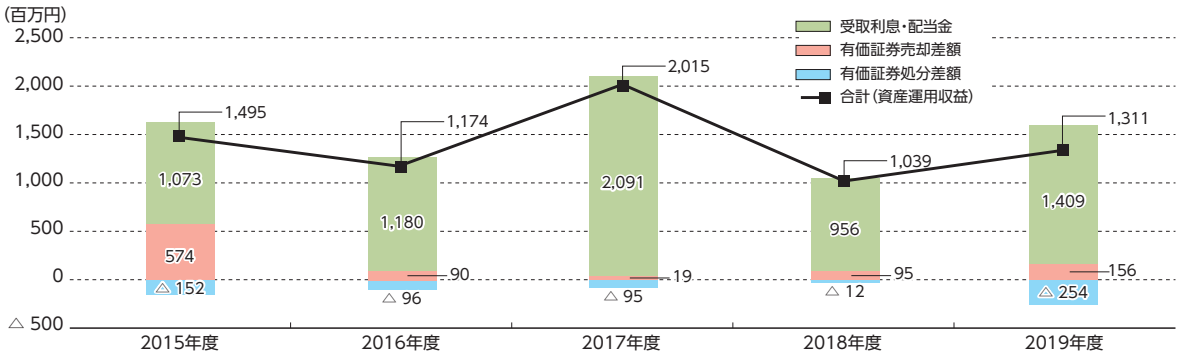
また、上智学院では、建学の理念と整合的な投資方針を取り入れ、2015年より署名している、「国連責任投資原則（PRI）」に基づき、社会的リターンと投資リターンの両立を目指して、ESG（環境・社会・ガバナンス）を考慮した投資を引き続き推進してまいります。

資産運用結果の推移

（単位：百万円）

区　分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
受取利息・配当金	1,073	1,180	2,091	956	1,409
有価証券売却差額	574	90	19	95	156
有価証券処分差額	△ 152	△ 96	△ 95	△ 12	△ 254
合計（資産運用収益）	1,495	1,174	2,015	1,039	1,311

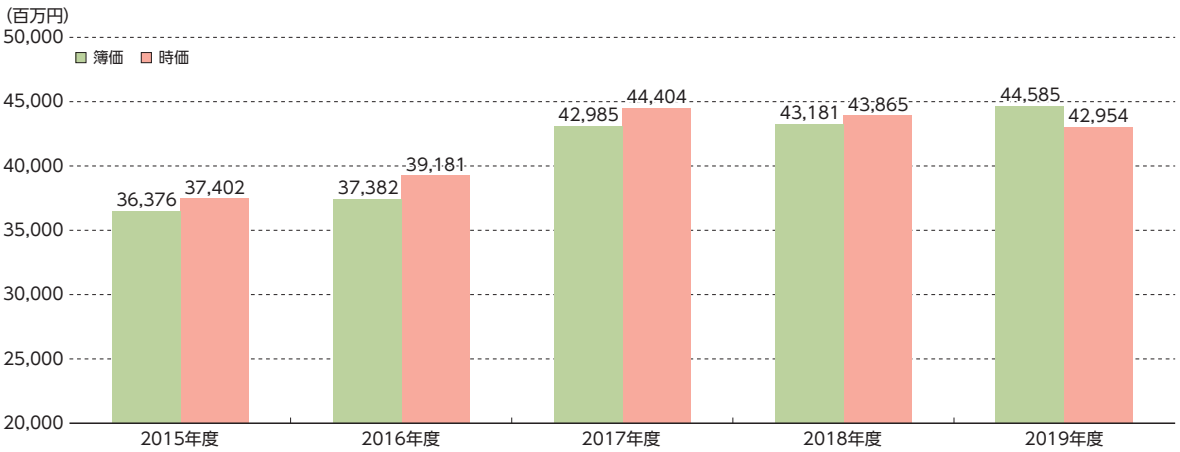
注：「受取利息・配当金」は基本金運用収入を含む額である。



有価証券の時価の推移

（単位：百万円）

区　分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
簿価	36,376	37,382	42,985	43,181	44,585
時価	37,402	39,181	44,404	43,865	42,954
差額（時価－簿価）	1,026	1,799	1,419	684	△ 1,631



収益事業の状況

本学は所有する建物の一部にテナントを入れることで家賃収入を得ています。この場合、私立学校法に基づく収益事業（不動産貸付業）に該当するため、企業会計に基づく会計処理と計算書類（損益計算書、貸借対照表）の作成が義務付けられています。

損益計算書

（単位：百万円）

区　分	2018年度（A）	2019年度（B）	増減（B－A）
売上高	1,624	1,610	△ 14
販売費・一般管理費	1,012	875	△ 137
営業外収益	0	0	0
営業外費用	77	50	△ 27
学校会計繰入金支出前損益	535	685	150
学校会計繰入金支出	450	450	0
税引前当期純損益	85	235	150
法人税、住民税及び事業税	90	112	22
当期純損益	△ 5	123	128

貸借対照表

（単位：百万円）

区　分	2018年度（A）	2019年度（B）	増減（B－A）
流動資産	1,471	1,374	△ 97
固定資産	14,631	7,629	△ 7,002
資産合計	16,102	9,003	△ 7,099
流動負債	7,099	544	△ 6,555
固定負債	4,706	4,375	△ 331
負債合計	11,806	4,919	△ 6,886
純資産合計	4,296	4,084	△ 212
負債・純資産合計	16,102	9,003	△ 7,098

概要

〈損益計算書〉

2019年度は、6号館（ソフィアタワー）オフィスビルのテナント賃料収入等により、売上高は1,610百万円になりました。販売費・一般管理費は、租税公課（固定資産税）、業務委託費の減により875百万円となりました。税引前当期利益は235百万円となり、前年度比150百万円の増となりました。なお、当期は学校会計へ450百万円を繰り入れています。繰入金は、教育研究活動等へ投下していく計画です。

〈貸借対照表〉

流動資産は、普通預金の減、固定資産は減価償却による減となりました。流動負債は、法人税等の未払金の減、固定負債は借入金の減によるものです。

2019年度は、13号館にかかる短期借入金の返済が終了し、年度末をもって学校会計に移管した為、資産・負債とも大幅に減少しています。

その他

借入金明細表（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

借入先			期末残高（単位：円）	利率（%）	返済期限（年月日）	摘要（使途）
長期借入金	公的金融機関	日本私立学校振興･共済事業団				
		15 一般施設	400,000,000	2.00	35.3.15	上智大学2号館建設
		16 一般施設	600,000,000	2.00	36.3.15	上智大学2号館建設
		22 一般施設	433,300,000	1.60	42.9.15	上智大学目白聖母キャンパス1号館新築（学)聖母学園からの継承分
		23 特別施設	2,070,970,000	1.70	43.9.15	上智大学祖師谷国際交流会館取得
		26 一般施設	1,866,620,000	0.90	46.9.15	上智大学新棟（6号館）建設
		27 一般施設	2,166,600,000	0.80	47.9.15	上智大学新棟（6号館）建設
		30 特別施設	1,500,000,000	0.80	50.9.15	信濃町国際学生寮建設
		23 一般施設	30,000,000	1.70	33.9.15	六甲学院中学校・高等学校校舎改築
		23 一般施設	79,420,000	1.60	43.9.15	上智福岡中学校・高等学校校舎改修及び新棟建設
		23 一般施設	123,970,000	0.50	43.9.15	上智福岡中学校・高等学校校舎改修及び新棟建設
		24 一般施設	40,920,000	1.50	44.3.15	上智福岡中学校・高等学校校舎改修及び新棟建設
		27 一般施設	825,000,000	平成31年3月から0.5	47.9.15	栄光学園中学校・高等学校新校舎建設
		兵庫県私学振興協会	20,000,000	0.70	33.12.21	六甲学院中学校・高等学校校舎改築
		小計	10,156,800,000			
	市中金融機関	㈱もみじ銀行	30,000,000	0.50	33.5.31	広島学院中学校・高等学校創立60周年記念事業アルペ講堂･聖堂建設
		㈱広島銀行	30,000,000	0.50	33.5.31	広島学院中学校・高等学校創立60周年記念事業アルペ講堂･聖堂建設
		㈱広島銀行	125,000,000	0.31	38.3.2	広島学院落石等危険箇所対策工事費
		㈱三井住友銀行	71,678,000	0.73	6.10.31	六甲学院中学校・高等学校施設復旧・設備投資
		小計	256,678,000			
	その他	宗教法人マリアの宣教者フランシスコ修道会	20,000,000	0.00	34.4.30	上智大学目白聖母キャンパス校舎新改築資金（学)聖母学園からの継承分
		宗教法人カトリックイエズス会	1,500,000,000	0.015	21.3.31	上智大学14号館用土地建物購入（メリノール）
		宗教法人カトリックイエズス会	240,000,000	0.00	44.3.25	六甲学院中学校・高等学校校舎改築
		小計	1,760,000,000			
	計		12,173,478,000			
短期借入金	公的金融機関		0			
		小計	0			
	市中金融機関		0			
		小計	0			
	その他		0			
		小計	0			
	返済期限が1年以内の長期借入金		1,151,572,000			
	計		1,151,572,000			
合計			13,325,050,000			

学校法人の出資による会社に係る事項

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりである。

名　　称	株式会社ソフィアキャンパスサポート
事　業　内　容	• 建物及びその付属施設設備の清掃、警備、営繕、保守並びに管理業務 • 食品、清涼飲料水及び酒類の販売並びに販売管理業務 • 損害保険代理店業および生命保険の募集に関する業務 • 教育・事務用機器、計器、文房具類等の販売、仲介及び斡旋
資　本　金　の　額	20,000,000円（400株）
学校法人の出資金額等及び当該会社の総株式等に占める割合並びに当該株式等の入手日	平成27年2月2日　　20,000,000 円（400株）　100%

当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄付の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況

（単位：円）

該会社からの受入額	配当金	0	特別寄付金	100,000,000
	現物寄付金	0	賃貸料	0
	受取利息	0		
当該会社への支払額	消耗品費	32,122,743	修繕費	49,777,792
	委託費	574,070,361	会合費	894,278

（単位：円）

	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
当該会社への出資金等	20,000,000	0	0	20,000,000
当該会社への貸付金等	0	0	0	0
当該会社への未払金	0	0	0	0
当該会社からの借入金	0	0	0	0
当該会社からの未収入金	0	0	0	0

保証債務	なし

名　　称	ソフィアメディカルインフォ株式会社
事　業　内　容	• 医療機関向け多言語医療情報アプリの開発と医療機関等への普及 • 旅行代理店や旅行保険事業者を通して訪日外国人等への多言語医療情報提供アプリの普及促進 • 多言語情報システムに係る教育及びコンサルティング • 多言語情報アプリの企画、開発及び販売　等
資 本 金 の 額	26,000,000円（520株）
学校法人の出資金額等及び当該会社の総株式等に占める割合並びに当該株式等の入手日	平成30年10月1日　　26,000,000円（520株）　68%

当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄付の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況

（単位：円）

該会社からの受入額	配当金	0	特別寄付金	0
	現物寄付金	0	賃貸料	588,600
	受取利息	0		
当該会社への支払額			消耗品費	0

（単位：円）

	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
当該会社への出資金等	0	26,000,000	0	26,000,000
当該会社への貸付金等	0	0	0	0
当該会社への未払金	0	0	0	0
当該会社からの借入金	0	0	0	0
当該会社からの未収入金	0	0	0	0

保証債務	なし

経営状況の分析等

経営状況の分析

2019年度は、市谷キャンパスの売却により、100億円以上の大幅な収入増となった。また、13号館の土地・建物を、収益事業会計から学校法人会計へ移行したことにより、固定資産が約70億円増加した。

貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書、資産運用に関する詳細な分析は、各ページに記載のとおりである。

経営上の成果と課題

資産運用において、市場が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けるなか、リスク分散の運用方針のもと、実現益を確保できたことが挙げられる。

また、学生支援の基盤強化のため第３号基本金の積み増しを積極的に行っており、2019年度においては、教皇フランシスコ来学記念奨学基金（３億円）を新設した。

新型コロナウイルス感染拡大を受け、より一層手厚い学生への支援をはじめ、オンライン授業のスムーズな運用や研究活動の再開に向けて、必要な財源を確保することが優先課題である。

今後の方針・対応方策

コロナ禍による世界経済の動向が見通せない中、引き続き、リスクを分散し確実な実現益を確保する堅実な資産運用を行っていく必要がある。

また、グランドレイアウトに基づき、既存予算の見直しなど、さまざまな財政施策を推進するとともに、新たな財源確保策を検討する必要がある。

沿革

1549 年（天文 18 年）	聖フランシスコ・ザビエル来日
1906 年（明治 39 年）	教皇ピオ10世のカトリック大学設立の要請とイエズス会の受諾
1908 年（明治 41 年）	3人のイエズス会士来日
1911 年（明治 44 年）	財団法人上智学院設立
1912 年（明治 45 年）	東京市麹町区紀尾井町の土地を購入
1913 年（大正 2 年）	専門学校令により上智大学開設（哲学科、独逸文学科、商科）
1928 年（昭和 3 年）	大学令による上智大学開設（文学部、商学部）
1932 年（昭和 7 年）	専門部開設、1号館竣工、福岡カトリック神学校開校（1936年に泰星中学校に改称）
1937 年（昭和 12 年）	ソフィア会（同窓会）設立、財団法人六甲中学校設立（1950年に学校法人六甲学院に変更）
1938 年（昭和 13 年）	六甲中学校開校
1946 年（昭和 21 年）	公開講座開講
1947 年（昭和 22 年）	新制六甲中学校・高等学校発足、栄光中学校開校（1949年に栄光学園中学校に改称）
1948 年（昭和 23 年）	新制大学開設（文学部、経済学部）、泰星高等学校開校
1949 年（昭和 24 年）	国際部（現在の国際教養学部の前身）設置
1950 年（昭和 25 年）	真田濠グラウンド開場、栄光学園高等学校開校
1951 年（昭和 26 年）	私立学校法による学校法人上智学院設立 新制大学院開設（神学研究科、哲学研究科、西洋文化研究科、経済学研究科） 学校法人泰星学園設立
1956 年（昭和 31 年）	学校法人広島学院設立、広島学院中学校開校
1957 年（昭和 32 年）	法学部開設、上智大学に女子学生の受入を開始、学校法人栄光学園設立
1958 年（昭和 33 年）	神学部、外国語学部開設
1959 年（昭和 34 年）	広島学院高等学校開校
1962 年（昭和 37 年）	理工学部開設
1964 年（昭和 39 年）	上智大学社会福祉専修科開設
1966 年（昭和 41 年）	法学研究科、理工学研究科開設、西洋文化研究科を文学研究科に改組 上智大学社会福祉専修科を上智社会福祉専修学校に改組、上智短期大学ソフィア会（同窓会）発足
1970 年（昭和 45 年）	外国語学研究科開設
1973 年（昭和 48 年）	上智短期大学開設
1975 年（昭和 50 年）	外国語学部に日本語・日本文化学科を増設（1977年に比較文化学科に改組）
1976 年（昭和 51 年）	上智社会福祉専修学校を上智社会福祉専門学校に改組 ソフィア・コミュニティ・カレッジ（社会人講座）開講
1980 年（昭和 55 年）	ホフマン・ホール竣工、国際部廃止
1984 年（昭和 59 年）	中央図書館・総合研究棟の開館
1987 年（昭和 62 年）	比較文化学部開設
2004 年（平成 16 年）	法学研究科に法曹養成専攻（法科大学院）を増設
2005 年（平成 17 年）	総合人間科学部、総合人間科学研究科、地球環境学研究科開設、2号館竣工
2006 年（平成 18 年）	比較文化学部を国際教養学部に改組、グローバル・スタディーズ研究科開設
2007 年（平成 19 年）	経済学研究科を改組
2008 年（平成 20 年）	理工学部・理工学研究科を改組
2011 年（平成 23 年）	学校法人聖母学園との法人合併（聖母大学、聖母看護学校を併設） 総合人間科学部に看護学科を増設・総合人間科学研究科に看護学専攻を増設 泰星中学高等学校から上智福岡中学高等学校に改称
2012 年（平成 24 年）	上智短期大学を上智大学短期大学部に改称、上智大学祖師谷国際交流会館開設
2013 年（平成 25 年）	上智大学創立100周年、上智短期大学創立40周年、上智社会福祉専門学校創立50周年記念式典を挙行
2014 年（平成 26 年）	総合グローバル学部開設、聖母大学閉校
2015 年（平成 27 年）	助産学専攻科開設
2016 年（平成 28 年）	学校法人上智学院、学校法人栄光学園、学校法人六甲学院、学校法人広島学院、学校法人泰星学園との法人合併。新たな「学校法人上智学院」が誕生。 実践宗教学研究科開設、外国語学研究科を言語科学研究科に改称。聖母看護学校閉校。 六甲中学校・高等学校から六甲学院中学校・高等学校に改称
2017 年（平成 29 年）	6号館（ソフィアタワー）竣工
2019 年（平成 31 年）	上智大学アルペ国際学生寮開設

叡智が世界をつなぐ

学校法人 上智学院
SOPHIA SCHOOL CORPORATION

上智大学
上智大学短期大学部
上智社会福祉専門学校

栄光学園中学高等学校
広島学院中学校・高等学校

六甲学院中学校・高等学校
上智福岡中学高等学校

2020年7月発行　編集・発行 学校法人上智学院 総務局経営企画グループ　〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7番1号